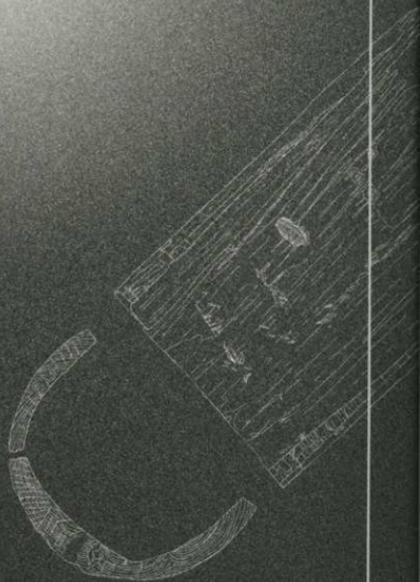


第3版

氷見市遺跡地図

【改訂版】

氷見市埋蔵文化財調査報告第51冊



2008年7月
氷見市教育委員会

序

東に富山湾を隔てた霊峰立山を仰ぐ氷見市は、古くから海の幸、山の幸に恵まれ、人々の生活の場として、数多くの文化遺産を生み育ててまいりました。それら多様な文化遺産のなかでも、特に土地に根ざした文化財である埋蔵文化財は、氷見市の歴史・文化環境を物語るものとして保存・活用などの措置を講じていかなければなりません。

氷見市内には、現在391の埋蔵文化財包蔵地（遺跡）が確認されています。大正7年に発見された2件の国指定史跡、大境洞窟住居跡と朝日貝塚。平成13年に国指定史跡となった日本海側最大の前方後方墳、柳田布尾山古墳をはじめとして市内に400基近く確認されている古墳群。阿尾城跡・森寺城跡ほか、この地域が戦乱の舞台となったことを物語る多数の中世城郭群。そのほか縄文時代から近世まで、氷見に生きた人々の生活の痕跡を印す遺跡の数々。これらは、氷見地域の歴史を知るうえで大切に守っていかなければならないものばかりです。

氷見市教育委員会では、これまで市内に所在する遺跡の発見・周知に努めてまいりました。平成18年度には、平成5年から13年間実施してきた分布調査事業の成果として『氷見市遺跡地図〔第3版〕』を刊行いたしました。

同書は、教育機関・研究機関へ配布してその活用に供させていただいておりますが、近年の開発の増加や地域の歴史に対する関心の高まりもあり、市民の皆様、また開発関係者の皆様により一層ご利用いただけるよう、新たな情報を加えた改訂版として増刷する運びとなりました。

本書には、遺跡地図に加え、氷見市教育委員会が過去に刊行した文化財関係の報告書のリストのほか、氷見市内の指定文化財の一覧や文化財地図を掲載しました。これは、本書の利便性を高めるとともに、埋蔵文化財だけでなく文化財全般に対する理解を深めていただくことを意図したものです。本書が、今後の文化財保護の一助となり、地域の歴史への関心、理解につながることを願っております。

終わりに、本書の刊行にあたりましては、関係者の皆様をはじめ、多くの方々にご指導、ご協力を賜りました。この場を借りまして厚くお礼申し上げます。

平成20年7月

氷見市教育委員会
教育長 中尾 俊雄

例 言

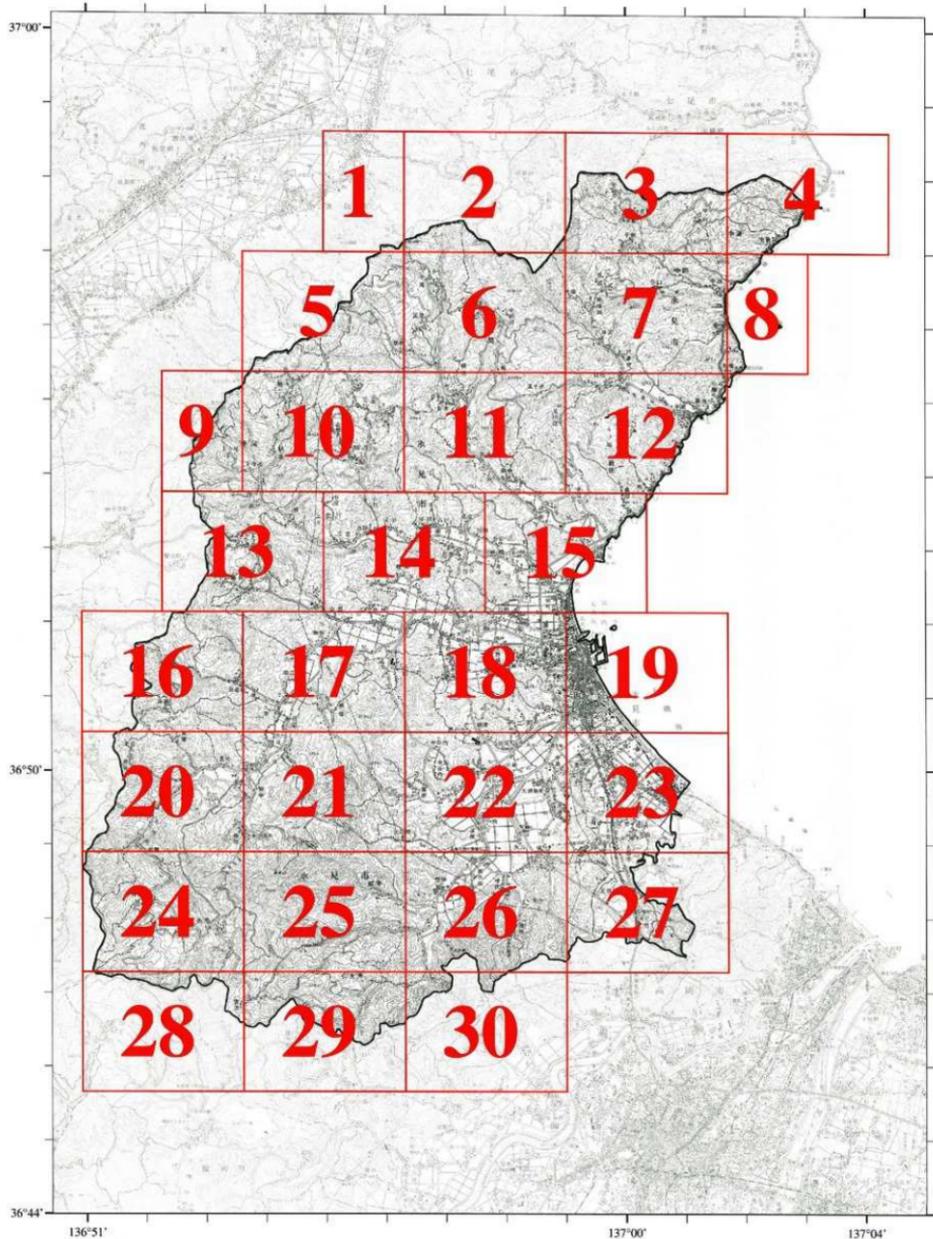
- 1 本書は、富山県水見市に所在する遺跡（埋蔵文化財包蔵地）の分布状況を示したものである。
- 2 本書は、平成18年度に水見市教育委員会が国庫補助金・県費補助金の交付を受けて実施した市内遺跡分布調査・遺跡地図作成事業の報告書「水見市遺跡地図【第3版】」を改訂したものである。
- 3 本書の内容は、昭和58年水見市教育委員会・水見市立博物館発行「水見市文化財所在地図No1 水見市遺跡地図 埋蔵文化財包蔵地所在地図」、平成5年水見市教育委員会発行「水見市埋蔵文化財調査報告第14冊 水見市遺跡地図【第2版】」を基に、平成14年水見市刊行「水見市史 7 資料編五 考古」の情報を加えて再編集し、その後の新発見遺跡・新知見を加筆・修正したものである。
- 4 水見市教育委員会では、国庫補助金・県費補助金の交付を受け、平野部の分布調査を平成5年度から平成11年度まで7か年、丘陵部・山間部の分布調査を平成12年度から平成17年度まで6か年、計13か年にわたる市内遺跡詳細分布調査事業を実施してきた。遺跡地図の内容にはこれら一連の分布調査の成果が含まれる。
- 5 地図の縮尺は、索引図が10,000分の1、遺跡地図が10,000分の1である。
- 6 索引図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の50,000分の1地形図を複製したものである（承認番号 平20 北複、第39号）。索引図作成にあたっては、50,000分の1地形図「水見」「石動」「鮎ヶ島」「富山」を組み合わせて、100,000分の1に縮小して使用した。
- 7 遺跡地図は、「水見市国土基本図」（5,000分の1）を、10,000分の1に縮小して使用した。「水見市国土基本図」は昭和44年から昭和59年にかけて測量、平成5年に修正・編集されたもので、平成20年度現在の地形・道路状況・土地利用とは異なる点が多いが、大縮尺で表示できること、旧地形と遺跡の関係を示せることから、あえて採用させていただいた。ご了承いただきたい。
- 8 本書は、平成20年6月30日現在までの資料によるものである。
- 9 記載した遺跡は、これまでに発見された遺跡の他、口承・伝承等によるものを含み、その位置・範囲を赤線・網点で表示し、これに遺跡番号を付して一覧表と対応させた。遺跡範囲内に別遺跡が重複して立地している場合は、遺跡内に立地する遺跡の方を濃い網点で表示した。
- 10 遺跡範囲内に遺物出土地点が点在している遺跡では、各地点を赤点で表示し、地点名を付した。また、同一遺跡の範囲が2か所に分散している遺跡では、「a、b」のアルファベットを付してそれぞれ図示した。
- 11 古墳群・櫛穴群等については、群を包括する範囲を赤線・網点で表示した。加えて古墳については、発掘調査・測量調査・分布調査等で墳丘の位置・形状が確認されているものは黒丸等で図示し、自然地形の可能性のあるもの・すでに消滅したものの等については白抜きで図示した。墳丘の位置・形状は、一部を除き「水見市史 7 資料編五 考古」に準拠した。なお、これは墳丘の位置・形状の概略を示したもので、正確な墳丘規模を示したものではない。
- 12 原則として、開発行為等によって消滅した遺跡についてもその位置・範囲を記載した。
- 13 遺跡の位置・範囲については、できるかぎり正確を期したが、現状からの推測によるものがほとんどであり、今後の発掘調査・分布調査等により変更する可能性がある。
なお、遺跡についての最新の情報は、水見市教育委員会生涯学習課に問い合わせいただきたい。
- 14 遺跡番号は、富山県・水見市共通のものである。市町村コード「205」を付すことで富山県が管理する「富山県埋蔵文化財包蔵地地図」記載の遺跡番号に対応している。
- 15 遺跡名は、原則、富山県が管理する「富山県埋蔵文化財包蔵地地図」に準拠したが、一部は「水見市史 7 資料編五 考古」を参考に修正を加えた。別称があるものについては（ ）内に併記した。一つの埋蔵文化財包蔵地内に複数の遺跡が含まれる場合は、遺跡名を「・」で連結して記載し、必要に応じて「a、b」のアルファベットを付して図示した。また、過去に登録された遺跡名を変更したものについては、旧称を遺跡一覧表の備考欄に記入した。
- 16 遺跡名のふりがなは、原則、「富山県埋蔵文化財包蔵地地図」・「水見市史 7 資料編五 考古」に準拠したが、地名を付した遺跡名のふりがなに関しては、平成12年水見市刊行「水見市史 6 資料編四 民俗、神社・寺院」[第15章 地名]を典拠に修正したものである。なお複数の読み方があるものについては、慣例的・代表的な読み方を記載した。
- 17 発掘調査の結果、隣接遺跡に統合されたために欠番となった遺跡については遺跡一覧表の中で欠番扱いとし、旧遺跡名と統合された遺跡名を併記した。
- 18 遺跡一覧表中、「NEJ」・「KB」を付した遺跡名は仮称である。それぞれ「NEJ」は能越自動車道関連遺跡、「KB」は一般国道415号（通称、鞍川バイパス）関連遺跡である。既に試掘調査を終え、本調査の必要が生じたものについては正式な遺跡名を登録したが、試掘調査の結果本調査が不要だと判断された遺跡、平成20年6月30日現在未調査の遺跡については仮称のままとしてある。
- 19 略号は、水見市教育委員会が調査を実施する際、あるいは遺物を管理する際に付したものを記載した。
- 20 遺跡の時代は、発掘調査が実施された遺跡については、その調査結果から判断される時代、発掘調査が実施されていない遺跡については、出土・採集遺物から推測される時代を記載した。
また、古墳群のうち未調査のものについては、墳丘の形状・立地から推測される時代を、城郭遺跡等のうち未調査のものについては、城郭遺構の形状・立地から推測される時代もしくは文献資料から推測される時代をそれぞれ記載した。

- 21 本書に記載した遺跡の範囲内で、現状を変更しようとするときは、文化財保護法により届出又は通知が必要となるので、遺跡に近接する場合を含めて、氷見市教育委員会生涯学習課に問い合わせていただきたい。
- 22 本書の作成にあたっては、事務局を氷見市教育委員会生涯学習課に置いた。事務担当者は以下のとおりである。
平成18年度 課長：東海嶺一 課長補佐：上田和弘 主査：大野 究 学芸員：廣瀬直樹
平成20年度 課長：廣瀬昌人 副主幹：鈴木瑞磨・大野 究 学芸員：廣瀬直樹
- 23 本書の改訂にあたり、平成19年2月から平成20年6月までの情報を追加した。その改訂内容については、巻木の「【改訂版】における改訂内容について」に概要を記した。
- 24 本書の刊行にあたり、氷見市内指定文化財等一覧・万葉歌碑等一覧・氷見市文化財地図を追加収録した。
- 25 氷見市文化財地図は、国土地理院長の承認を得て、同院発行の25,000分の1地形図および50,000分の1地形図を複製したものである（承認番号 平20 北根、第38号）。なお氷見市文化財地図の作成にあたっては、25,000分の1および50,000分の1の「氷見市全図」（平成20年3月作製）を原因として使用した。
- 26 氷見市内指定文化財等一覧・万葉歌碑等一覧・氷見市文化財地図の作成にあたっては、「ふるさと文化見て歩き 氷見の文化財 国指定史跡大境洞窟住居跡」（編集：氷見市教育委員会生涯学習課・発行：氷見市市民健康課）等、過去に氷見市教育委員会が編集・発行した文化財パンフレットを基に加筆・修正を行った。
- 27 本書の作成・編集は、廣瀬直樹が担当し、大野 究が補佐した。
- 28 調査および本書の作成にあたり、下記の方々・機関から多大なご教示・ご協力を得た。記して感謝申し上げる。
富山県教育委員会生涯学習・文化財室・富山県埋蔵文化財センター・富山大学人文学部考古学研究室・財団法人富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所・氷見市建設課・氷見市史編さん室（～平成18年度）・氷見市立図書館・氷見市立博物館・奥田直文・小谷 超・小境卓治（氷見市立博物館）・西尾正輝・橋本正春（富山県埋蔵文化財センター）・森越 博（氷見市立図書館）

目 次

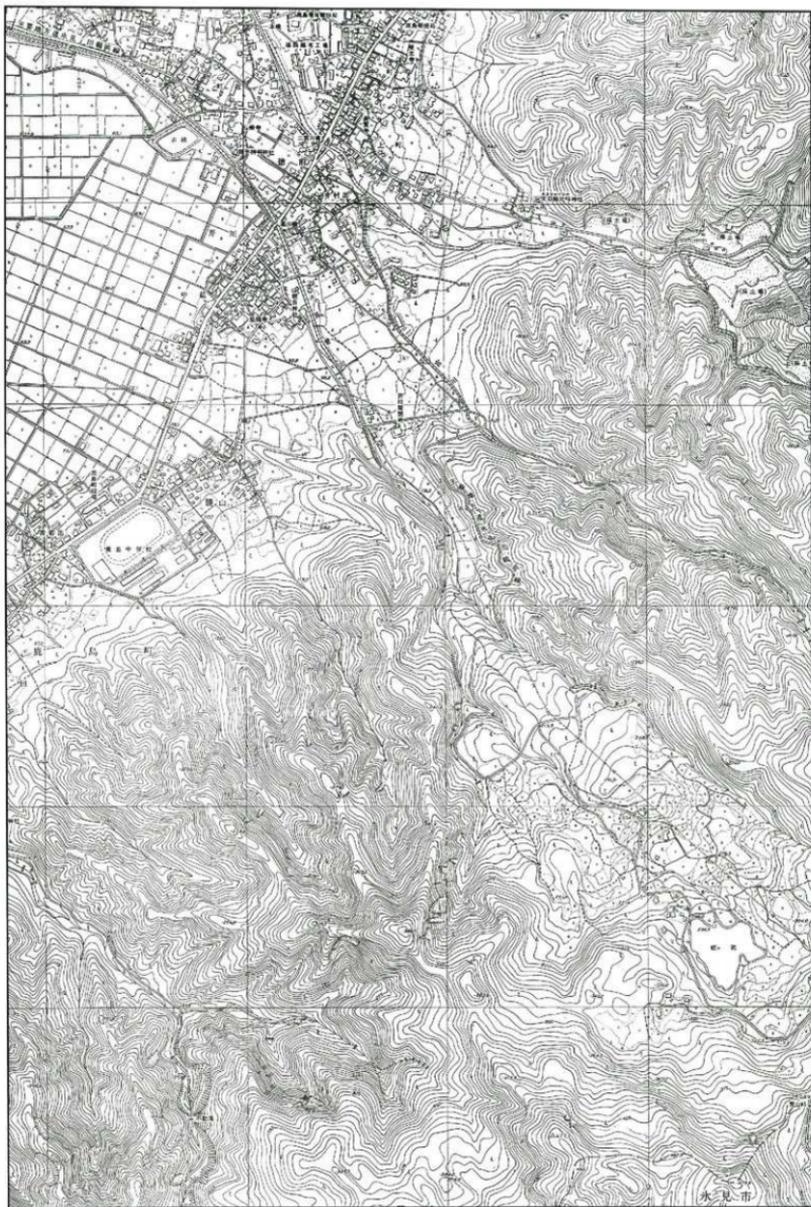
序	i	遺跡地図23	42
例言	ii	遺跡地図24	44
目次	iii	遺跡地図25	46
索引	iv	遺跡地図26	48
遺跡地図1	1	遺跡地図27	50
遺跡地図2	2	遺跡地図28	52
遺跡地図3	4	遺跡地図29	54
遺跡地図4	6	遺跡地図30	56
遺跡地図5	8	氷見市遺跡一覧表	58
遺跡地図6	10	氷見市遺跡地図文献目録	69
遺跡地図7	12	氷見市遺跡地図文献目録補遺	73
遺跡地図8	14	氷見市教育委員会刊行文化財関連報告書・刊行物一覧	74
遺跡地図9	15	氷見市埋蔵文化財調査報告	
遺跡地図10	16	その他、埋蔵文化財関連報告書・刊行物	
遺跡地図11	18	郷土説本	
遺跡地図12	20	文化財関連報告書・刊行物	
遺跡地図13	22	氷見市関連自治体史一覧	75
遺跡地図14	24	氷見市内指定文化財等一覧	76
遺跡地図15	26	国指定（8件）	
遺跡地図16	28	県指定（12件）	
遺跡地図17	28	市指定（49件）	
遺跡地図18	32	歴史の道百選（平成8年11月 文化庁選定）	
遺跡地図19	34	万葉歌碑等一覧	77
遺跡地図20	36	氷見市文化財地図（市街図）	77
遺跡地図21	38	氷見市文化財地図（市内全図）	78
遺跡地図22	40	【改訂版】における改訂内容について	82

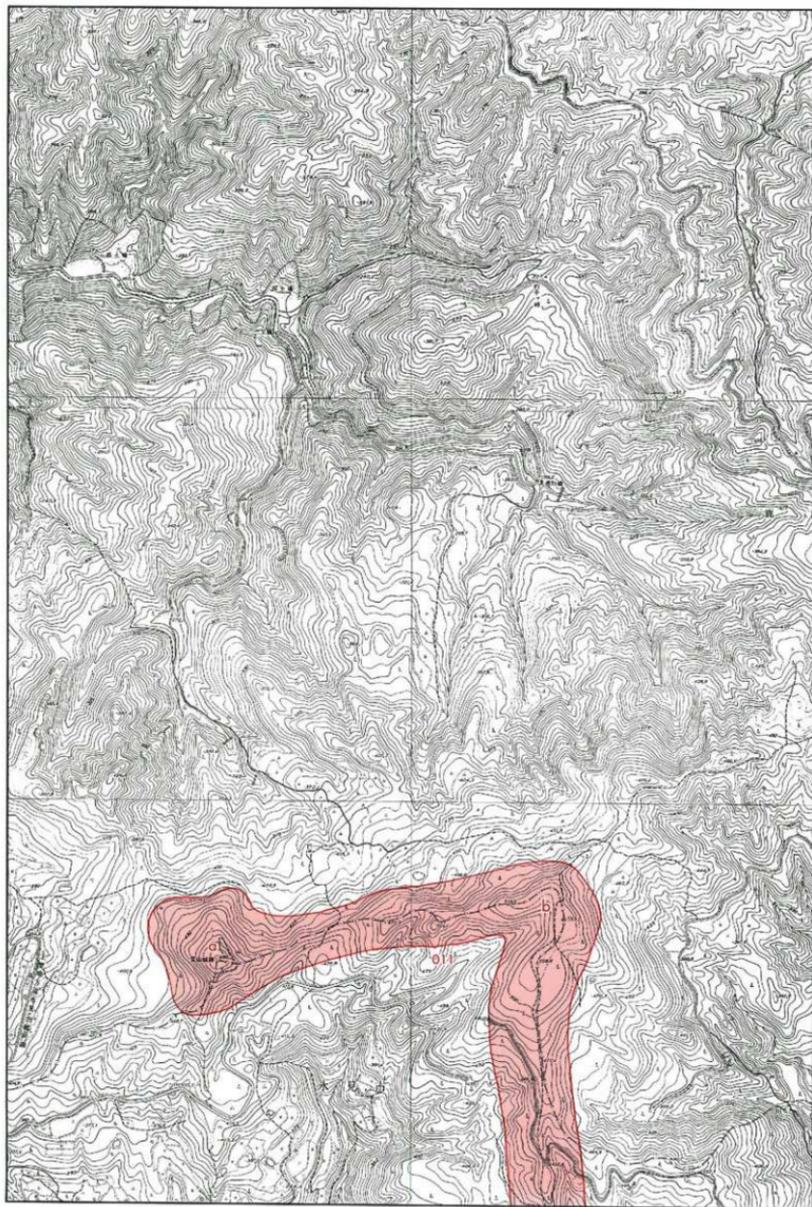
索引 図



1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

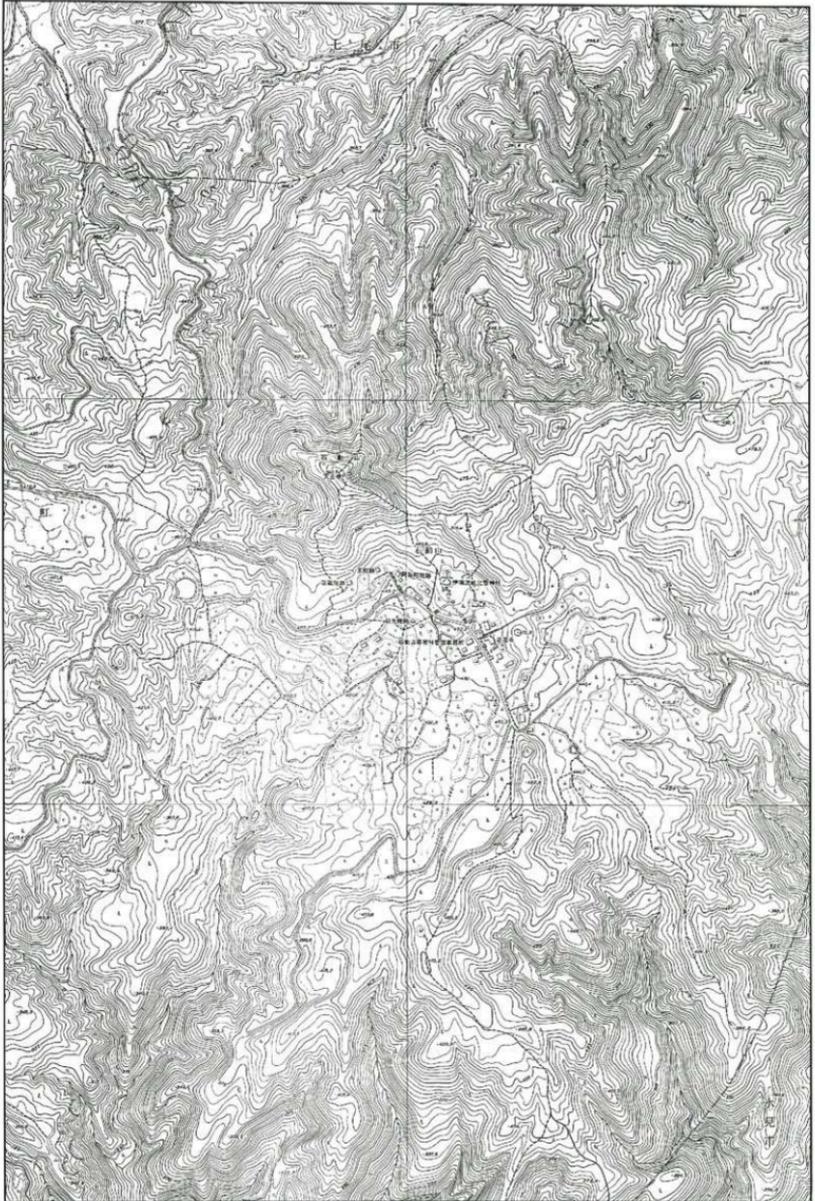
1

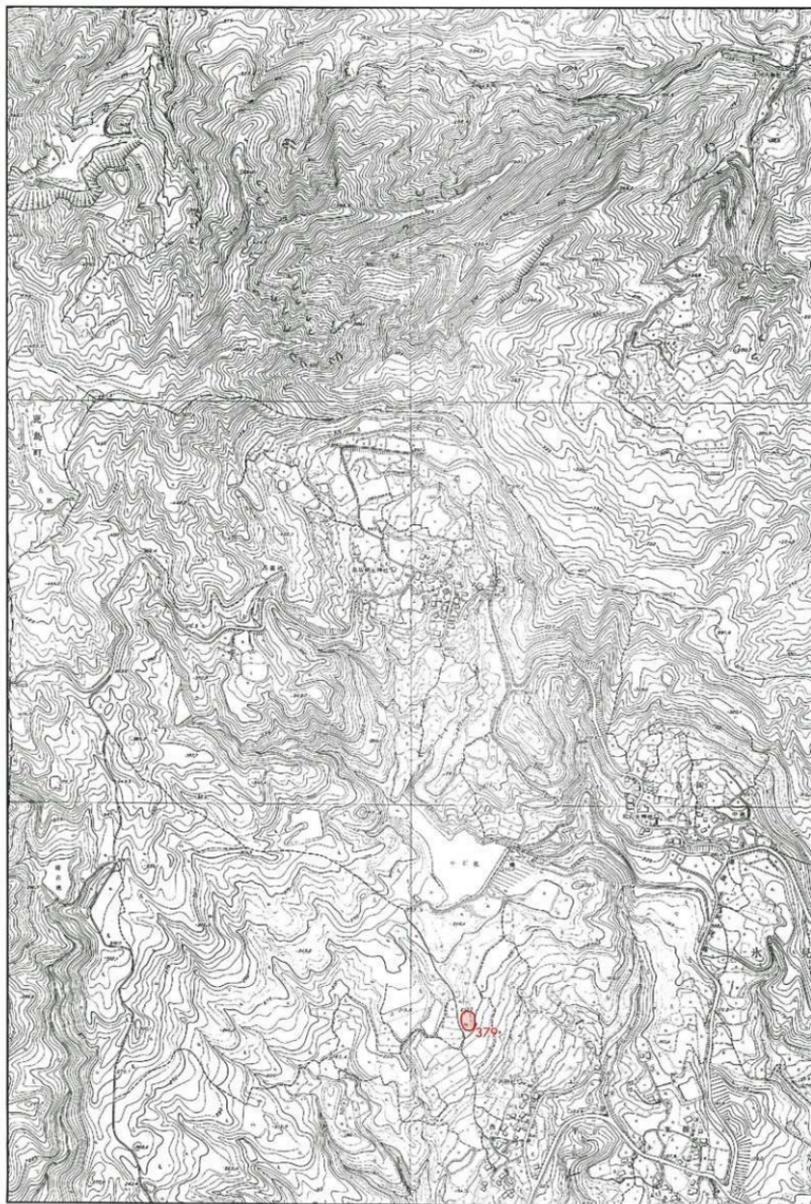




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

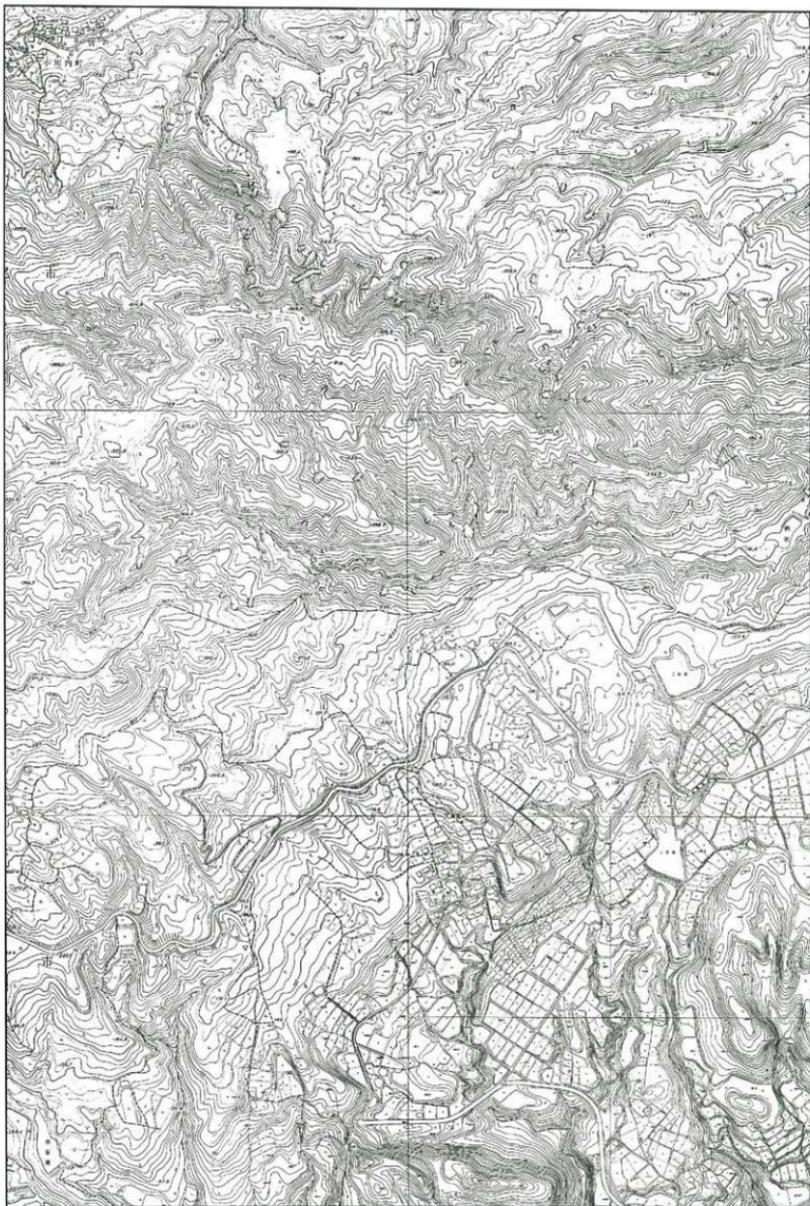
2





1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

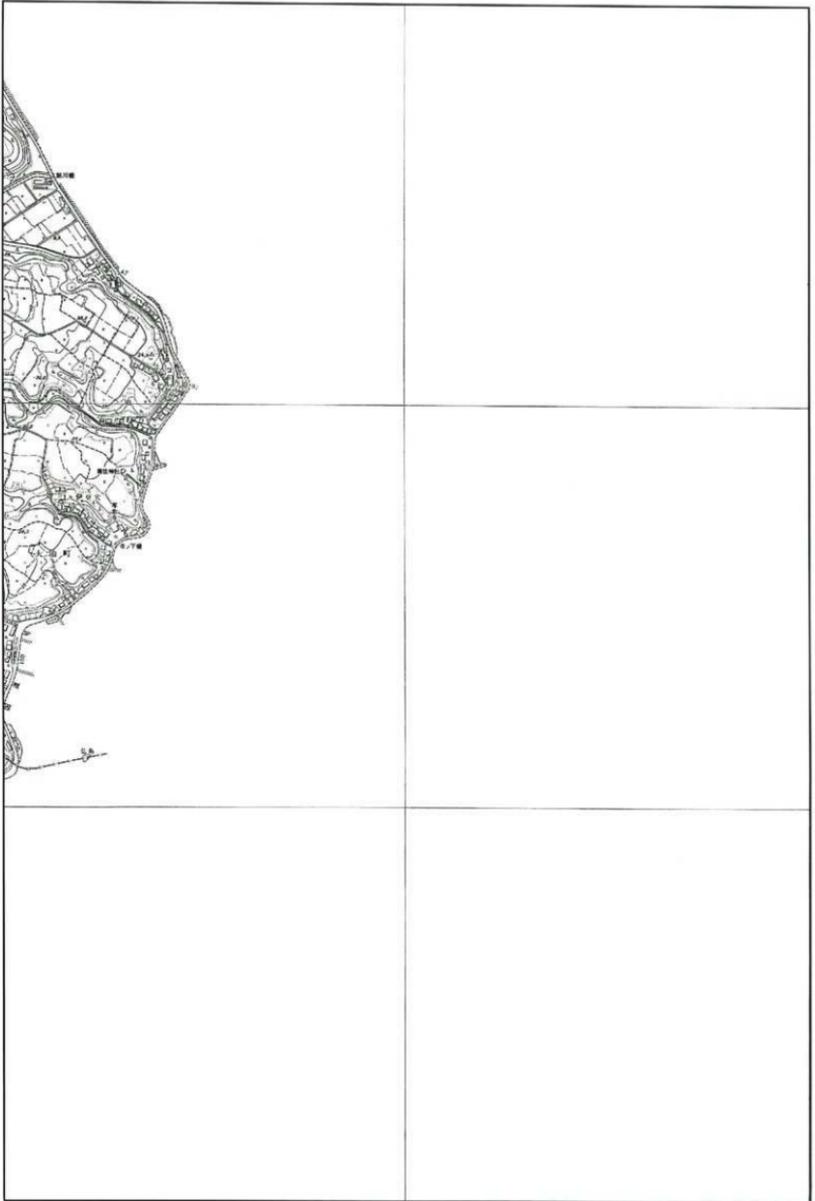
3

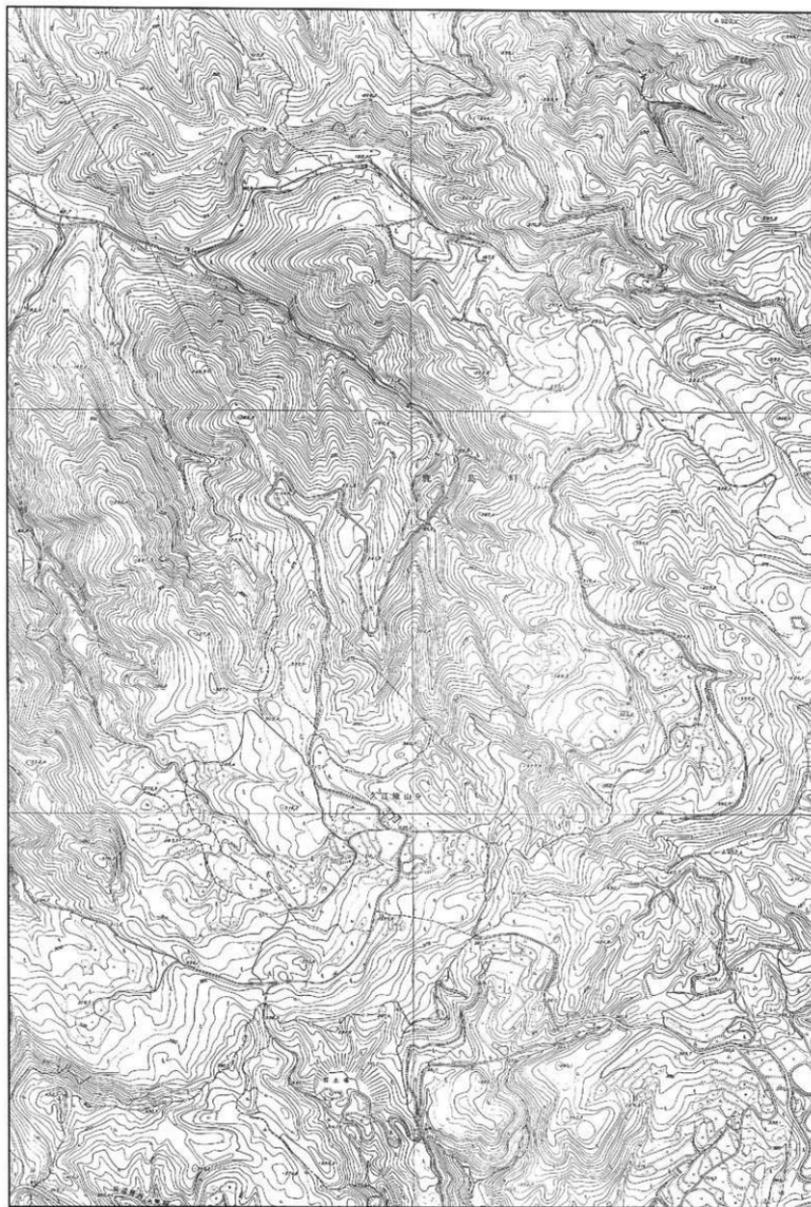




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30		

4

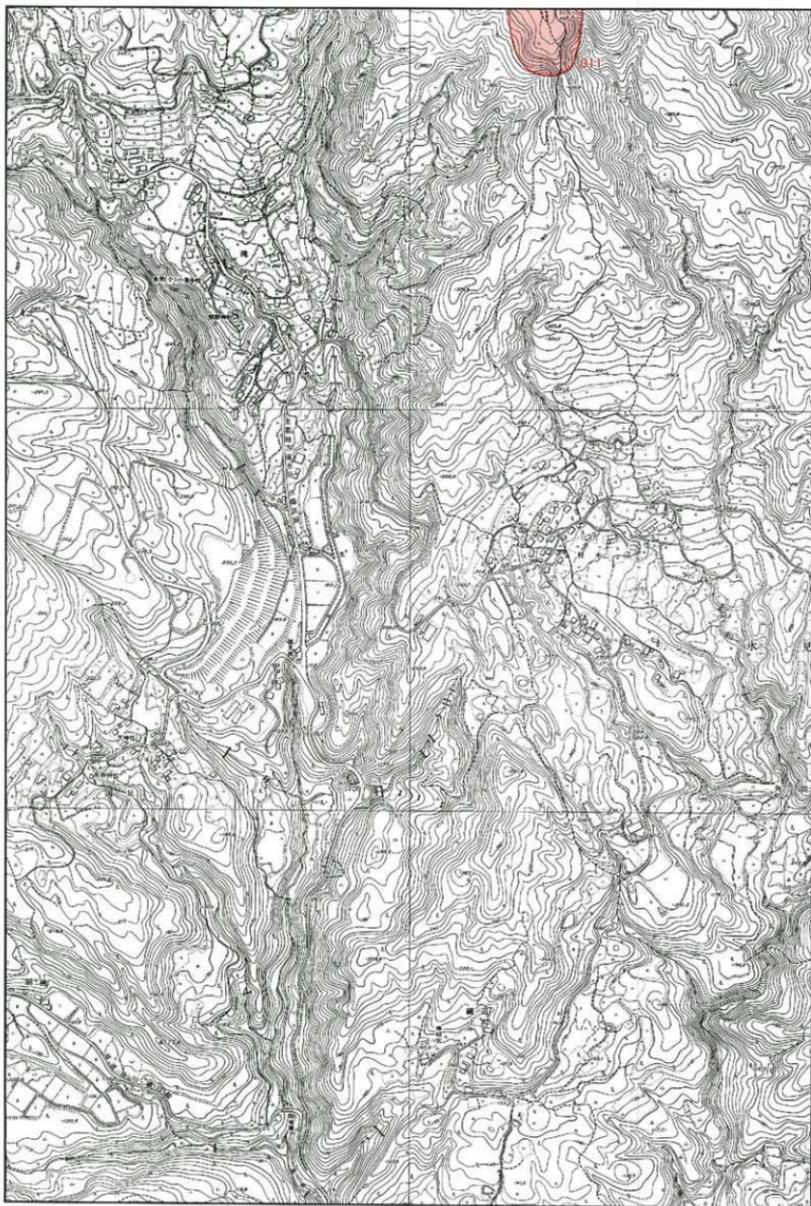




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

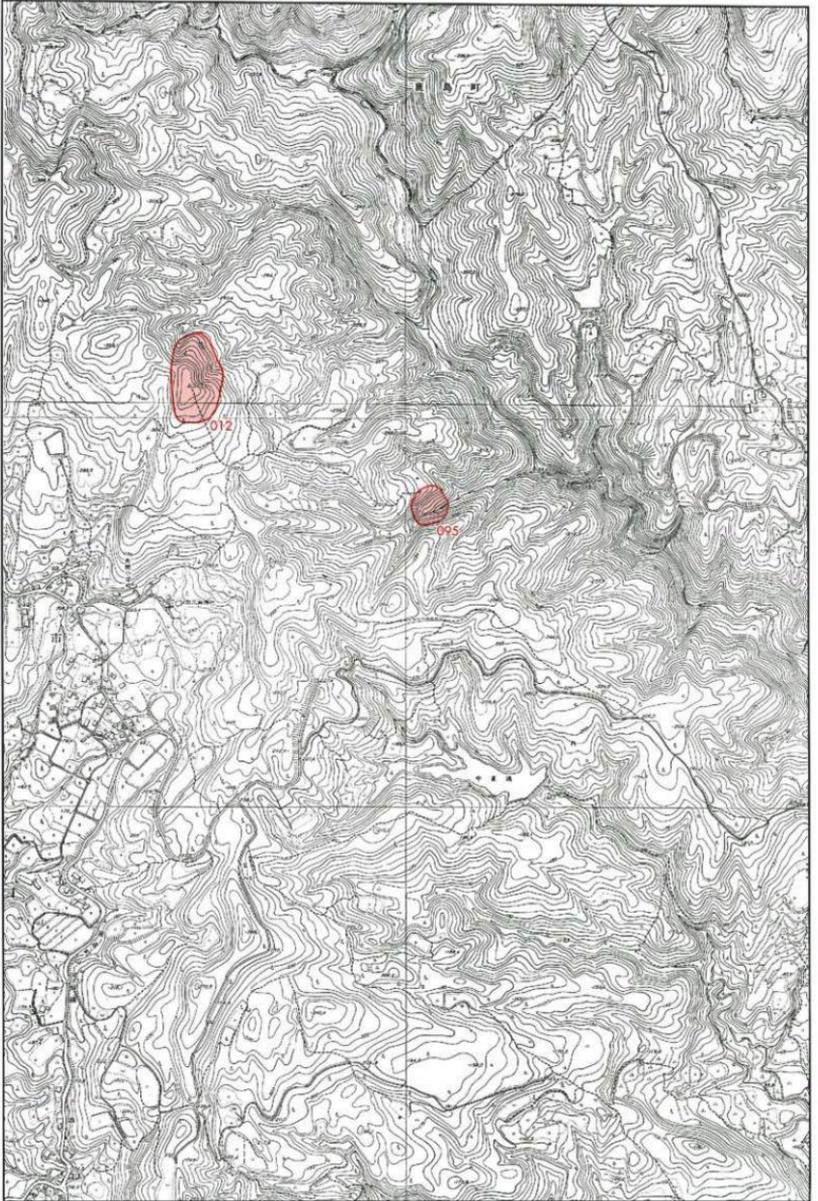
5

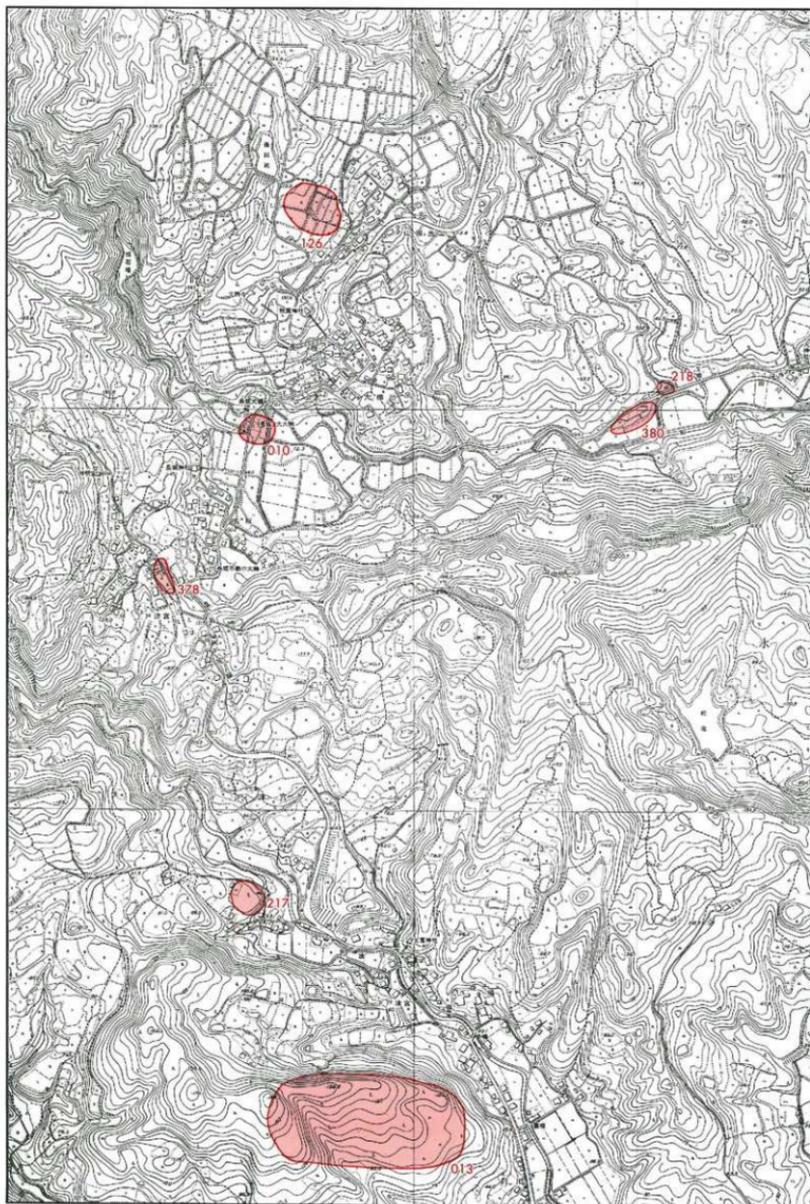




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

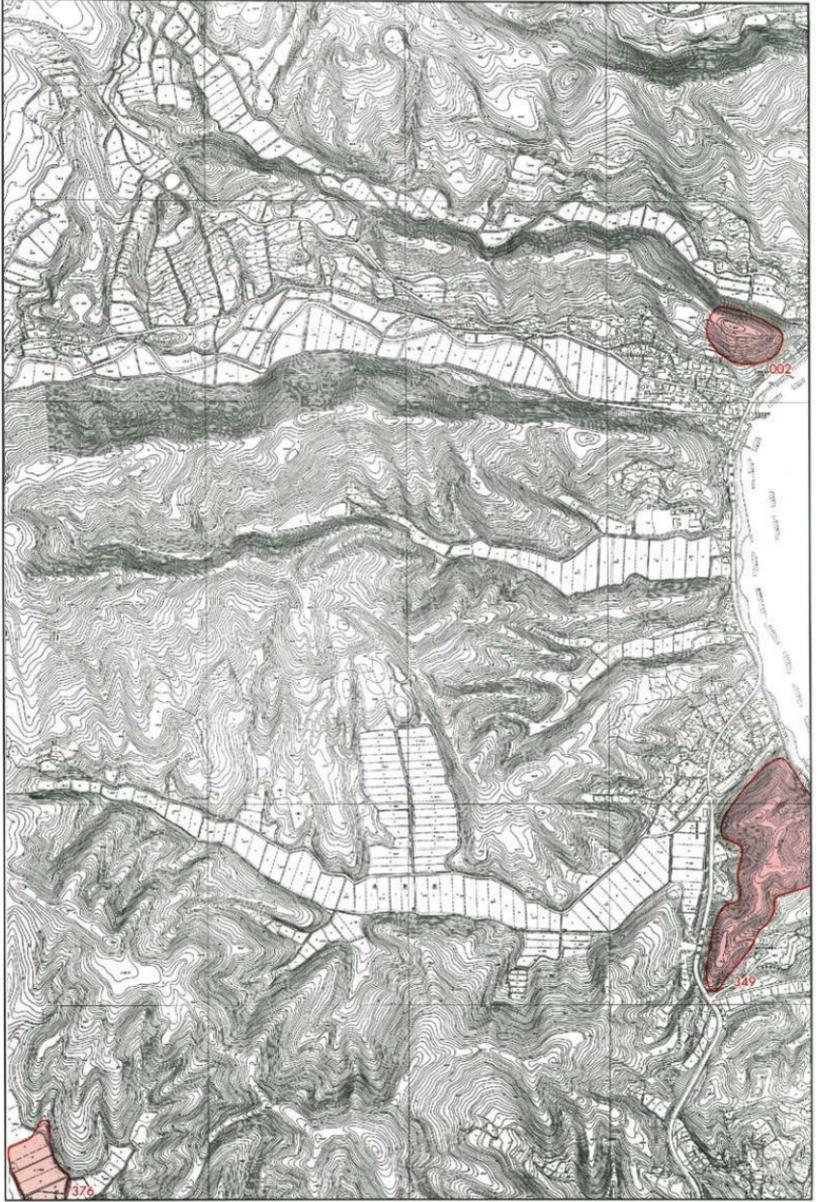
6





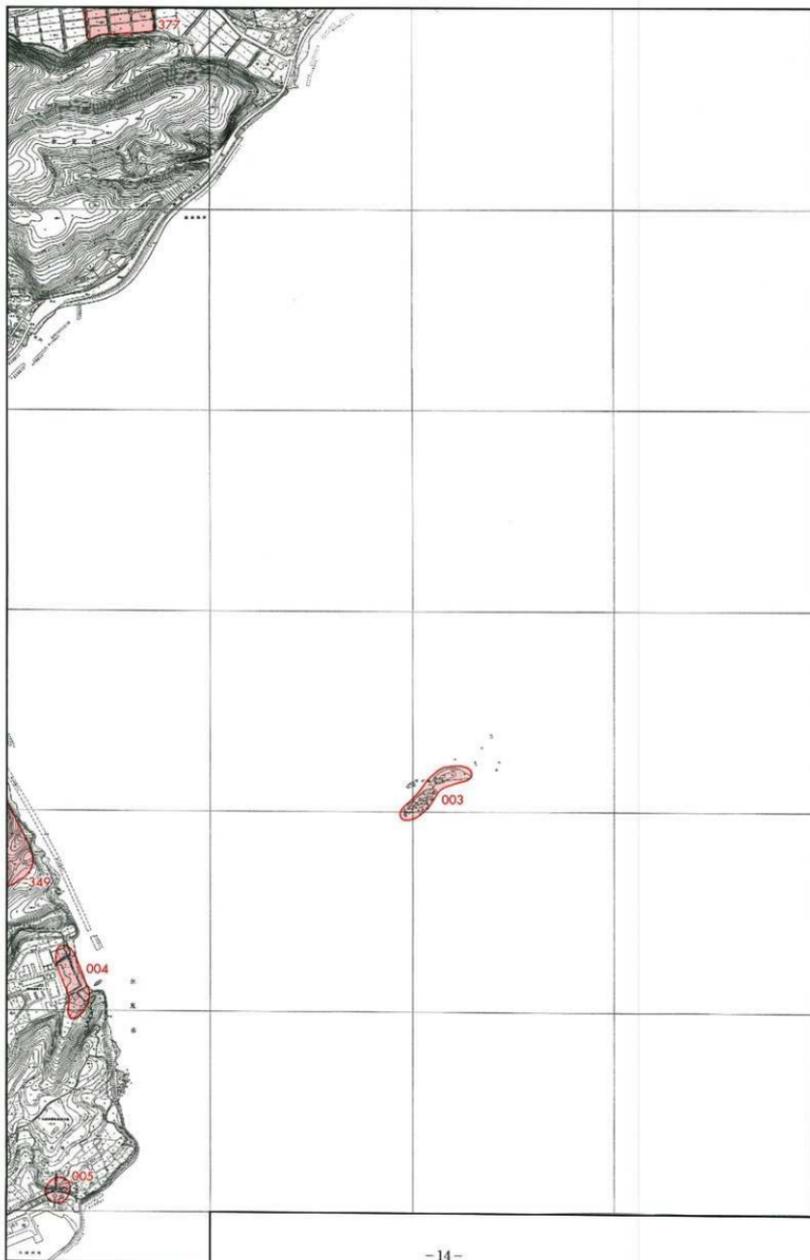
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

7



1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

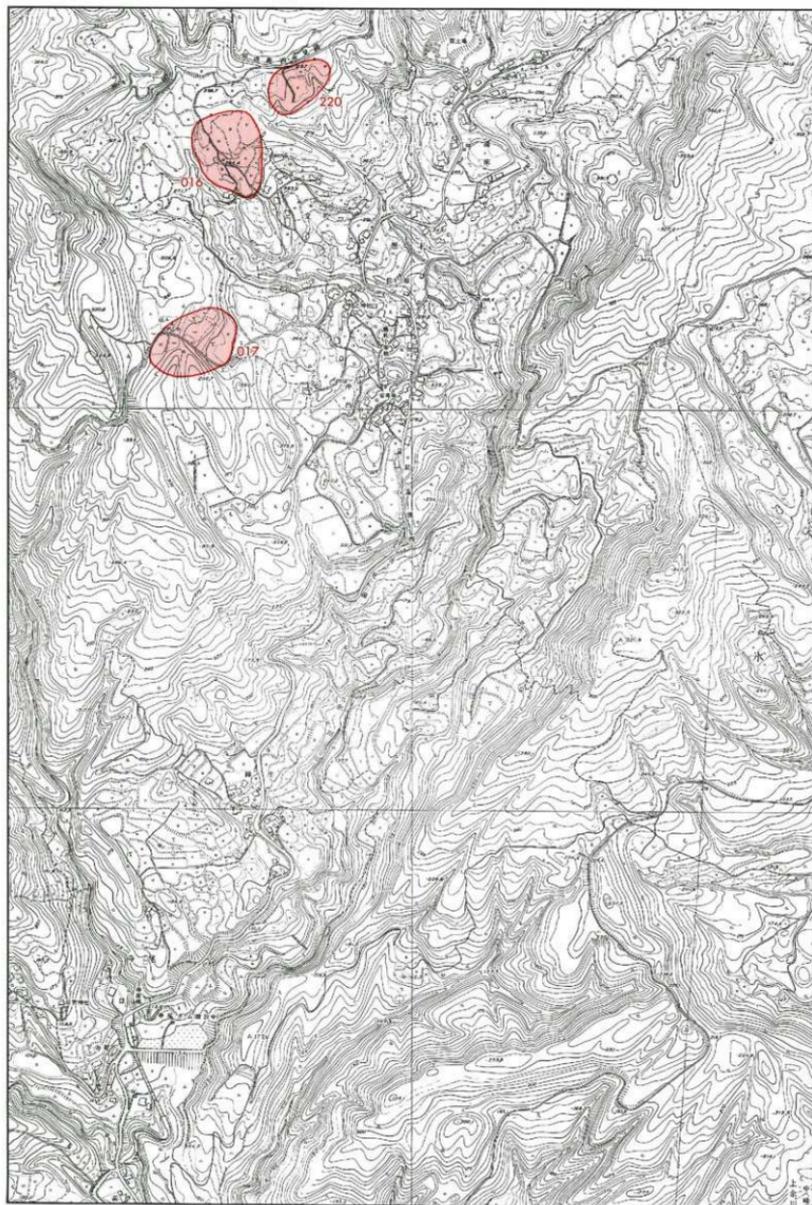
8



1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

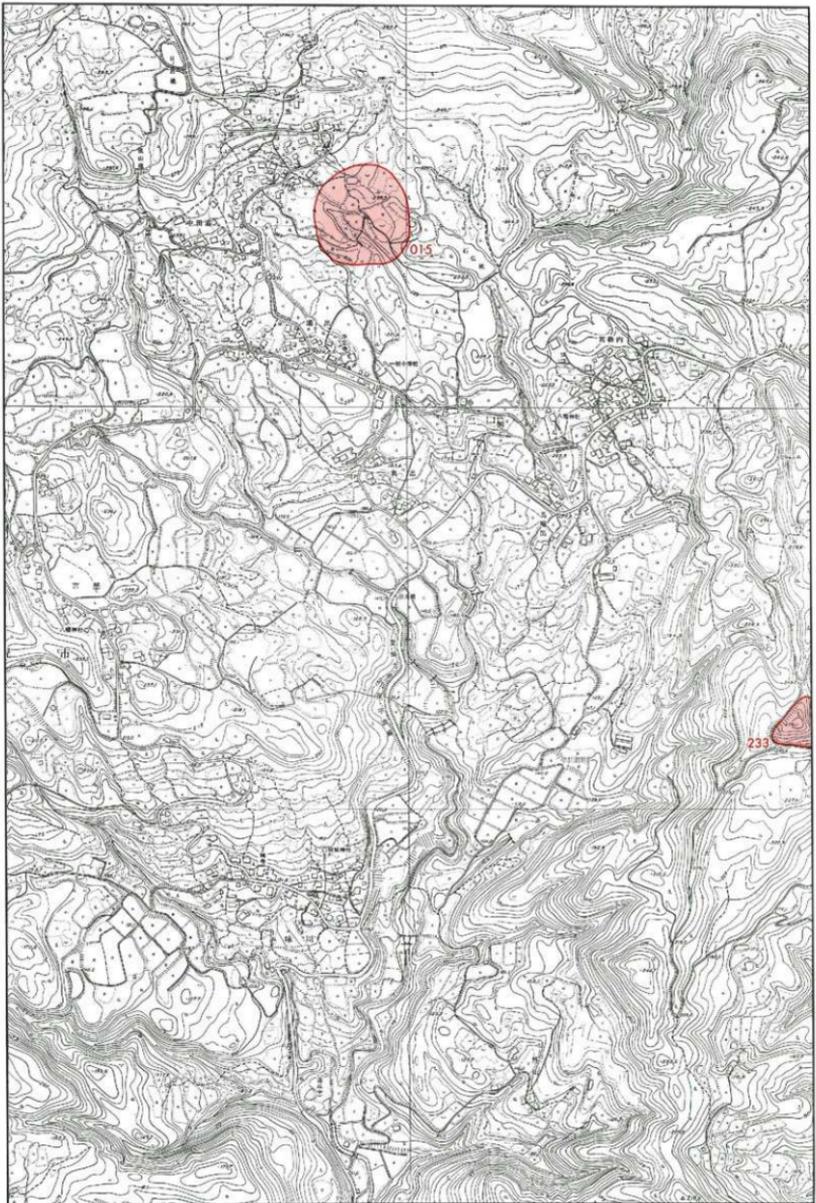
9

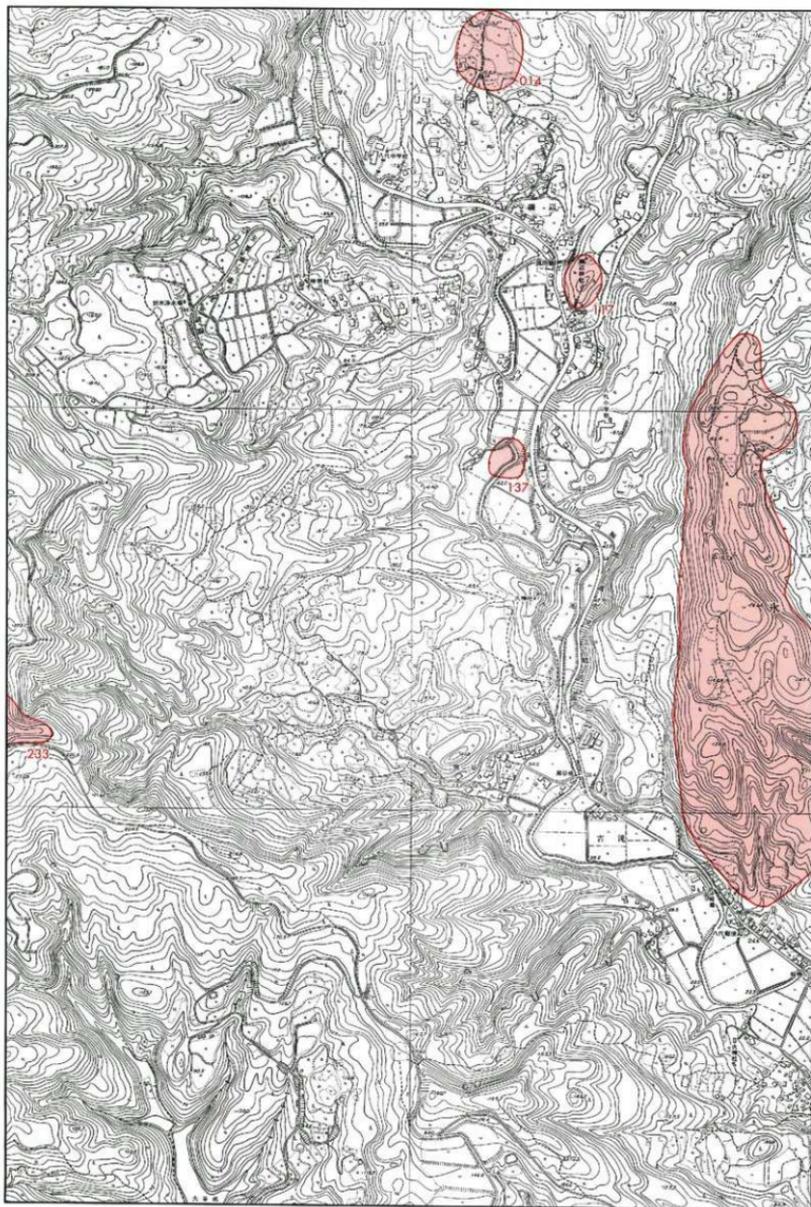




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

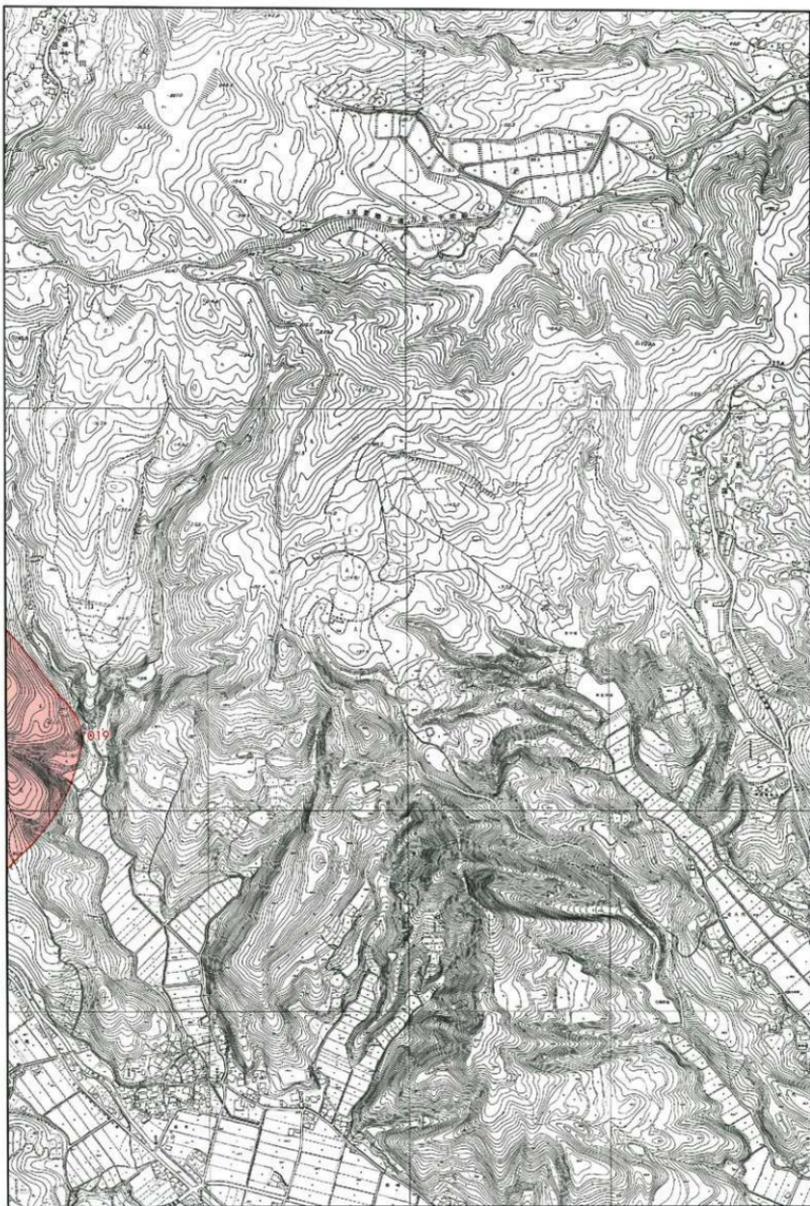
10

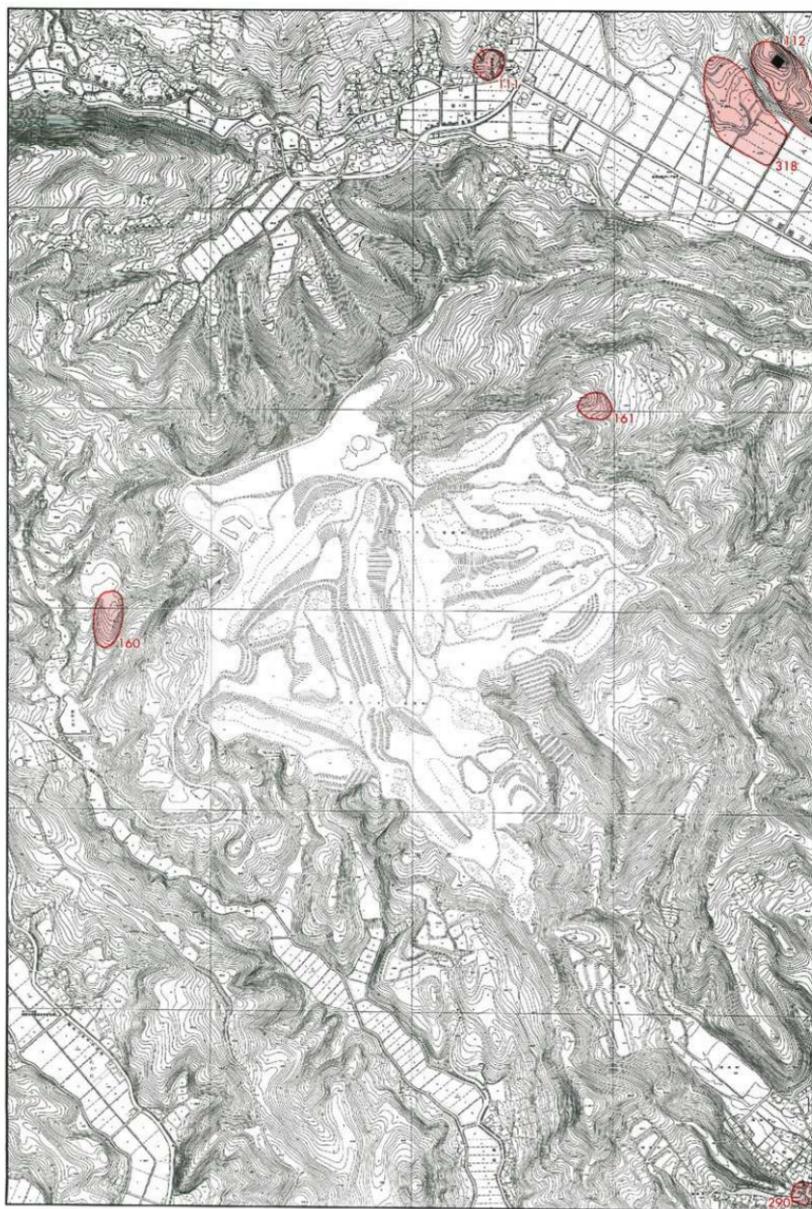




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

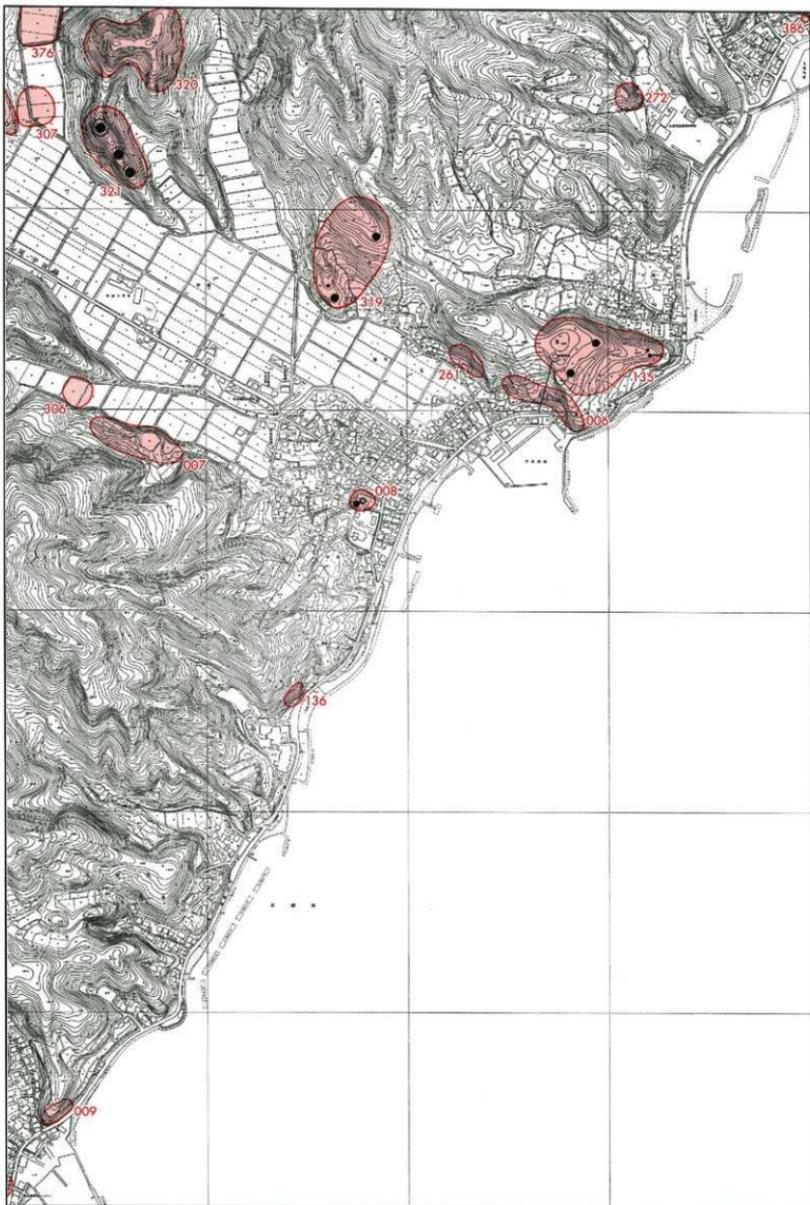
11

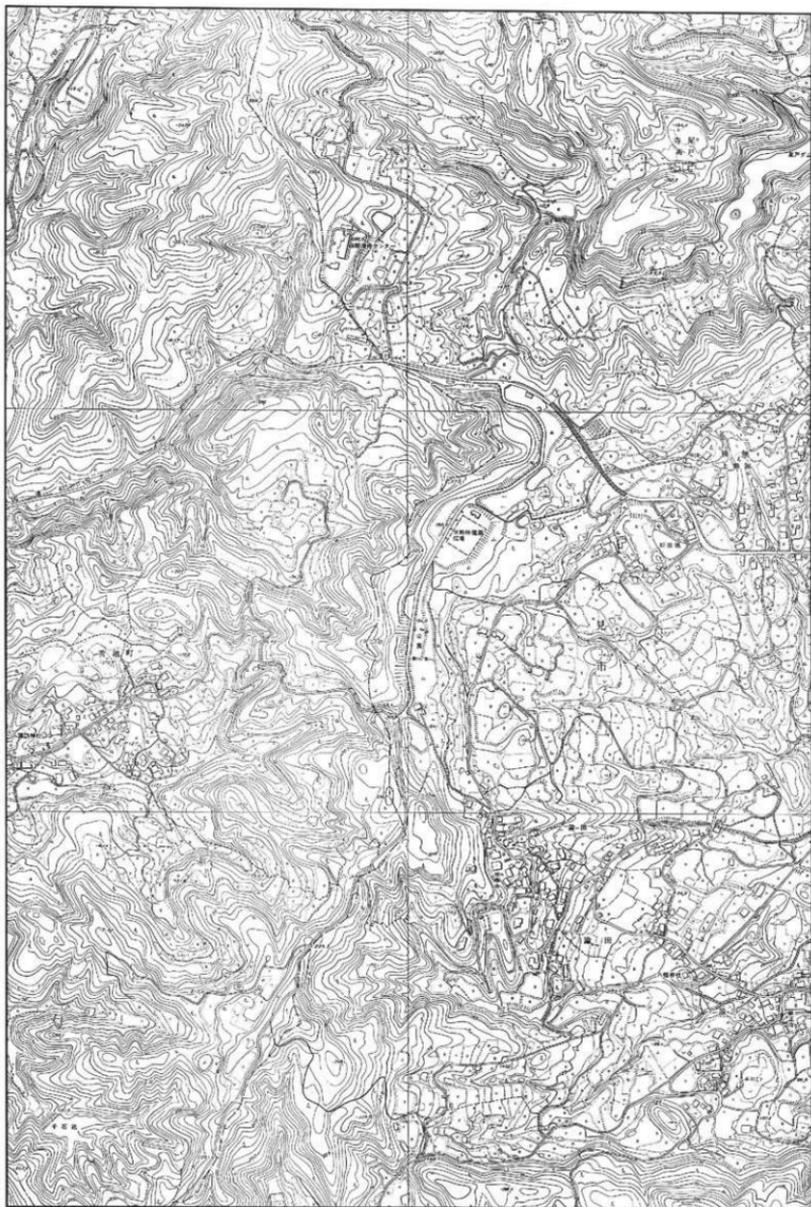




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

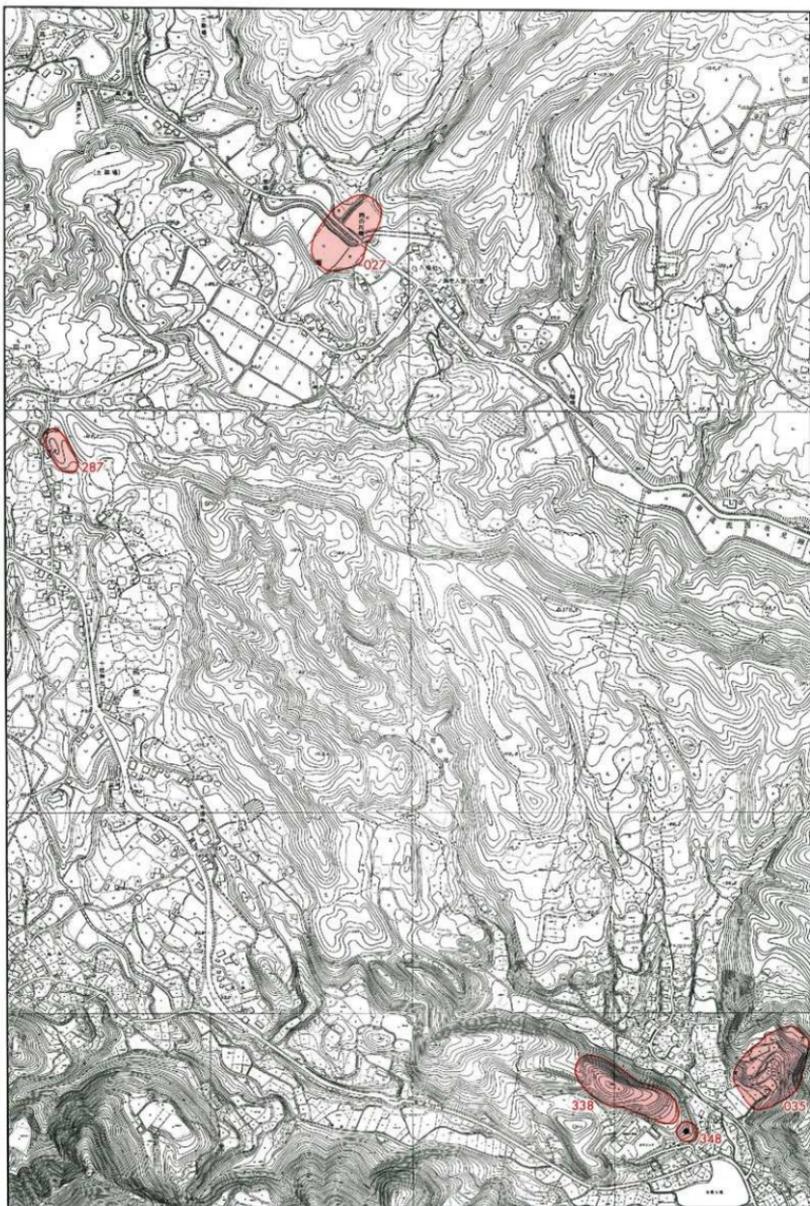
12

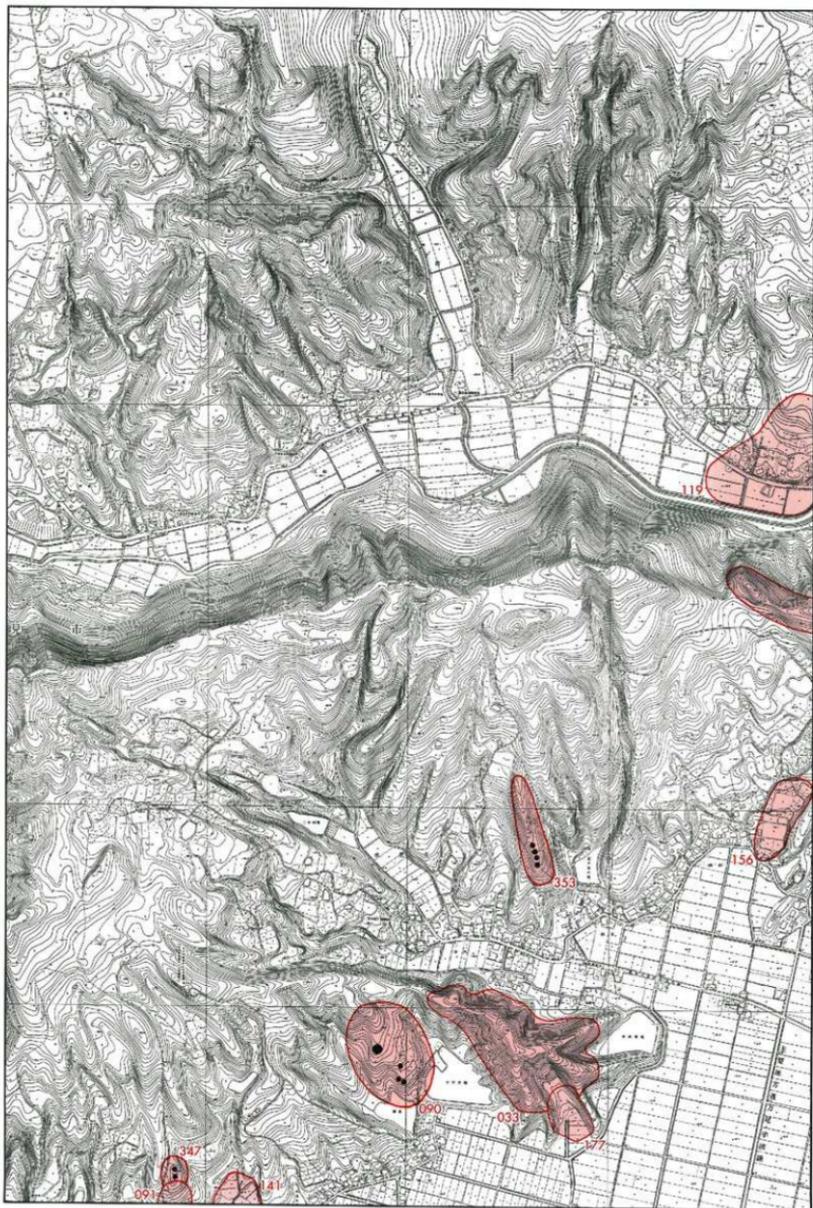




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

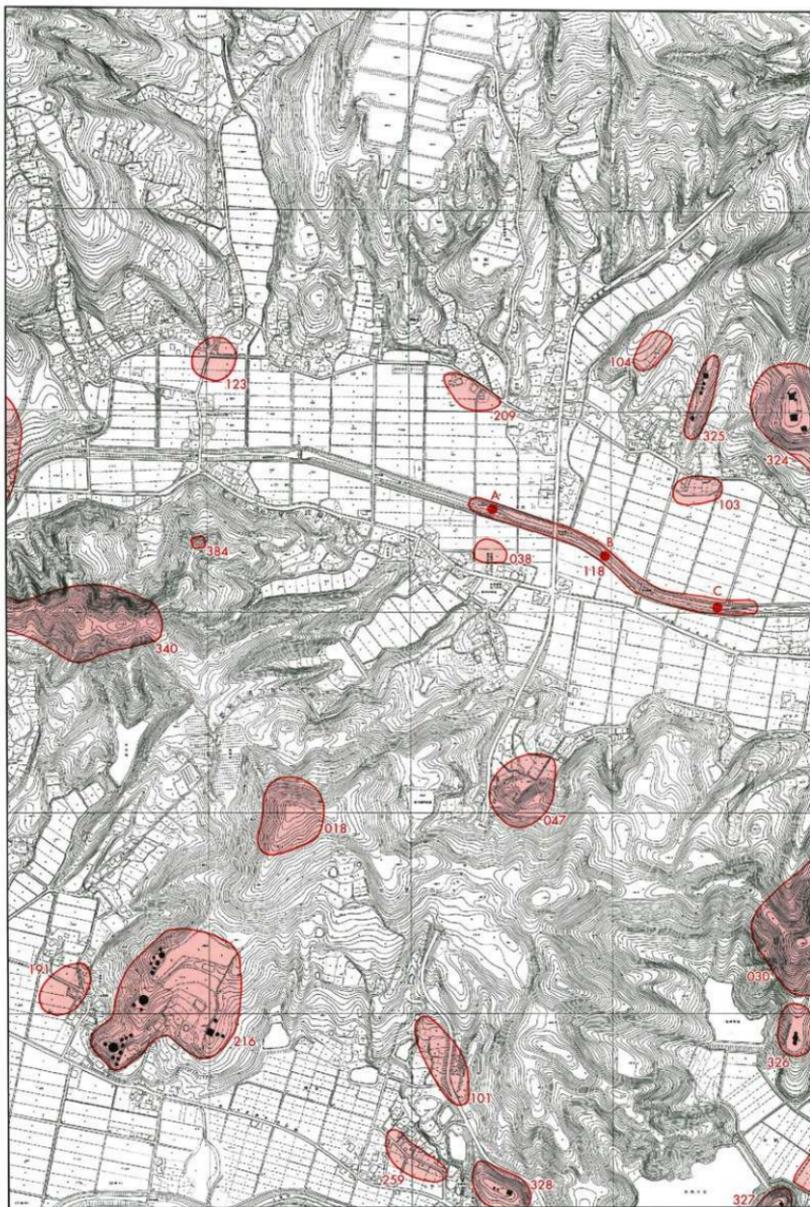
13





1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

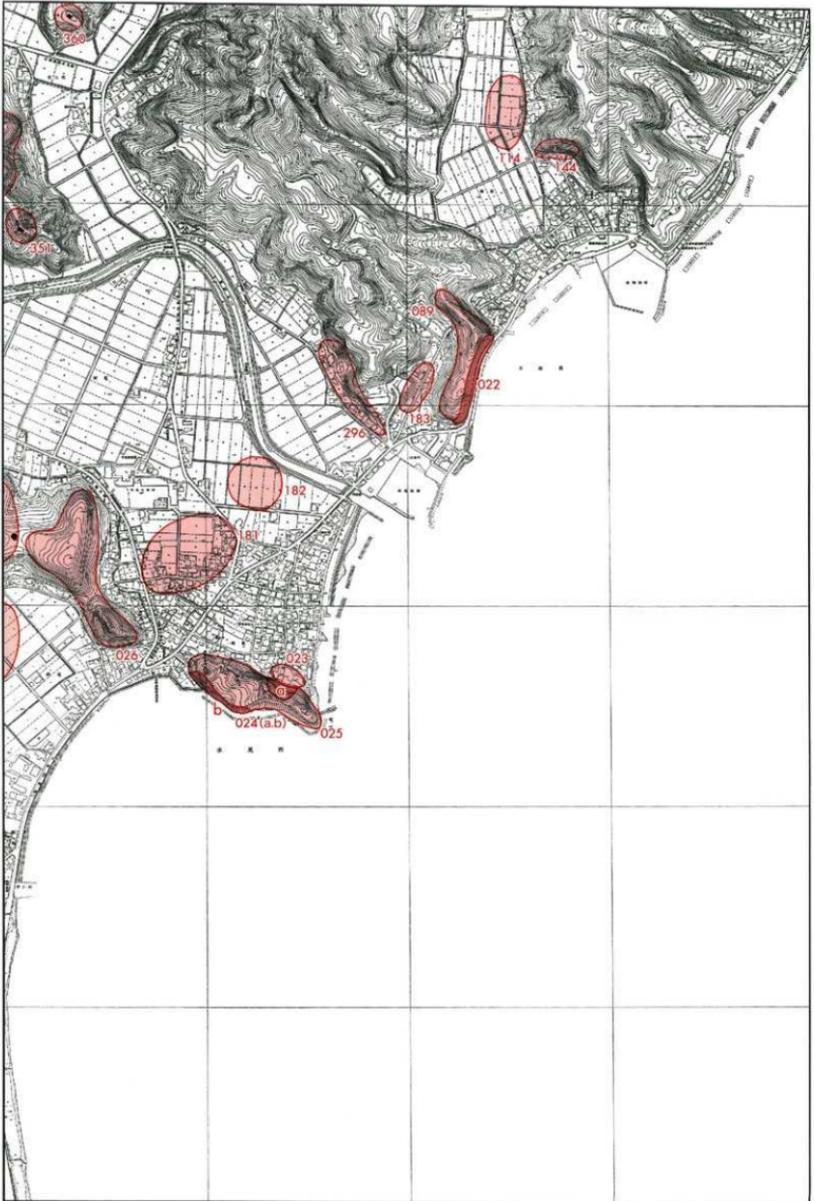
14

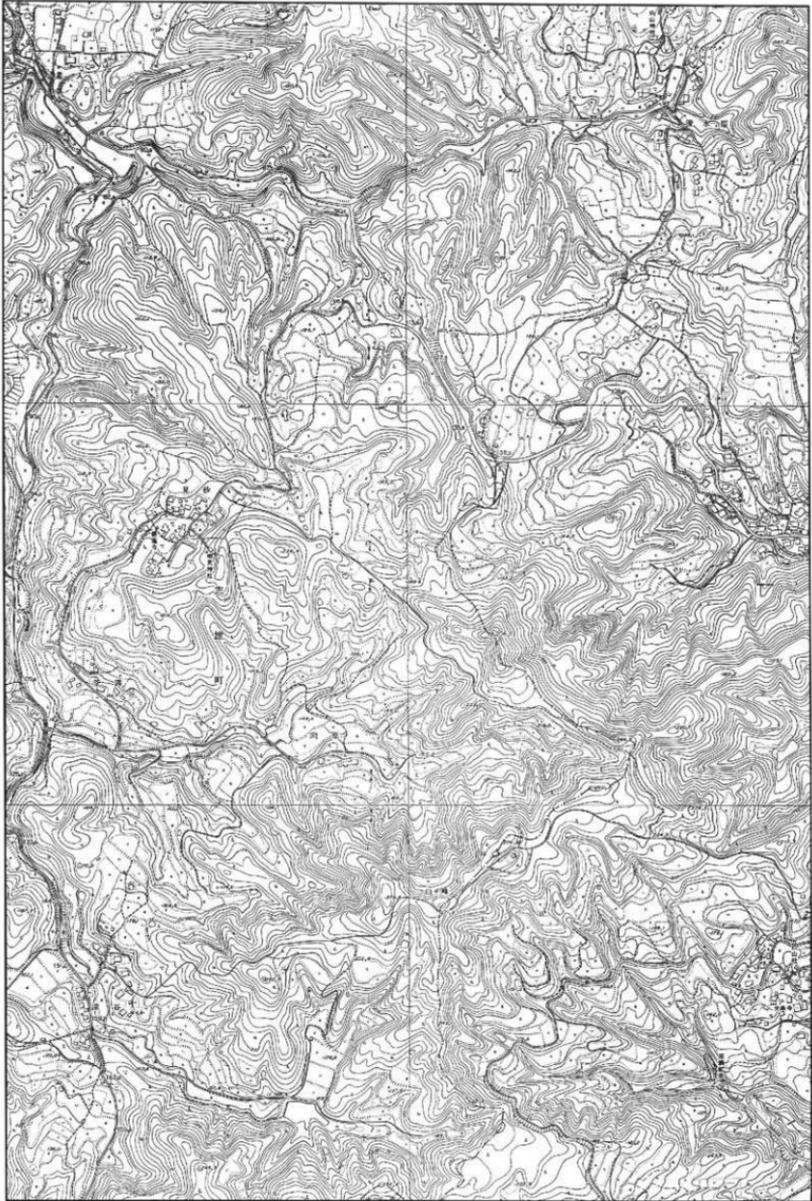




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30		

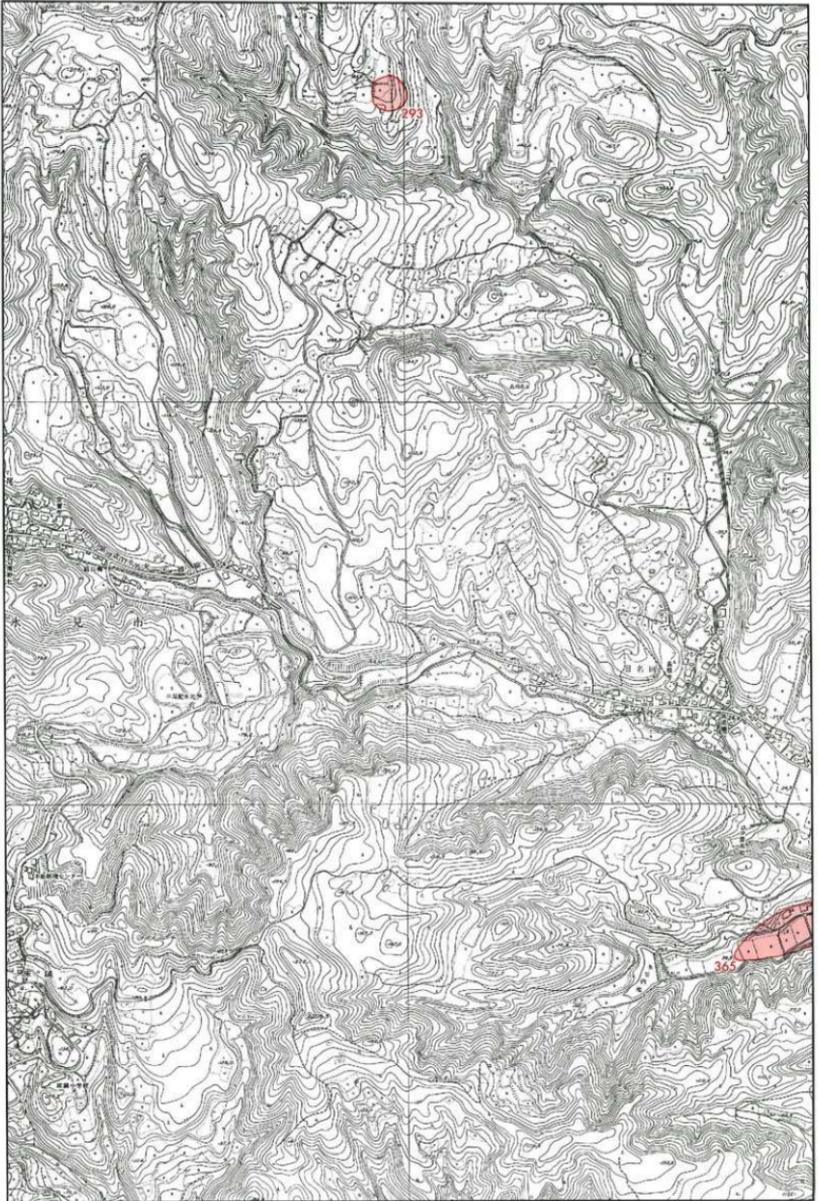
15

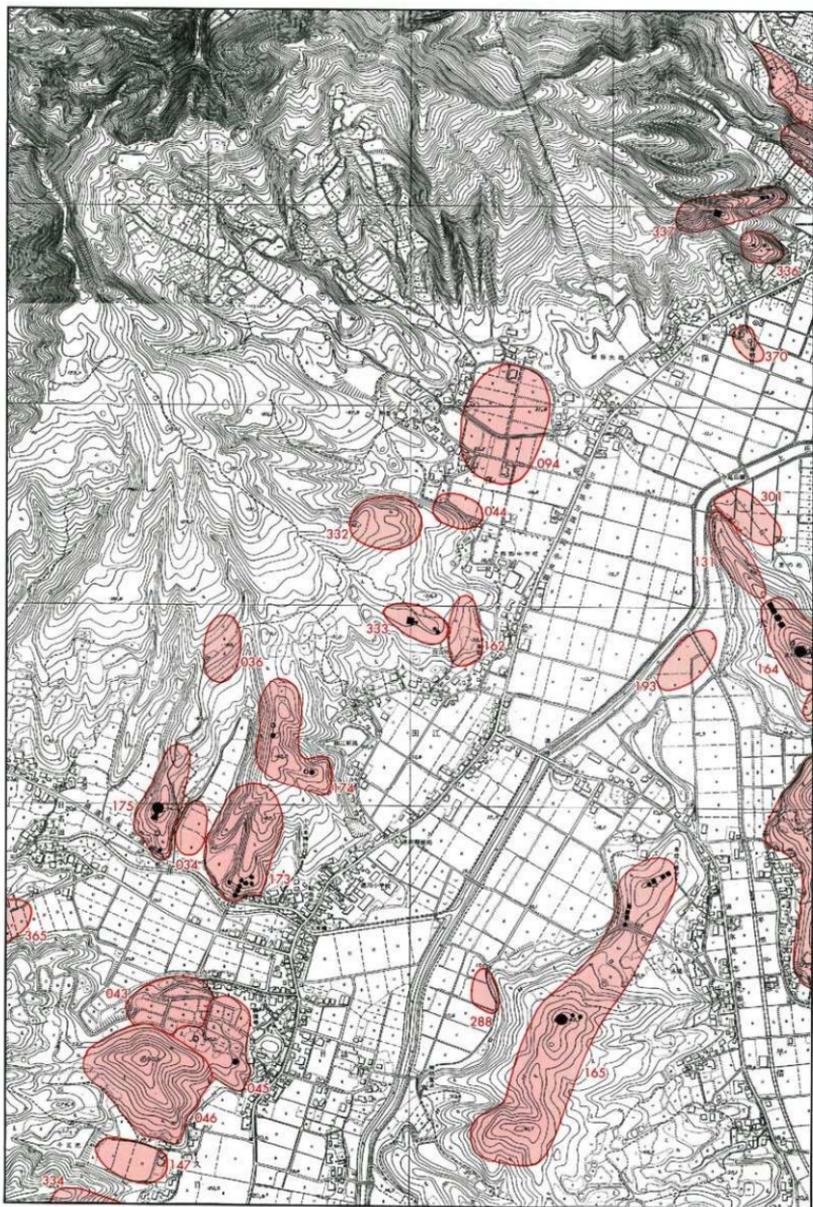




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

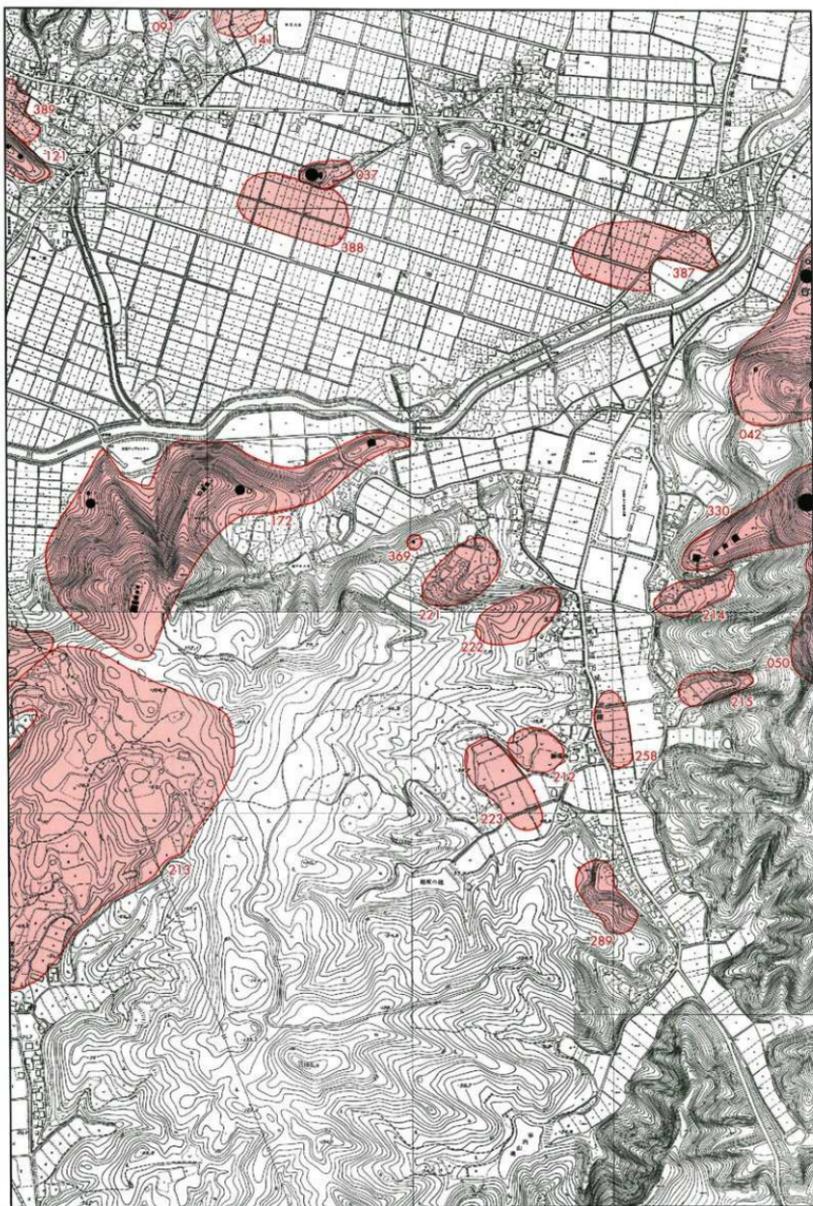
16

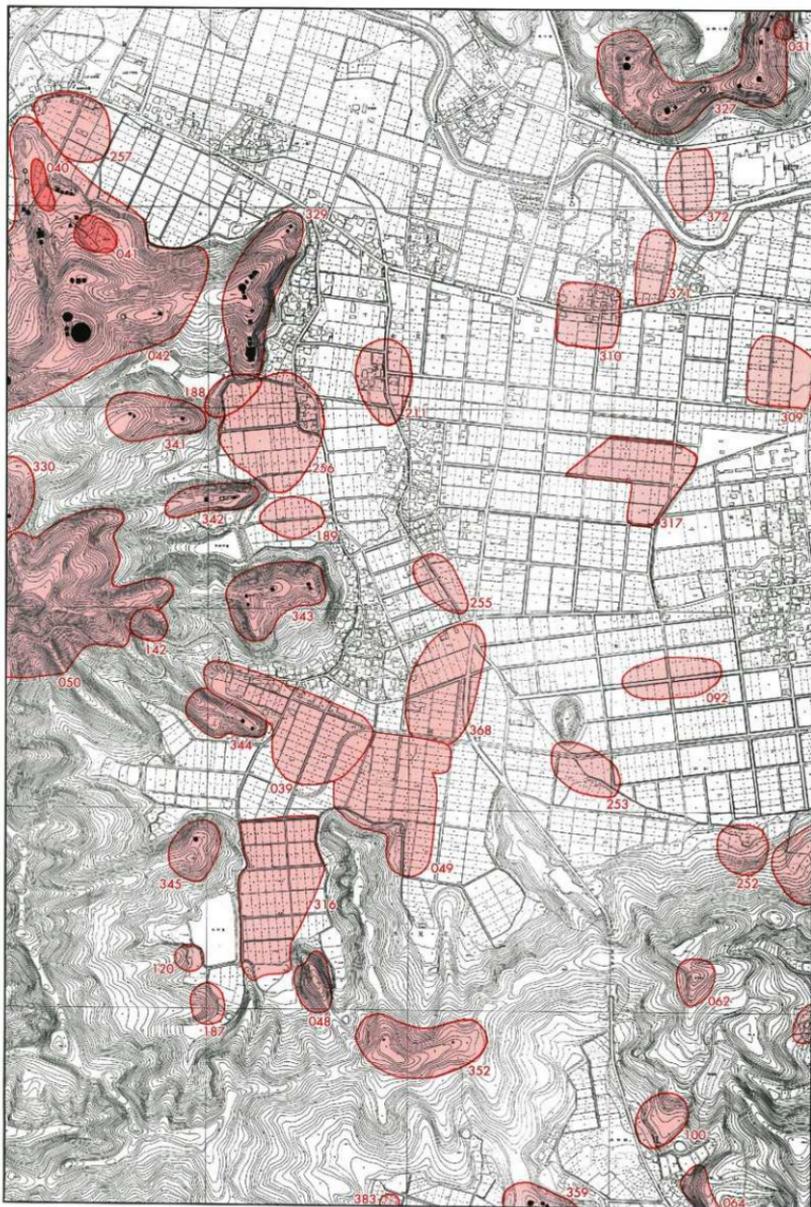




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

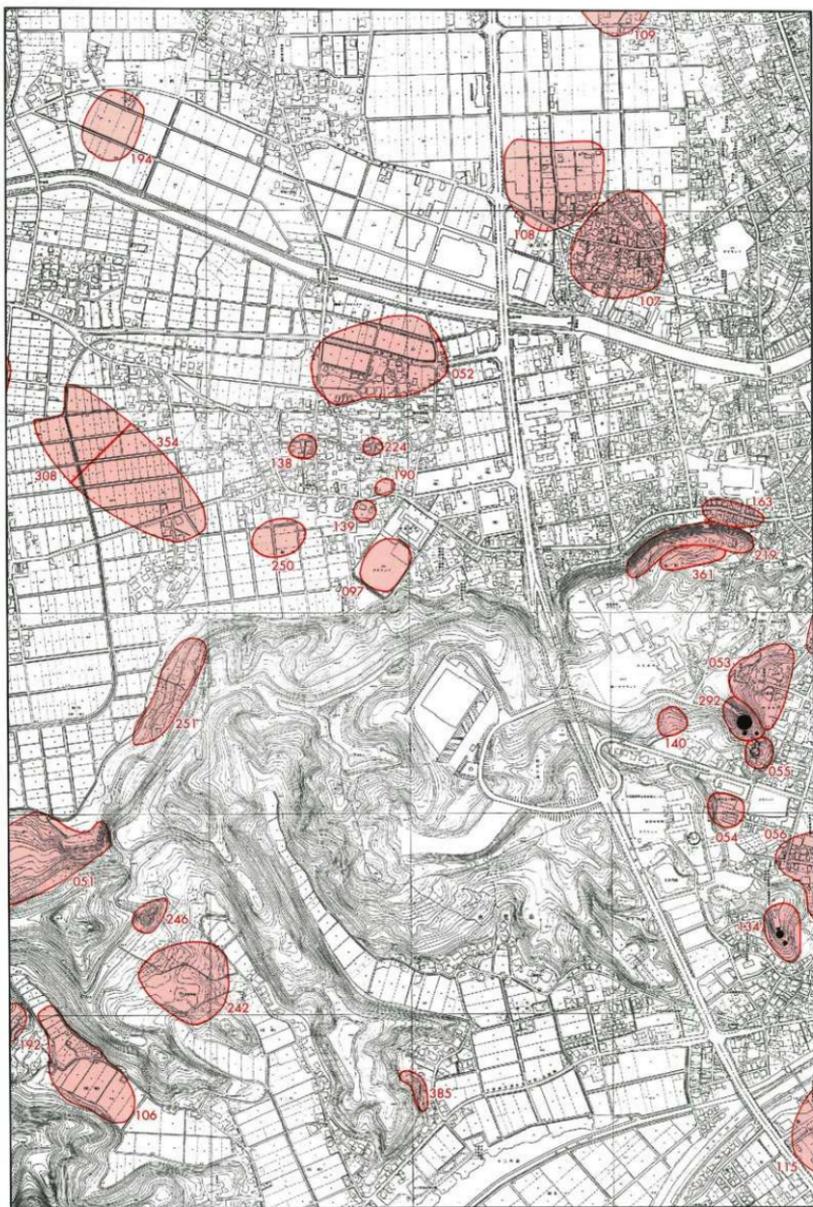
17

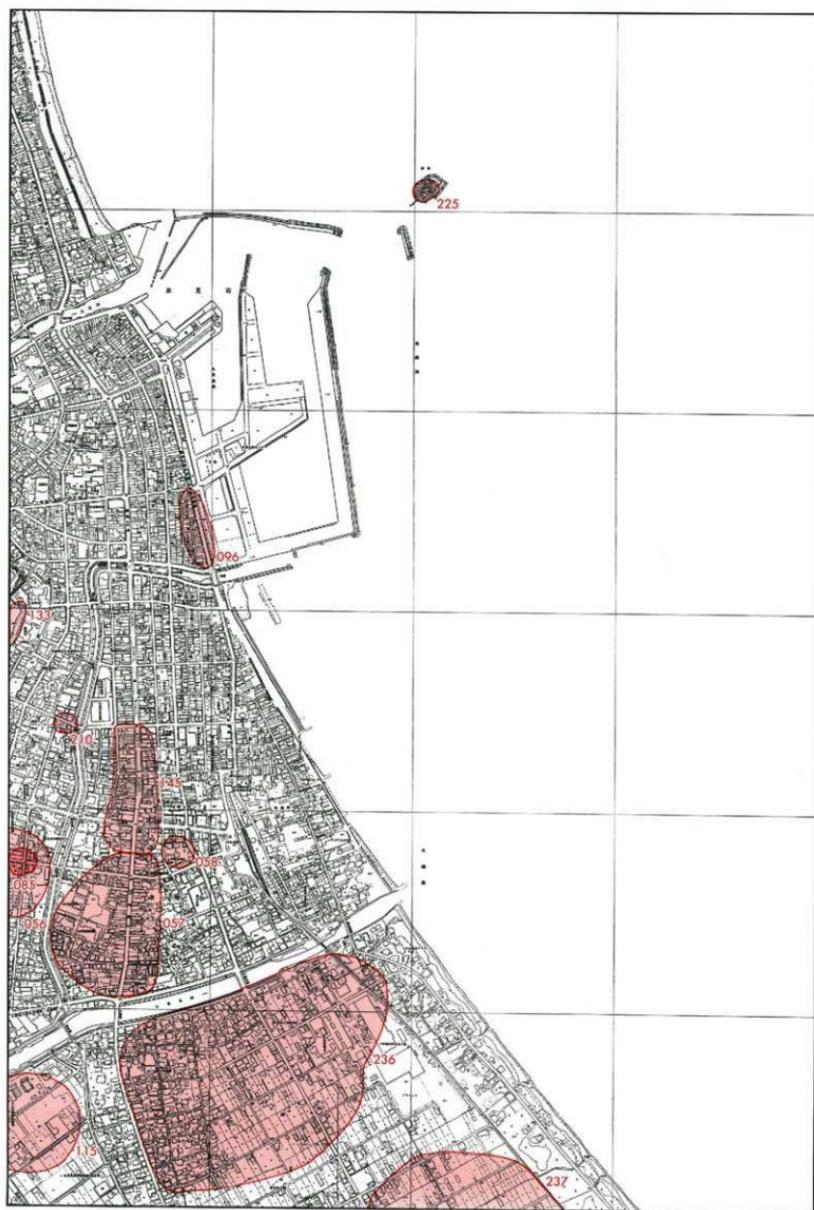




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

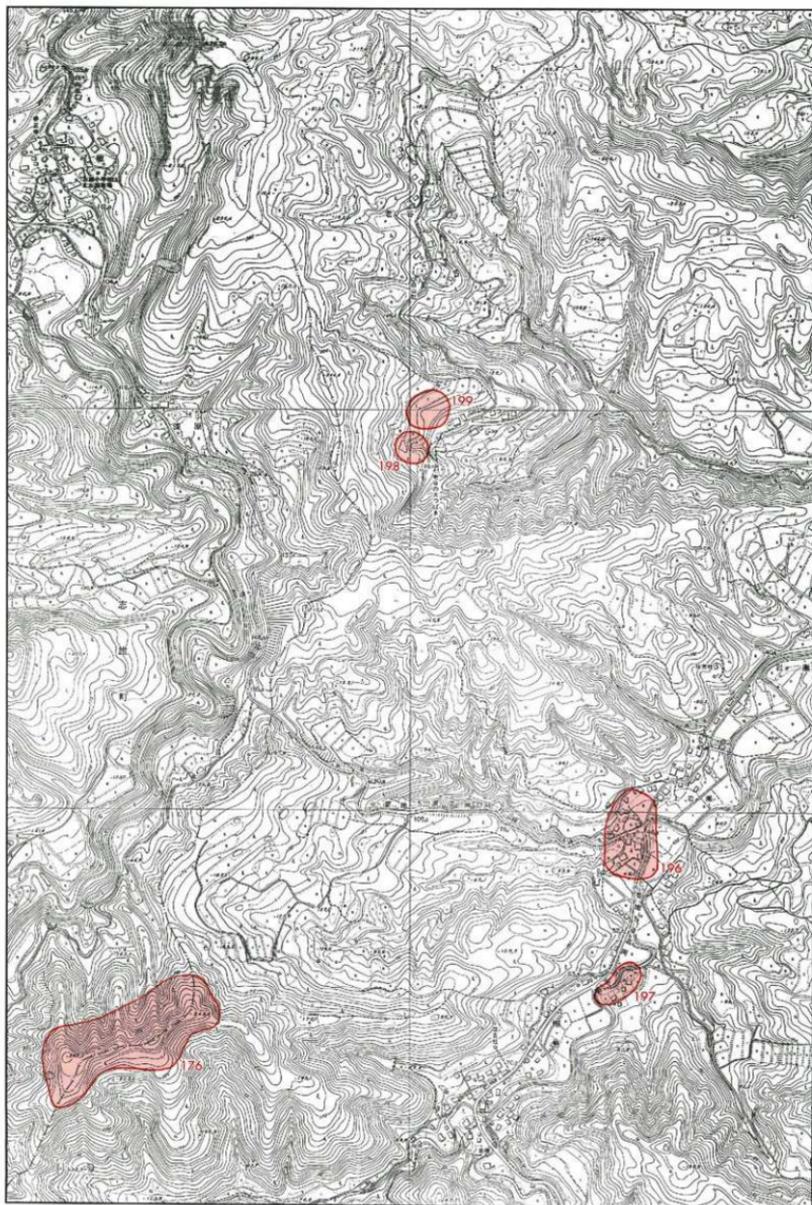
18





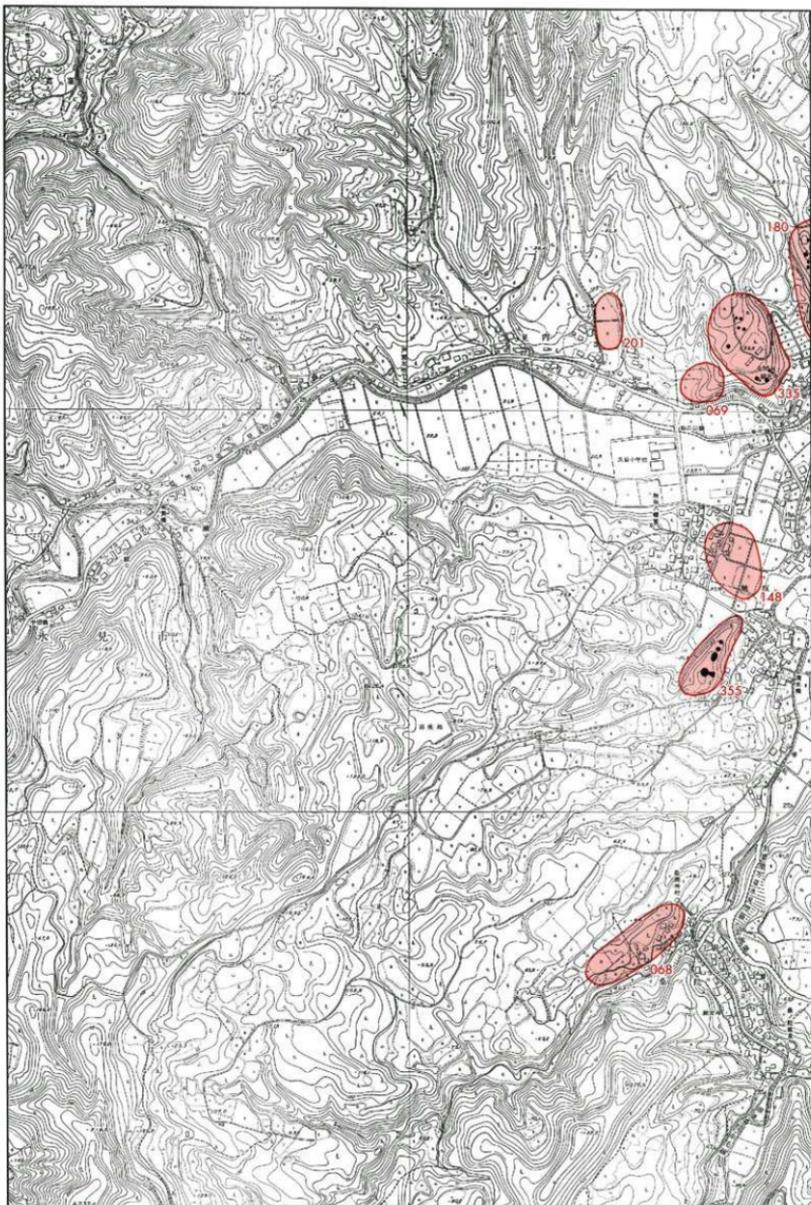
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	16
17	18	19	20
21	22	23	24
25	26	27	28
29	30		

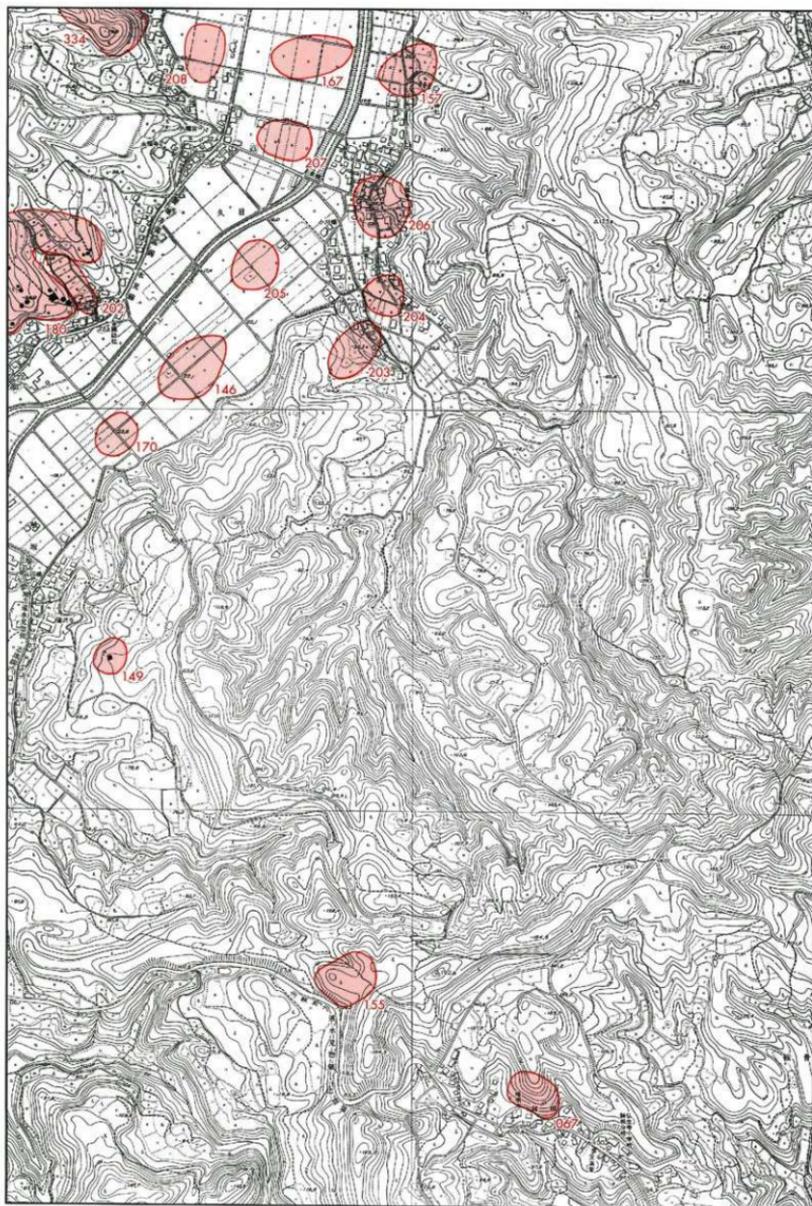
19



1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

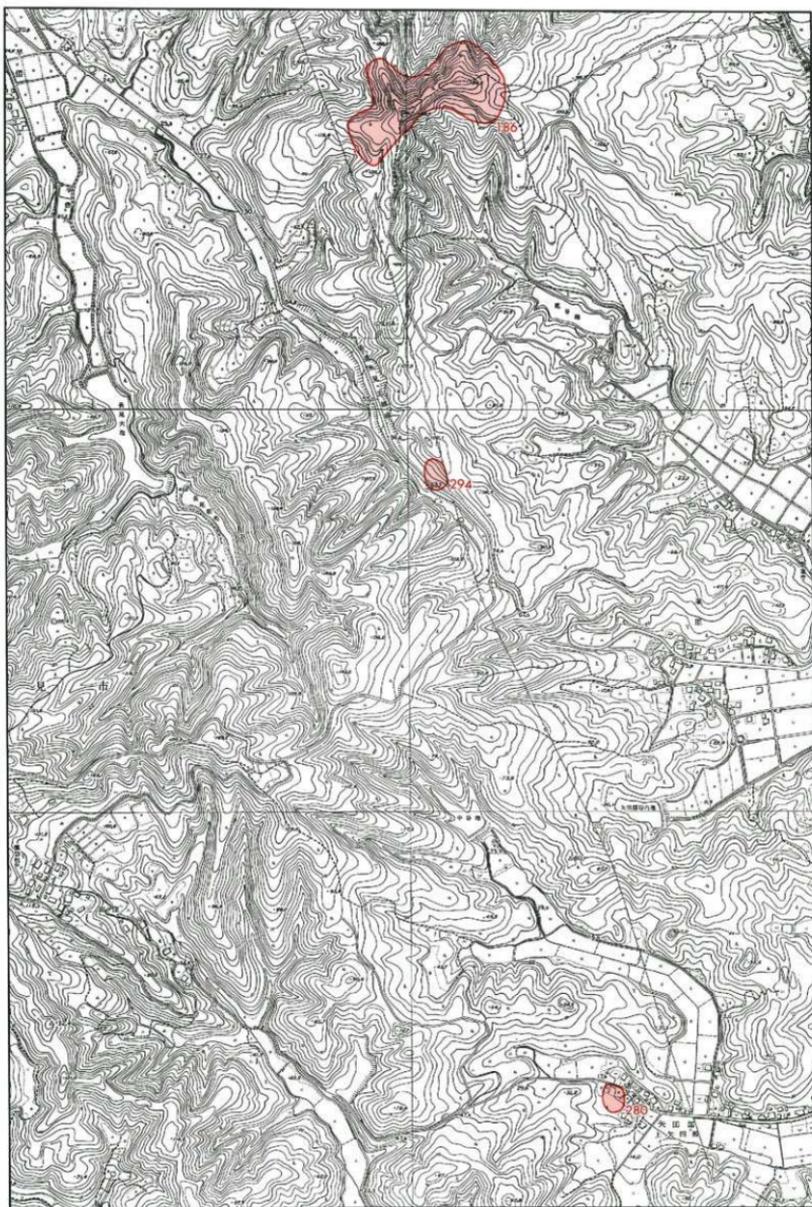
20

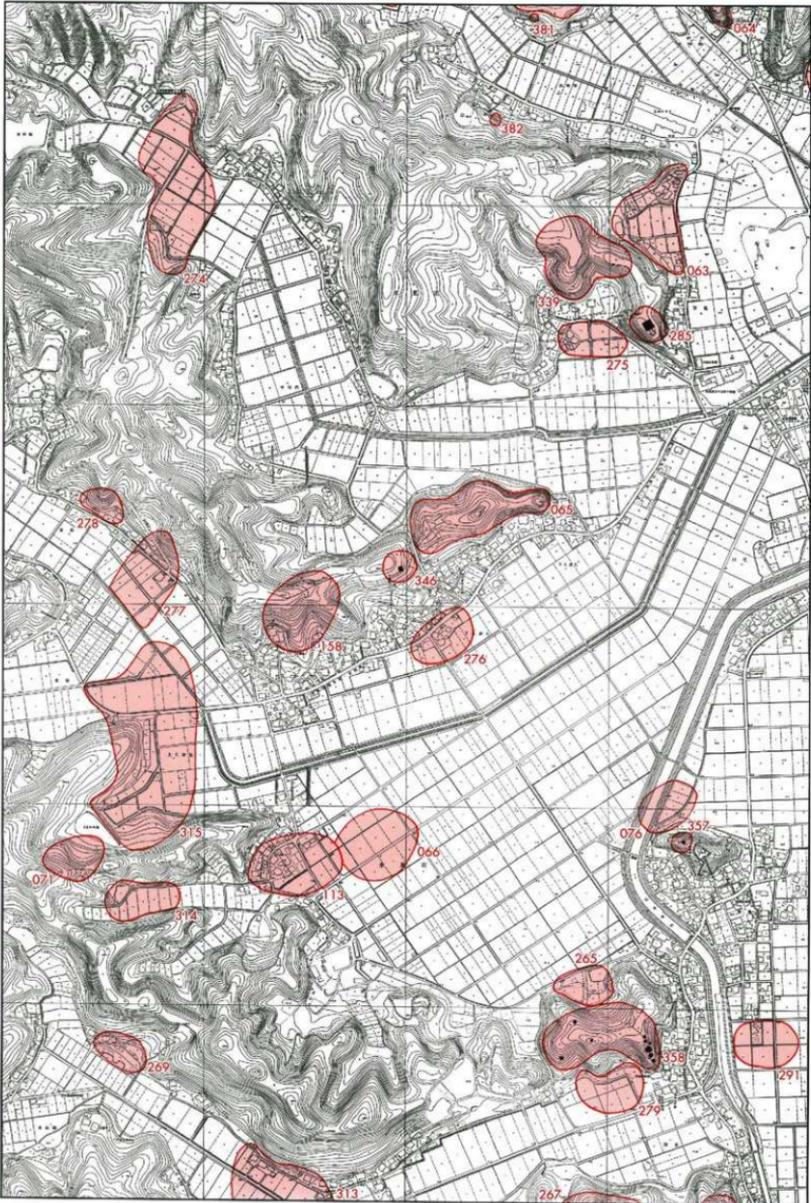




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

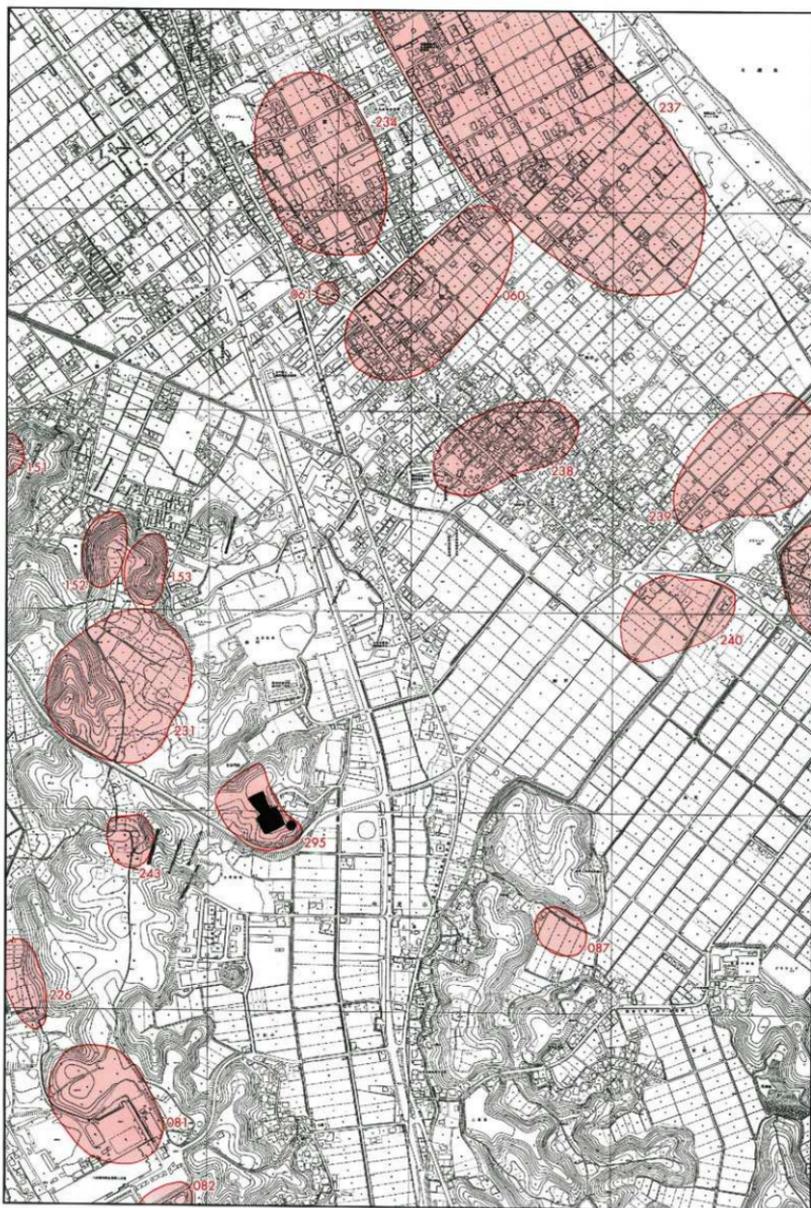
21





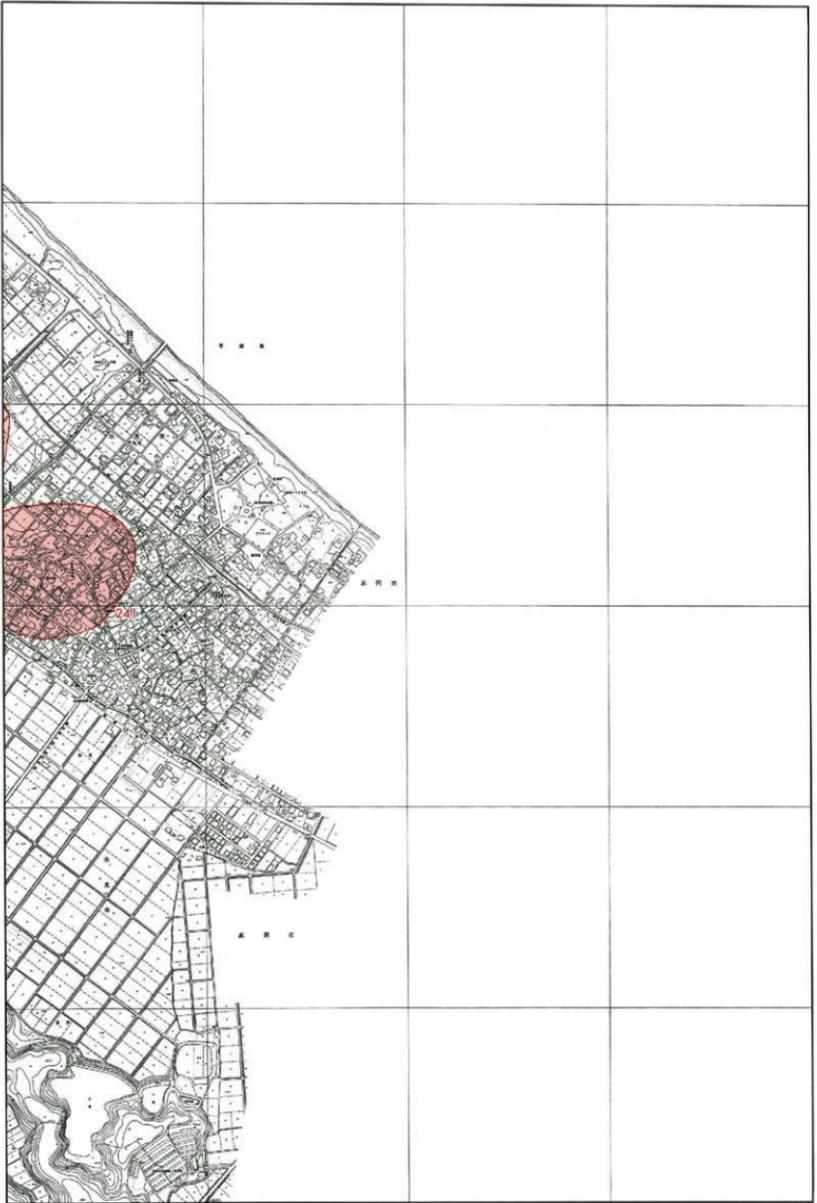
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	





1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

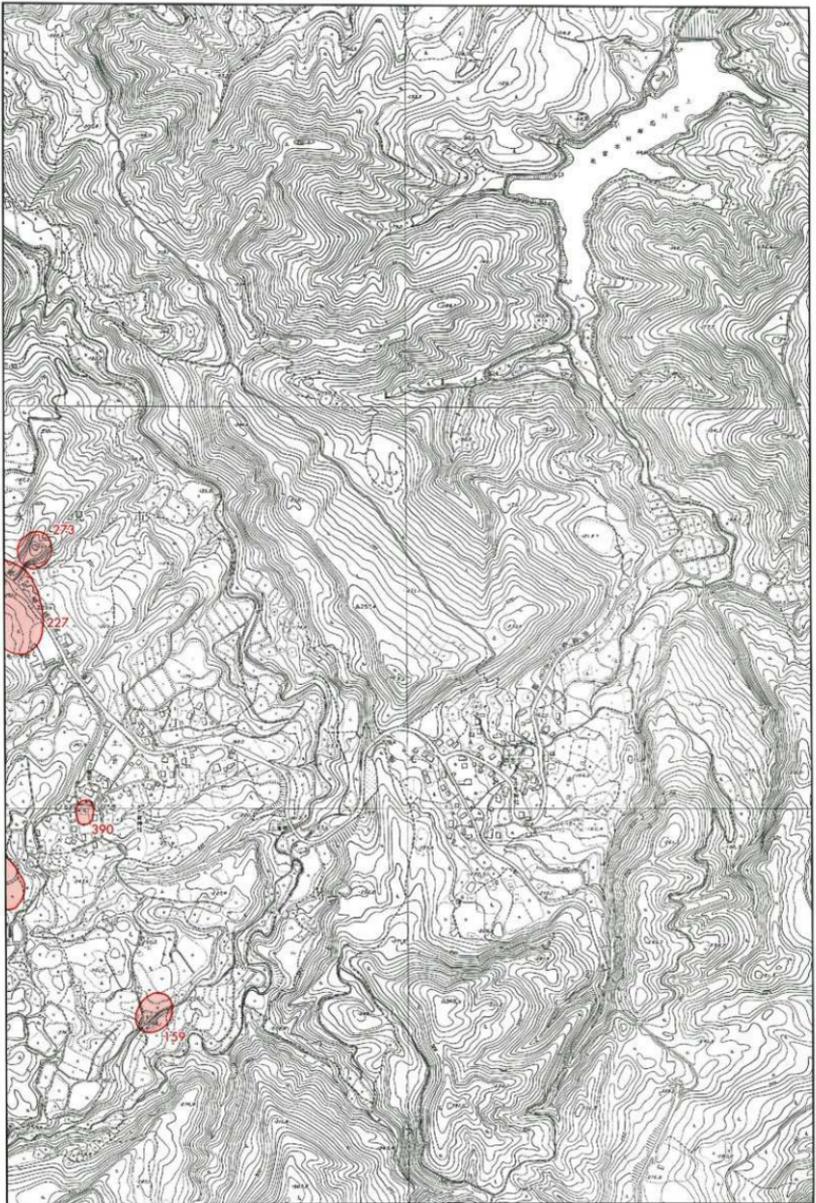
23

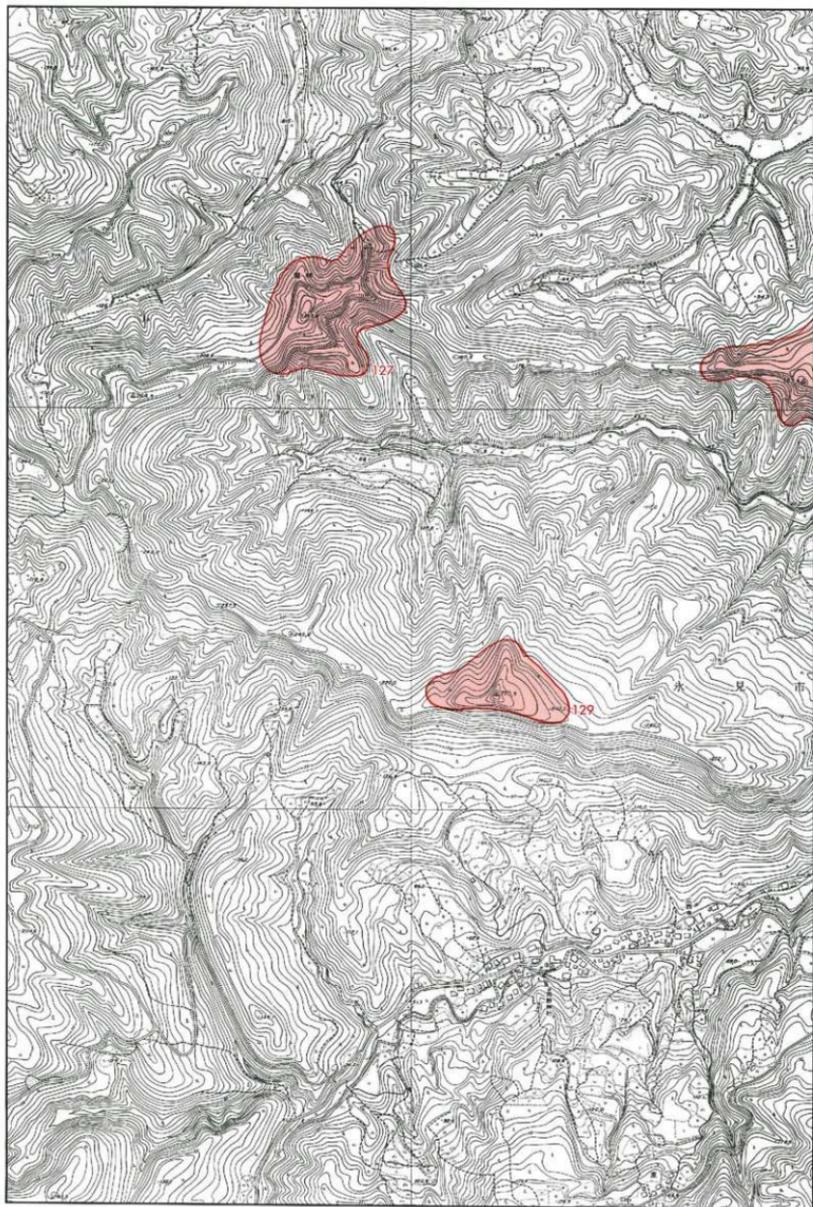




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

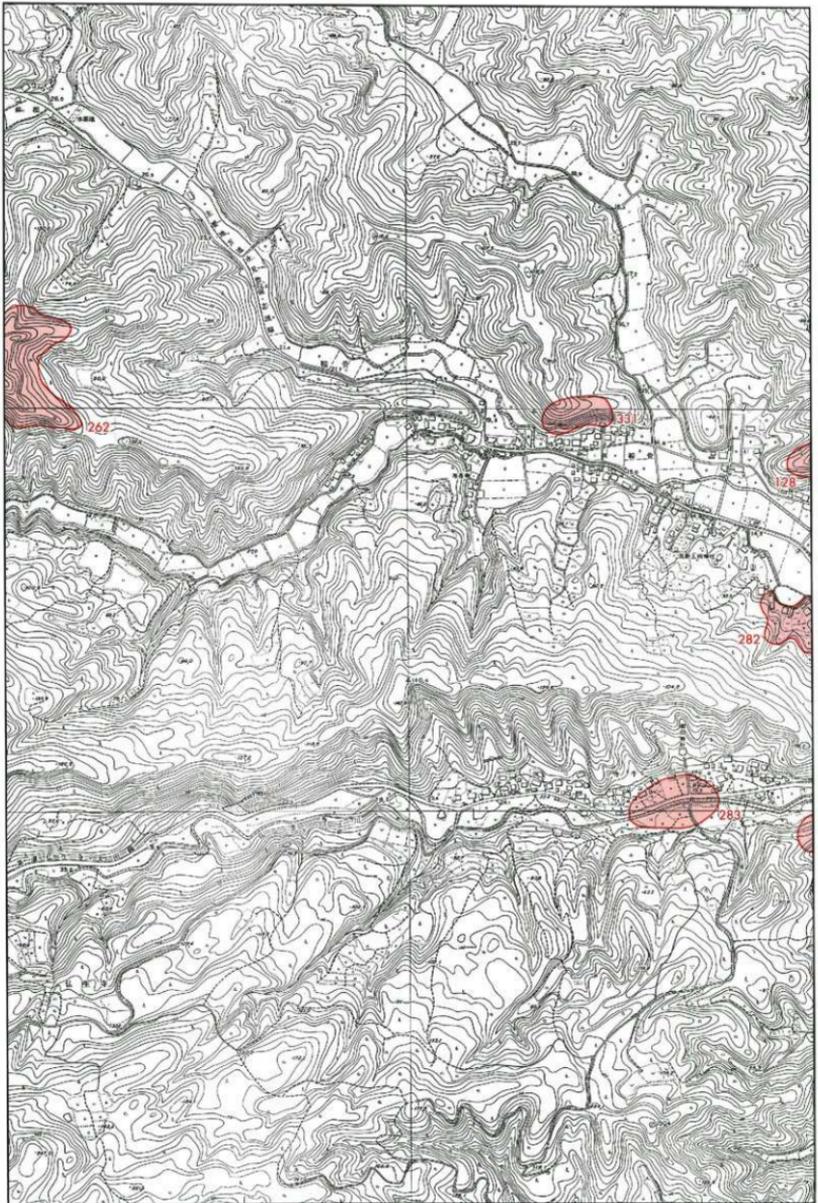
24

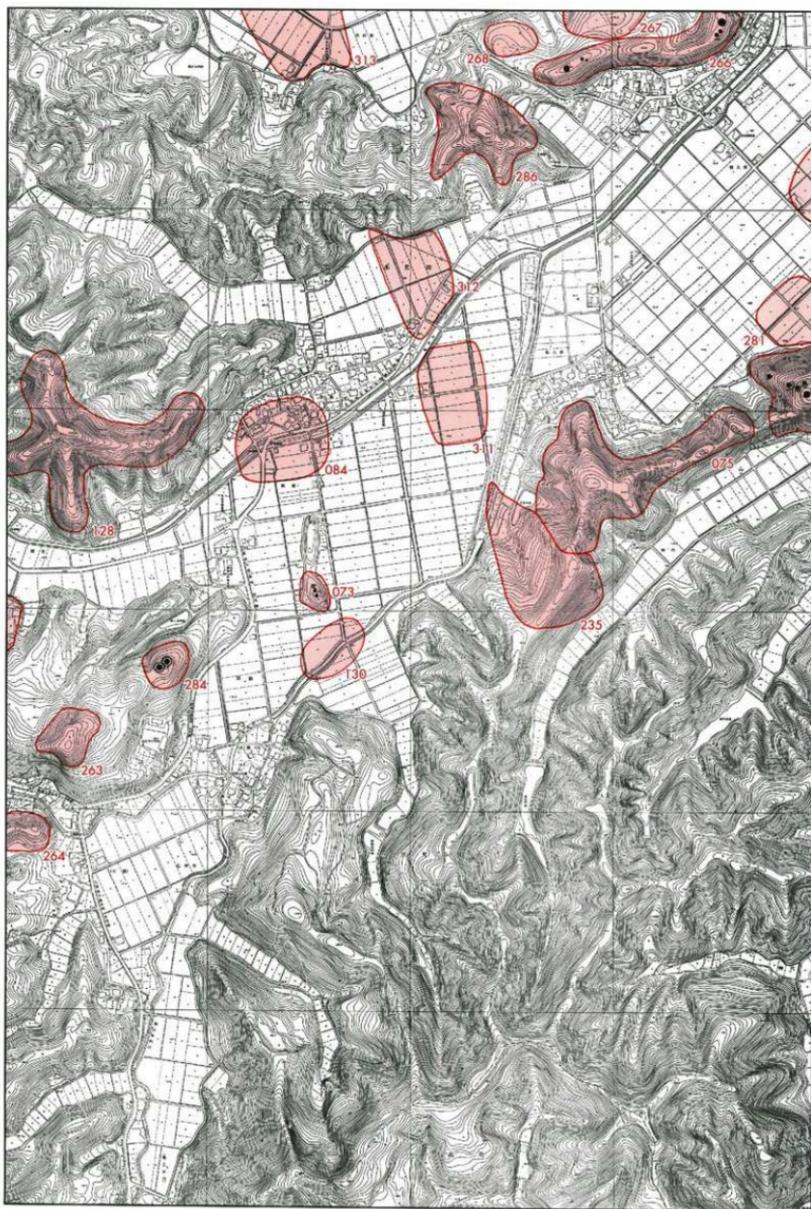




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

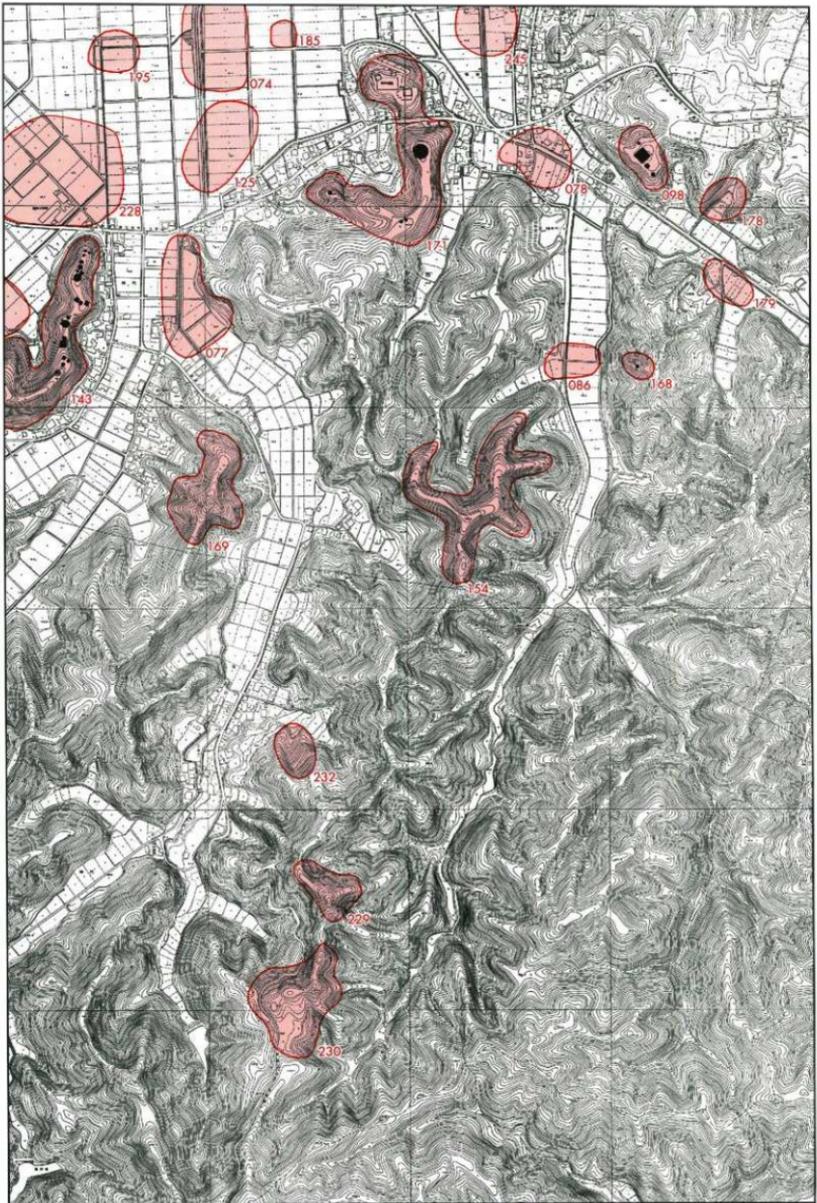
25

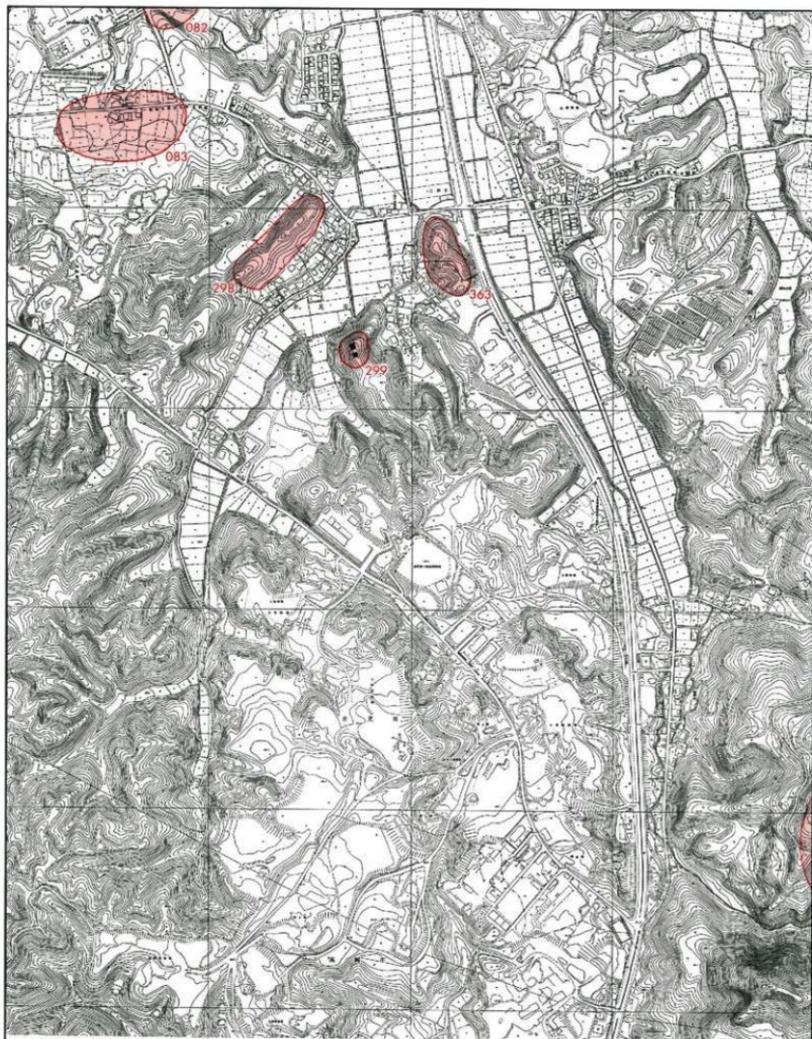




1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

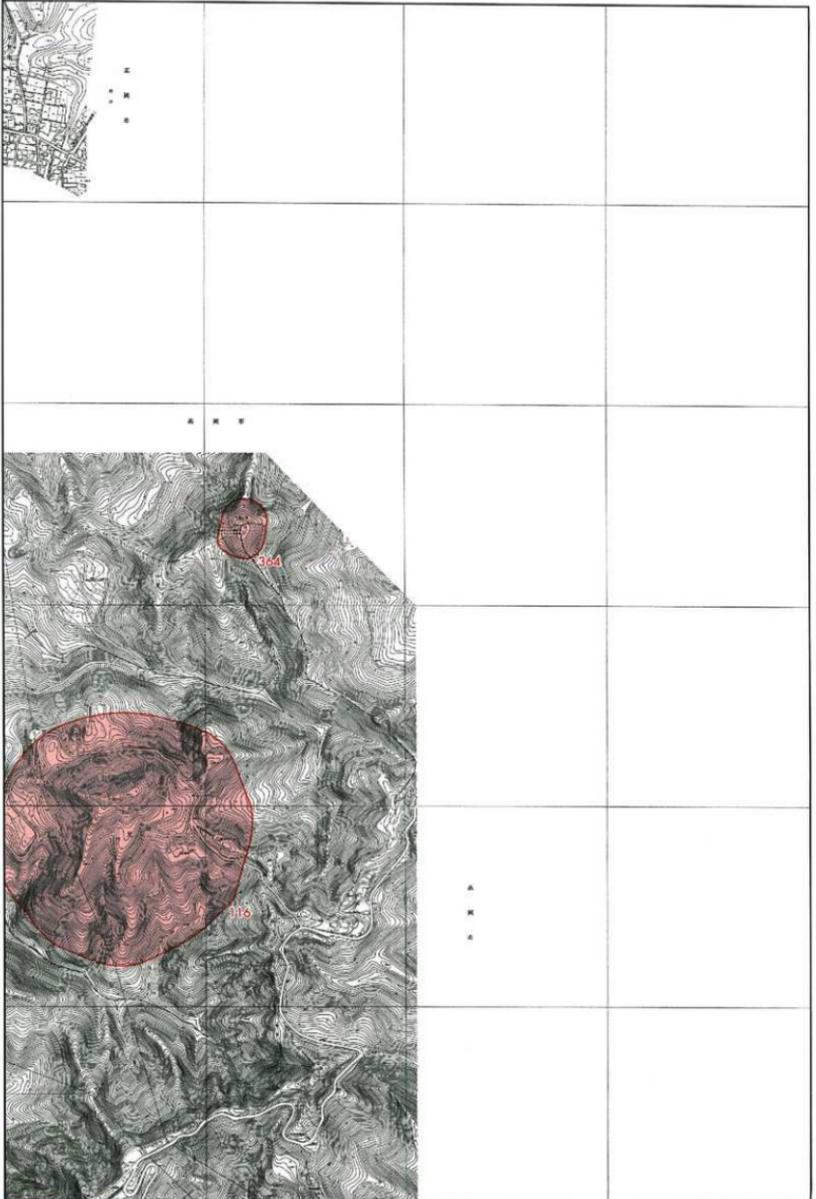
26





1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

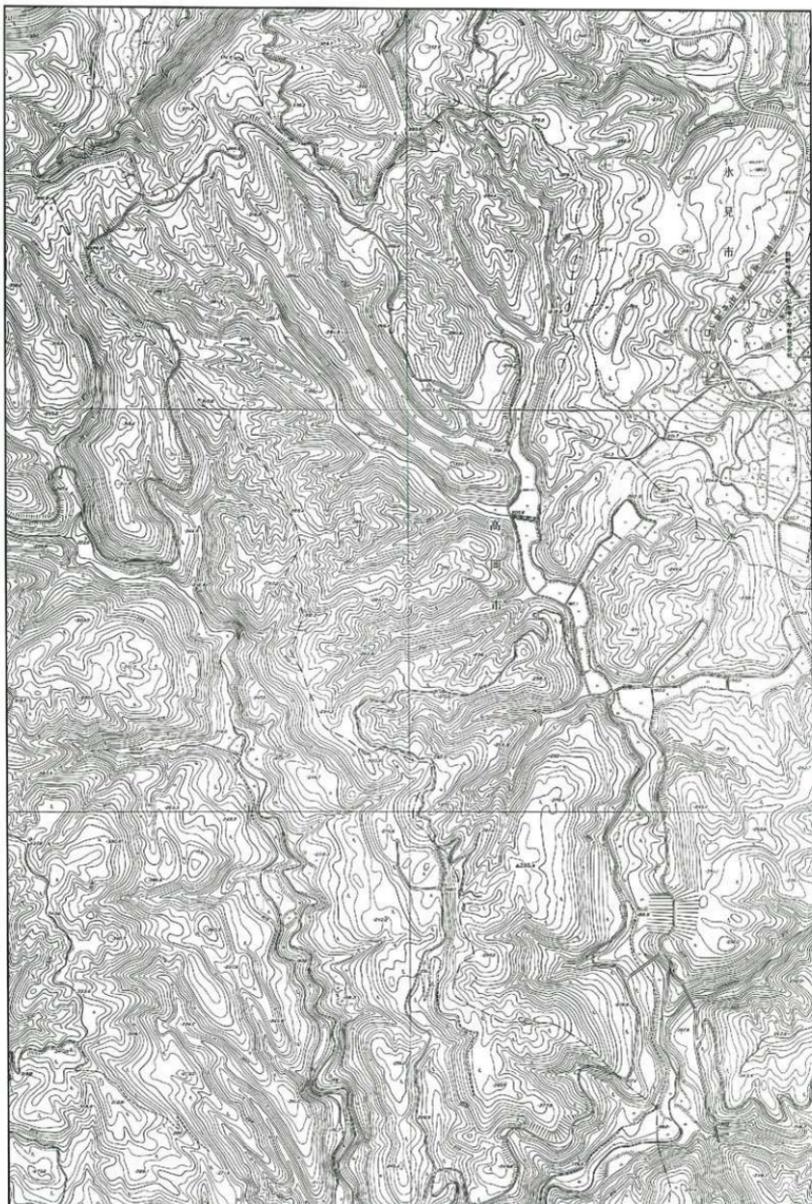
27

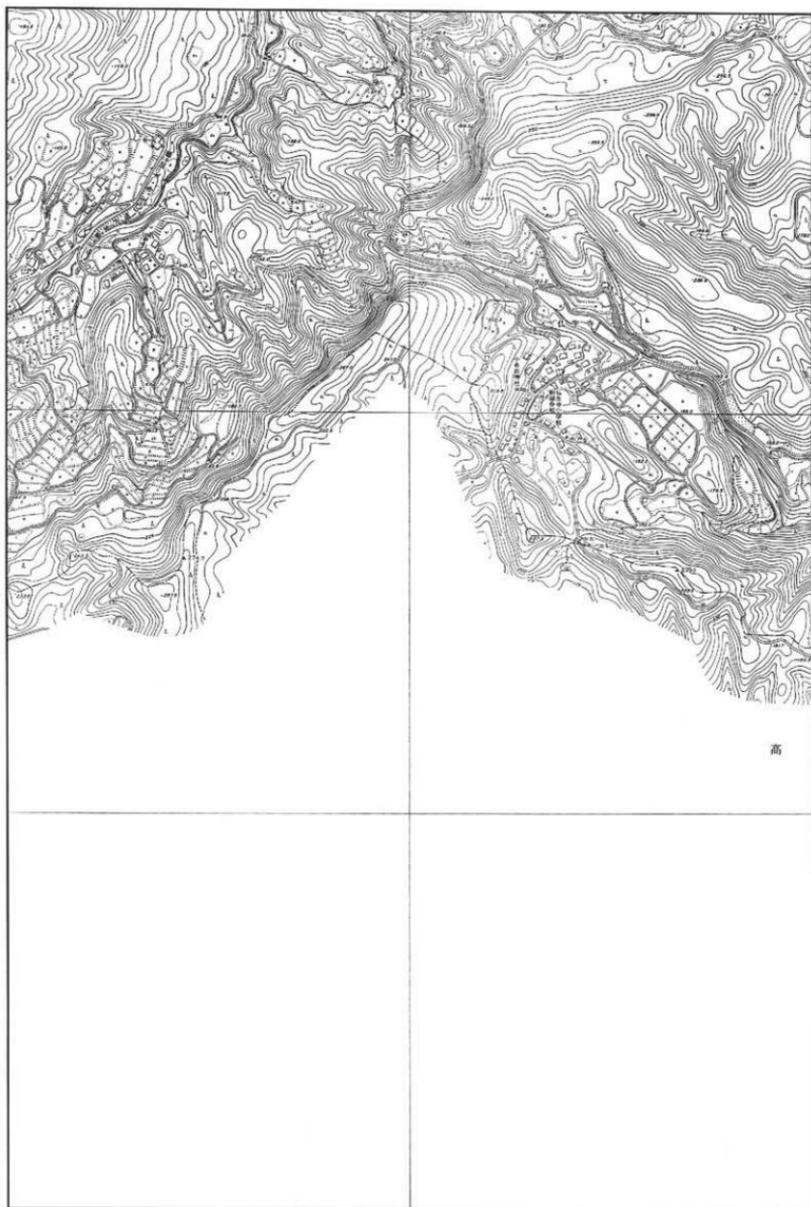




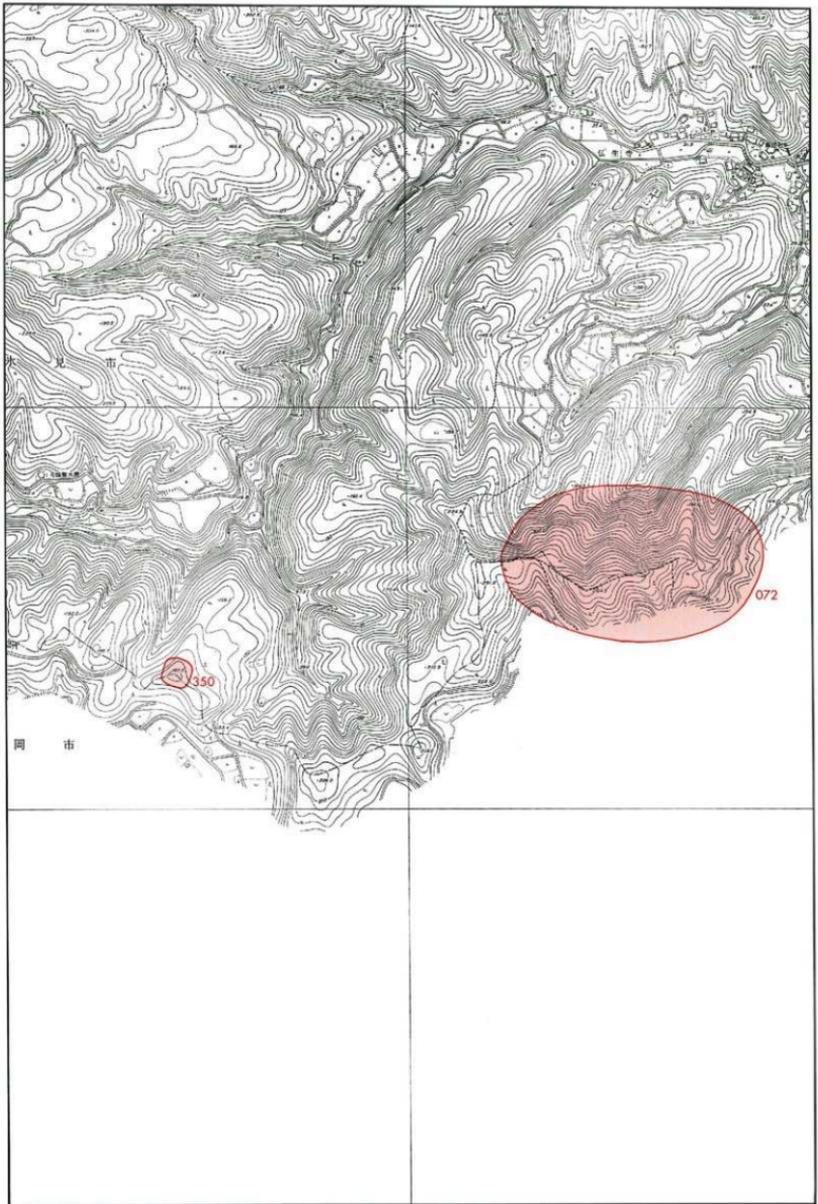
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

28





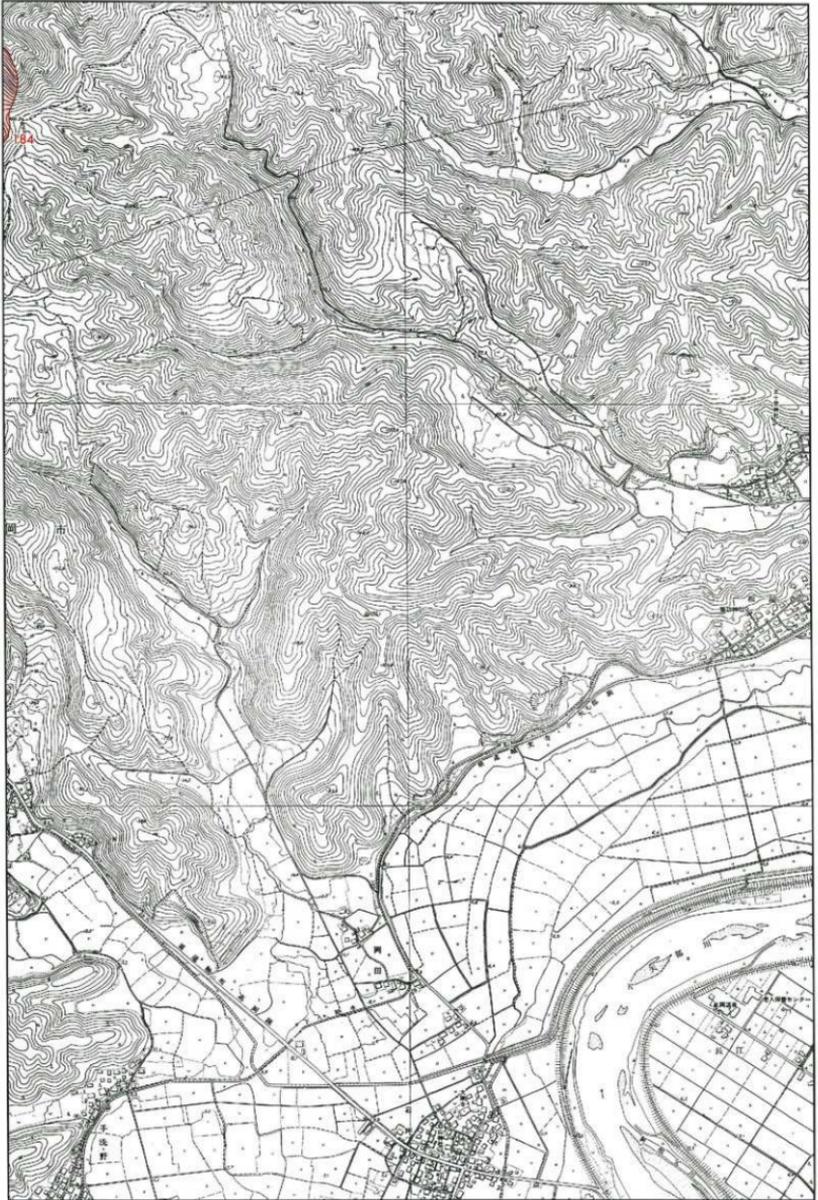
1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	





1	2	3	4
5	6	7	8
9	10	11	12
13	14	15	
16	17	18	19
20	21	22	23
24	25	26	27
28	29	30	

30



氷見市遺跡一覧表

※改訂箇所はゴシック体で表記した。

遺跡番号	地区番号	遺跡名	ふりがな	略号	所在地	種別	時代	主な出土・調査遺物	備考	主要文献
001	4	中波貝塚 (女貝貝塚)	なかなみかづつか (めらいかいづつか)		中波	貝塚	縄文中期	縄文土器・石斧	ほぼ消滅	35-55-58-212-301
002	7	一夜城跡	いちやじょう		中国	敷布地 城跡	弥生・縄国	滑石製鏡	上行勢の一夜の陣跡伝承地。時期不明の滑石製鏡が採集された。弥生土器が散布するところが詳細不明	50-96-203-212-283-288-298-306
003	8	虹が島遺跡	あぶがしま		安宇浜	敷布地	縄文前期・古代 ～近世	縄文土器・石斧・土 器部・珠洲院・石臼 用材	近年には高岡城下町の遺出地となる。虹が島は指定名称・伝承伝承地。	58-139-153-212-249-289-304
004	8	九段所遺跡	くでやんま		安宇九段	敷布地	縄文～中世	須恵器・土器部・製 埴土	ほぼ消滅。7世紀初めから8世紀初め頃の製埴遺跡。	55-58-70-81-92-122-155-212-288
005	8	大塚宮遺跡 (大塚宮遺跡北 山)	おおづかみやう つ		大塚字駒石	削削	縄文中期～中世	縄文土器・弥生土 器部・須恵器・土 器部・甲冑部・人 骨・板金・石神・石 角部	富田宮史(大11.28)。大正7年発見。同年発掘調査実施。この調査は日本初の滑石製鏡の発掘調査として知られる。発掘調査では縄文中期から中世までの5層の文化層を確認。	2-11-15-17-23-24-26-30-35-36-40-45-54-55-58-59-65-67-89-92-99-107-110-134-148-153-161-197-202-212-217-262-288-300-309-320-352-363
006	12	福方遺跡	わきがた		福方字法が端	横穴 中世墓	飛鳥白鳳・中世	直刀・須恵器・石 斧・切子・人骨	8基を横断。8号墓から飛鳥白鳳時代の人骨出土。中世の人骨6体が出土。	34-44-49-54-55-58-92-126-212-271-288
007	12	宇波津中塚	うなみこうしんづか		宇波	塚	不明		ほぼ消滅。高塚などが出土し、石遺物があったというが詳細不明。	96-104-212
008	12	宇波古墳群 ・宇波神社境内	うなみ・うなみじ んじや		宇波字宇波 宇波神社境内	古墳 敷布地	古墳後(1号墳 は世紀後手)・ 中世	人骨・弥生土・直 刀部(製鏡・埴土) 石遺物	石室をもつ古墳1号墳かと2号墳(円墳)。1号墳はほぼ消滅。石室付墳社境内にあり。石遺物が採集される。	1-49-54-55-58-92-96-126-153-206-212-225-307
009	12	泊瀬遺跡	とまりどうくつ		小杉	削削	縄文早～前期	人骨・土器片	藤石に張り付いた人頭骨骨が出土。	84-105-120-212-303-339
010	7	長友館遺跡	ながともかきふね	NK	長友字前田	築港	縄文中・後期	縄文土器・石斧・石 斧	部現状保存	58-89-153-212
011	2・6	荒山城跡(山 形城跡)・石 山城跡(山 形城跡)	あらかやまじょう まがたやまじょう うししほやまじ ょう(しばやうじ ょう)		小嶋字荒山町 ・石川町小島登町	城跡	戦国		旧跡荒山町跡。荒山城跡は中絶び野指定遺跡。	50-86-96-97-167-171-203-212-283-288-309
012	6	尾瀬城跡 (尾瀬城跡)	おびせじょう		内川	伝承地	中世		「オパンジョ」とよばれる城跡伝承地。堀切状遺構を確認。	50-96-212
013	7	白河城跡	しらがわじょう		白河字出崎出	城跡	南北朝・戦国		「御田文書」にみえる城跡。	90-54-58-96-203-212-283-288
014	11	磯辺岡遺跡	いそべのみやえん		磯辺北山	敷布地	縄文	縄文土器・石器	55-212	
015	11	一瀬岡遺跡	ひとせのみやえん	HHM	一瀬字前田	築港	縄文中・後期	縄文土器・石斧・石 斧・鉄片	宮山跡西側における縄文後前期の横式遺構。	44-55-96-92-183-212
016	10	懸札上ノ前遺跡	かけふだかみの まえ		懸札字ノ前	敷布地	縄文中～後期	縄文土器	55-212	
017	10	懸札宮ガ谷内遺跡	かけふだみやが やち		懸札字宮ガ谷内	敷布地	縄文中～後期	縄文土器・石器	ほぼ消滅	55-212
018	14	高塚遺跡	たかつか		余川字片岡	伝承地	中世		城跡伝承地だが城郭関連遺構は確認できず。	50-72-212
019	11	高寺城跡 (湯山城跡)	たかでらじょう (ゆやまじょう)	MDJ	高寺字城山・古 湯	城跡	戦国	珠洲院・土器部・白 磁・瀬戸瓦・鉄釘	中心部分は市指定史跡(昭和18.30)。主郭に石垣を多用した大規模な大規模の山城。発掘調査で平塚、石敷き道路を確認。	50-54-58-73-92-86-147-199-203-212-274-280-283-289-305-309-325-327-345-346
020	15	海老瀬城跡 (百夜城跡)	えびせじょう (ひよこじょう)		余川字出地・森 寺字海老瀬	城跡	戦国		縄文期城郭の残存をもつ	50-54-72-144-203-212-283-288-314-344
021	15	指輪山古墳群	ささきまわいかい やま		指輪字向山	古墳	古墳	直刀・菅玉・須恵器 部(13号墳出土遺 物)	前方後円墳・円墳・方墳。S81。群中の墓(13号)の発掘調査で木棺・腰環を確認。13号墳は消滅。	32-40-51-35-92-126-204-212-225
022	15	阿尾尾野ヶ谷内 横穴群	あおせとがやち		阿尾字野口ヶ谷 内	横穴	飛鳥白鳳	人骨2体	8基を横断。消滅。	55-58-125-131-212-271
023	15	阿尾遺跡	あお		阿尾	敷布地	弥生・古墳	須恵土器・須恵器	ほぼ消滅。	20-55-58-190-212
024	15	阿尾城山跡 (a-b)	あおじょうやま		阿尾城山	横穴	飛鳥白鳳	須恵器(須恵・埴土) ・金環・刀子	阿尾城の北側に1基。南側には基を確認。南側にはさらに築城存在か。	31-54-55-58-92-212-271-288
025	15	阿尾城跡	あおじょう	AOJ	阿尾字島尾・城 山	城跡 中世墓 敷布地	弥生後・中世～ 近世初期	弥生土器・滑石部 土器部・瀬戸瓦 等	縄文遺跡(昭和11.1)。戦国末から近世初期にかけて菊池氏が居城。城跡西側の中世墓より出土した珠洲院(横田文書)は石川康隆定考古史料。	20-22-29-40-50-54-58-78-86-92-96-151-153-164-190-191-203-212-283-288-305-309-318-319-325
026	15	阿尾島尾山跡	あおしまおやまと りで		阿尾字島尾	城跡	中世		目録二角山城跡。一部破壊。	30-131-170-203-212-283
027	15	一ノ瀬遺跡	いちのせ	IT	一ノ瀬字市場	敷布地	縄文中～後期	縄文土器・石斧	ほぼ消滅	41-55-92-212

遺跡番号	地開番号	遺跡名	ふりがな	略号	所在地	類別	時代	主な出土・採集遺物	備考	主要文献
056	18-19	朝日川原	あさひかわが	ASK	朝日丘	貝塚	縄文前期～晩期・弥生～中世	縄文土器・弥生土器・土師器・埴輪・石斧・石鏃・石剣・土鏡・骨角器・人骨・灰骨	四指定史跡(大13.38)。大正3年発見。大正13年の発掘調査で四角形銅と土器をもつ住居跡を掘出し、破玉製大珠(四指定考古資料)出土。縄文時代前期から中世にわたる連続発掘。	13-14-16-18-21-24-25-28-33-36-37-40-45-54-55-56-60-85-90-100-101-103-110-153-165-166-169-172-177-181-207-212-240-245-262-268-286-301-320-355-356
057	19	石上遺跡	いわた	IN	伊勢大町・本町	散布地	縄文前期～後期・弥生～古代	縄文土器・土師器・埴輪・石斧・石剣		27-83-92-165-169-177-212-245
058	19	伊勢玉神社中世遺跡	いせたまじんじゃ		伊勢町	散布地・中世墓	縄文・古代・中世・近世	縄文土器・石器・埴輪・土師器・土鏡・銅・近世陶磁器・石造物	土師器を伴う上坑内から火葬炉と土師器を伴った縄文器(成瀬焼)出土。	92-212-288
059	15	鶴塚二趾野遺跡	いづなみつやの		栄町	散布地	古代・中世	須恵器・土師器・珠洲焼	ほぼ消滅	62-74-212
060	23	藤田遺跡	やなだ		藤田	集落	縄文・弥生後期～古墳	弥生土器・土師器・須恵器・埴輪		47-55-60-92-160-212-268-286-315
061	23	彦根屋	くばきょうづか		彦	経塚	近世	一文字石経	通称「木松しん一字石経が所したという消滅。	86-212-226-322
062	18	五箇八遺跡	あたらちえー		十二町竜崎	伝承地	中世		城郭伝承地。五箇五箇に平山があるが明確な城郭関連遺物は確認できず。	212
063	22	万尾遺跡	もお	MON	万尾字「狭田」	散布地	弥生後期～近世	土師器・須恵器・珠洲焼・近世陶器		156-168-212-268
064	18-22	祝津新穴	きかつ		十二町祝津字新が谷内	穴	飛鳥白鳳	須恵器・土師器・赤土・金環・金指輪	36基を断続、3段に分布。	1-34-40-54-55-212-271
065	22	久津川城跡	くすろじょう		ト久津川字城	城跡	戦国			30-132-154-202-212-283-298-288
066	22	土久津田遺跡	かみくづらみー		ト久津川字田	散布地	古代	須恵器・土師器		61-156-212-268-286
067	21	神根経塚	ほこきょうづか		神根	経塚	不明		神明寺背後に「経塚」とよばれる塚あり。詳細不明。	212-226
068	20	糸ノ院宮遺跡	くわのいんよしたに		糸院字吉母	散布地	縄文中期	縄文土器・石器		55-71-130-212
069	20	久日経塚	くめきょうづか		久日	経塚	高世	多文字石経	難取古墳群(335)と重複が、多文字石経が出土。	130-212-226-266
070	15	稲積西ヶ谷内遺跡	いづなにししがや		稲積西ヶ谷内	散布地	奈良・平安・中世	須恵器・土師器・珠洲焼		74-114-127-129-153-212
071	22	土久津田古墳	かみくづらこんだやま		土久津田古墳	古墳地	縄文・古墳	石斧・土師器		212
072	29	ツ城跡	ふたつじょう		仏生寺字藤ノ谷内・高岡市山田川	城跡	戦国		城跡の南に寺の「坊山」に大谷寺の遺構あり。	30-212-283
073	26	惣領古墳群	そうりょう		惣領字紅地平	古墳	古墳後期	石月刀子・鉄鍬・弓矢・ガラス小刀・須恵器(高坪・長坂)	円墳2基あり。1基は土師器製3段築成。2基は石室・石室を併設。	40-54-55-126-212-225-328
074	22-26	神代羽遺跡	こうじろはれ	KZRII	神代字羽	散布地	縄文～近世	土器・弥生土器・土師器・須恵器・珠洲焼		55-163-212-288
075	26	飯久保城跡	いひくほじょう		飯久保字向山・神代字正保寺	城跡	戦国	土師器・埴輪・灰骨	併形虎門を備える。城下集落も存在。	50-54-62-132-203-212-224-266-283-286-305-308-310-336-338
076	22	布敷八ヶ田遺跡	ふせはつたが		布敷八ヶ田	散布地	縄文後期・古代	縄文土器・須恵器		156-212
077	26	矢ノ方「丁」遺跡	やのほういっちようめ	YNI	矢ノ方「丁」	散布地	弥生末～古墳	弥生土器・土師器	日刺矢ノ方丁遺跡跡。	35-92-168-212-268
078	26	飯田大久富遺跡	いわただいくみえ	IOD	飯田字大久富	散布地	古墳～中世	須恵器・土師器・珠洲焼		81-92-117-127-156-212-288
079	22	兵衛山遺跡	うまのりやま		飯田山ノ越	散布地	弥生末～古墳初	弥生土器・土師器	兵衛山遺跡・円筒埴輪の産地。その上に石積みによる塚あり。	55-117-160-212
080	22	大津遺跡	おおうら		大津	散布地	弥生	土師器・土師器		160-212
081	23	四十八坂遺跡	しじゅうはつか	SJ	下田子字四十塚	集落	縄文中～晩期・古墳・古代	縄文土器・土師器・石器・須恵器・須恵器・土師器	消滅	44-55-60-64-117-160-172-212-245-268-332
082	23-27	多胡城跡	たごじょう		下田子字四十塚	城跡	中世		多胡城「比定地だが詳細不明。消滅。	117-132-212-332
083	27	田子遺跡	たご		下田子字瓦見	散布地	縄文中～晩期・古代	縄文土器・土師器・土師器・埴輪		55-117-160-212-332
084	26	惣領遺跡	そうりょう		惣領	散布地	古墳中附・古代・中世	須恵器・土師器・珠洲焼・埴輪		92-127-186-212
085	19	朝日十字路遺跡	あさひじゅうじろ		朝日丘	塚跡	中世	宋・明磁器等6,095枚・珠洲焼	珠洲焼密に入った土器が出土。15世紀と推定。	212-248-288
086	26	藤田ワタリウエ遺跡	ほりたわたりうえ	HOX	藤田ワタリウエ	散布地	古墳～中世	須恵器・土師器・珠洲焼・埴輪	旧朝庭園西内蔵遺跡	117-133-212
087	23	丁島遺跡	かみいずみ		丁島	散布地	古墳～中世	須恵器・珠洲焼		212
088	15	阿尾岡田人遺跡	あおしまだえー	AOSD-A	阿尾岡田	集落	縄文晩期・古墳・古代・中世	須恵器・土師器・土師器・埴輪	空襲調査で古代の柱状土器等を確認。	92-131-135-170-212
089	15	山崎城跡	やまざきじょう	YAMZ	阿尾・蔵田	城跡	南北朝・戦国	珠洲焼・土師器・銅中継子・金銅製品	ほぼ消滅	92-131-137-153-203-212-283
090	14	中村集落古墳群	なかつらあわや		中村字集居	古墳	古墳中期		円筒埴輪	125-174-212-213-226

登録番号	地回番号	遺跡名	ふりがな	略号	所在地	種類	時代	主な出土・探査遺物	備考	主要文献
091	14-17	谷所B遺跡	たにやびー		谷原	祭祀	古墳前期	子持勾玉・漆	谷原浦田古墳群(347)に関連した古墳群跡か。	65-92-174-212
092	18	沖布谷遺跡	おきぬのびー		鞍川沖布	散布遺	古代	須恵器・土師器		212
093	15	稲穂後池遺跡	いなづみうしろいけ	IN10	稲穂字西谷内	散布遺	縄文前期～古代・中世	縄文土器・須恵器・土師器・珠洲焼		129-153-212-266
094	17	小室奥寺跡	おくほいはいじ		小室字塔のスマ	寺院	古代	平瓦・丸瓦・須恵器・等心礎石	塔を築いた古代寺院。現在小久米神社にある等心礎石は中世の古瓦葺。小室瓦葺跡(044)から瓦を併用。7世紀末～8世紀の創建か。	43-54-02-112-113-176-210-212-242-266-288-295-339
095	6	八代仙行場跡	はつたいせんぎょうばあと		内開字八代仙	祭祀	中世～近代	石碑	石動山修験者の行場。明治以降は石動山宗院以外の修行者の行場となり、現在入場者が激減。	92-96-97-125-212
096	19	北美洞遺跡	ひみはま		北美町	散布地	古代・中世	二次的築造地か。		212
097	18	飯川寺田遺跡	くらかわてらだ		飯川寺田	散布地	縄文後期	縄文土器	溝	55-212
098	26	黒田ナミイダ松古墳	ほりたななみいだまつ		黒田字藤原	古墳	古墳後期		川崎2基・方塔2基。方塔2基は中世の土塔と築造遺構の可能性も残る。	117-126-212-225-288
099	15	稲穂前田遺跡	いなづみまえだ		稲穂字前田	散布遺	弥生・古代・中世	弥生土器・須恵器・土師器		74-212
100	18	飯津遺跡	まがづ		十二町飯津	不明	古代・中世	土師器・中世陶器	詳細不明	212
101	14	七分一遺跡	しちぶいち		七分一	散布地	弥生後～中・古墳後	須恵器・土師器		212
102	15	余川親ヶ谷内遺跡	よかわおやがやち	YK0Y	余川字親ヶ谷内	散布地	古代	須恵器・土師器		73-129-153-212-266
103	14	余川海老田遺跡	よかわえびだ	YOEB	余川字松本	散布地	古代	須恵器・土師器		73-92-127-129-153-212
104	14	余川古寺谷内遺跡	よかわこじのやち		余川字田島	散布地	中世	珠洲焼・宝鏡・金銅仏・石造物	「田地無寺跡」との伝承有り。	72-212-314
105	15	稲穂五反田遺跡	いささごこんだ		稲穂字五反田	散布地	古代	須恵器・土師器		212
106	18	寛福石遺跡	あらかびー		上ノ寛福	散布地	縄文・中世	石斧・瓦葺		160-212
107	18	諏訪野入遺跡	すわのえー		諏訪野	散布地	古代	須恵器・土師器		62-212
108	18	諏訪野百遺跡	すわのびー	SWNB	諏訪野	散布地	古代・中世	土師器・須恵器・珠洲焼		62-165-212
109-15-18		加瀬金斧遺跡	かのうかねのみや		栄町	散布地	古代・中世	須恵器・珠洲焼・青銅		165-212
110	15	阿尾島田B遺跡	あおしまだびー		阿尾字島田	散布地	縄文・古代・中世	石斧・須恵器・珠洲焼		153-212
111	12	新舞神社遺跡	たてはこじんじや		白川	散布地	縄文後期	縄文土器・石斧・石鏡	境内には中世遺物が密集されている。	96-212
112	12	新舞神社古墳群・豊石墓	くまのしんじや		宇波西田	古墳・中世古墳	古墳・中世	方塔1基・方塔(隅丸方塔)1基・埴山瓦葺		126-204-212-225-307
113	22	上久津川B遺跡	かみくろがびー		上久津川	散布地	縄文～古代	縄文土器・弥生土器・土師器・須恵器		168-212
114	15	龜田遺跡	かぶた		龜田町の越	散布地	縄文～近世	縄文土器・須恵器・土師器・製塩土器		92-163-212-215
115-18-19		上二町湯掛水根池遺跡	じゅうにちゅうがたはいすいじょう		深	散布地	縄文前期～晩期・古代	縄文土器・石鏡・石斧・土師器・自然遺物		87-90-92-118-153-160-189-212
116	27	小竹遺跡	おたけ	OTVJ	小竹	城館跡 土師器 経納殿	古代・中世・近世	宋・宍籠等300枚・須恵器・珠洲焼・土師器・心定帯	遺跡内に豊前山城跡(小竹川長堤、寺院遺構(国書寺遺跡)、鎌石籠壁、埋納跡)出土を含む。	35-142-143-158-173-203-212-283-289-332
117	11	磯田神社中世墓	いそべじんじや		磯田	中世墓	中世	珠洲焼	墓室等みられる珠洲焼出土。	92-212
118	14	余山川河原遺跡(A～C地点)	よかわがわかしょう		余川片敷、一つ原・古川原	散布地	縄文・古墳・古代・中世	縄文土器・須恵器・土師器・珠洲焼	余川川の川底3地点より遺物が出土。 A地点:古墳時代須恵器片等 B地点:古墳前期須恵器 C地点:縄文土器	72-92-129-212
119	14	余川市谷遺跡	よかわいちや		余川市谷	散布地	古代・中世	須恵器・珠洲焼・青銅		129-183-212
120	18	中尾ガメ山遺跡	なかおめやま		中尾字茅ヶ	埴輪坑	中世(14世紀初)	唐・宋銭等150枚	長径60cmの土がりの中に唐銭を収めた。30枚を1単位として結成。	92-93-212-248-268-288
121	17	新舞城山古墳群・新舞城跡	しんばじょうやま・しんばじょう		新舞城ヶ峯	古墳城跡	古墳期・戦国		方塔1基・土師器遺構が密集してやせ観上りに立地。	92-174-203-212-213-225-283
122	15	八代城跡(a)・八代宮跡(b)	やしろじょうやしろにじょう		北八代城ヶ峯	城跡	南北朝		谷を挟んで立地し、一体的に構築した城郭群か。	50-96-203-212-283
123	11	余川谷村遺跡	よかわたにむら	YKTM	余川谷村	散布地	古代・中世	須恵器・土師器・珠洲焼		129-212
124	4	風中興遺跡	わか		藤原久藤彦名神社境内	中興墓	中世	珠洲焼・土師器		92-212
125	26	石崎遺跡	いっさき(いっさき)		福田ノ坪	散布地	古代・中世	須恵器・土師器・珠洲焼		77-156-212
126	7	長坂ソウト遺跡	ながさかそウト		長坂字山田ソウト	中世墓	中世	珠洲焼・土師器・人骨・宋銭3枚・五輪塔	調査した墓室敷面に土師器人骨埋骨。墓の周囲に塚状版石があったという。	92-96-153-212
127	25	御林山城跡(新音山城跡)	おはいやまじょう(くらねわやまじょう)		新音・香院	城跡	戦国		飯久保城の山城。	50-92-150-152-154-203-212-283-336
128	23-26	豊原遺跡	そりょうとうり		豊原	城跡	戦国		飯久保城の山城。	50-152-203-212-283

遺跡番号	地図番号	遺跡名	ふりがな	略号	所在地	種別	時代	主な出土・採集遺物	備考	主要文献
129	25	仏生寺城跡 (仏生寺城山)	ぶっしょうじじょう (ぶっしょうじじょうやま)		仏生寺上中	伝承地	中世		城跡伝承地だが城郭遺構は確認できず。	50-212
130	26	磐原日造跡	いわはらひつじょう		磐原	散布地	古墳～古代	銅器類・土師器		212
131	17	新保保穴跡	しんぼほけあな		新保字後山	横穴	飛鳥白鳳			19-174-212-213-271-311
132	15	沼崎野道跡	ぬまざきのみち		沼崎字野道	散布地	中世	土師器		92-212
133	18-19	彦倉中豆墓群	へんくらなまめ		朝日町(彦倉塚)	中豆墓	中世	珠洲焼・石造物	鎌倉中期後の丘陵跡より珠洲焼出土。境内に石造物がある。	93-212
134	18	朝日岡山古墳群	あさひのたかやま		朝日丘(朝山)	古墳	古墳(前期ないし中期以降)	須恵器類	前方後方墳1基。前方後円墳1基・方墳1基	135-149-188-212-225-268
135	12	脇方十三塚古墳群・築石墓	わきかたじゅうさんづか		脇方・小境	古墳 中世墓	古墳中～後期・中世	土師器	円墳4基・築石墓1基	125-204-212-225-245
136	12	半波洞窟遺跡	うなみどくつ		宇波・石山	洞窟	不明	土師片	「一石山の風穴」とよばれ、施設状況が不明。	3-23-86-212-303
137	11	織田中墓群	いとべ		織田	中世墓	中世	珠洲焼	墓群とみられる珠洲焼出土。	92-212
138	18	龍川A中世墓	くらかわえー		龍川	中世墓	中世	珠洲焼		212
139	18	龍川B中世墓	くらかわえー		龍川	中世墓	中世	珠洲焼		212
140	18	朝日谷内横穴	あさひやち		朝日町	横穴	飛鳥白鳳		1基を確認。	83-212-271
141	14-17	谷辺石造跡	たにやしろ		谷屋	敷布地	古代	須恵器		212
142	18	竹原山の岩屋敷	ちくげんさんのいわやど		京字中尾山	祭祀	中世～近世	石造小物明土俵	市野定史跡(190.31)。内部に鹿野神社・高杉遺構有り。	53-54-212-266-296
143	26	光西寺山古墳群	こうさいじやま		神代・飯久保	A墳	古墳群～後期		4基群。前方後円墳(飯久保古墳)1基・円墳1基・方墳1基。	117-126-212-225
144	15	新田原遺跡 (飯石原横穴群・中世墓)	あぶたやちくし	YHY	飯石字義田	横穴 中世墓	飛鳥白鳳・中世	須恵器・鉄片・土師器・土骨・石造物・古銭・古洋	7世紀中頃～8世紀前半頃の横穴群2基と横穴墓を軸とした中世の中世前期。	103-104-153-178-201-202-212-271-297-352
145	19	新保町遺跡	ごごま		伊勢大町	不明	中世	珠洲焼・土師器	詳細不明	212
146	21	久日安地遺跡	くめかち	GO	久日安地	散布地	古代	須恵器		130-212
147	17	久日元道跡	くめもと		久日元	散布地	古墳	土師器		130-212
148	20	飯坂広瀨遺跡	いれざきひろせ	HRH	飯坂	敷布地	古墳・古銭・古代	縄文土器・石器・土師器・須恵器・珠洲焼	遺構土器7種「出土」。	71-130-153-172-212-245
149	21	空笠山古墳	とくごうさん		飯坂	古墳か	古墳か		方墳1基。経塚の伝承有り。	71-126-130-212-213-225
150	15	加納野山古墳群	かのうえびすやま		加納野山	古墳	古墳群～後期		4基群。戦国貝形古墳1基・前方後円墳2基・前方後方墳1基・円墳4基・方墳8基。中には山城として利用か。	94-126-212-213-225
151	22-23	園カランダ跡	そのかんでよう		園カランダ	窯	古墳前期	須恵器・須恵器・鉄片	低土器古の須恵器群。6世紀前半の様式。	116-138-153-160-163-212-208-288-366
152	23	須長堤遺跡	そのながつづみ		園	築堤	不明	鉄片	古代に遡る築堤遺跡か。	212-219
153	23	藤田沖宮遺跡	やないだのみみや		藤田沖宮	築堤	不明	瓦片・須恵器・鉄片	古代に遡る築堤遺跡か。	212-19-268
154	26	原田城跡	はらたじょう		原田	城跡	戦国	縄文		115-117-122-303-212-283
155	21	養院金山遺跡	かわのいんみやま		養院	築堤	不明	鉄片	遺跡に鉄片を採集。詳細不明。	130-212-311
156	14	緑谷樋木水造遺跡	かきやしいのきで		樋谷	築堤	不明	鉄片	遺跡に鉄片を採集。詳細不明。	53-212-311
157	21	久日安寺遺跡	くめあんらじ	KUMA	久日安寺	散布地	古代	須恵器		130-153-212
158	22	上津白土遺跡	かみづしろ		上津川	散布地	中世	珠洲焼		212
159	24	上倉榎村遺跡	つちくらいむら		赤毛(上倉)	敷布地	縄文	石器		130-153-212-245
160	12	沼島遺跡	とまりはとう		沼	屋	不明		時期不明の施設。	212
161	12	宇波高瀬遺跡	うなみたかそう		宇波	築堤	近世	瓦片	近世の築堤遺跡か。	212
162	17	四江大倉遺跡	たえおほたけ		四江	敷布地	縄文	縄文土器		113-212
163	18	七軒町遺跡	しちけんまち		七軒	敷布地	縄文後期	縄文土器		212
164	17	通川神社古墳群	はやかわじんじや		新保・早稲	A墳	古墳		円墳4基・方墳4基。方墳は池原山遺跡(213)関連の跡か可能性有り。	126-212-213-225
165	17	竹倉ヤワタ古墳群	はやくしやわた		早稲	古墳	古墳群～後期		円形早稲古墳群。円墳3基・方墳8基	126-212-213-225
166	22	大浦跡遺跡	おおうらすわ		大浦	屋	不明		詳細不明の塚遺構有り。大浦原山古墳群(391)の十三層伝承と関連か。	212-364
167	21	久日トリノマエ遺跡	くめとりのみえ		久日	散布地	古代・中世	須恵器・珠洲焼		130-212
168	26	藤田山山道跡 (藤田山山道)	はらたたちのやま		藤田	古墳か	古墳か		周溝を有する直径7mの塚。古墳(円墳)もしくは中世の塚か。	117-212-225
169	26	神代城跡	こうじじょう		神代ノ山	城跡	戦国	土師器		117-132-200-212-283
170	21	久日浮島遺跡	くめうじま		久日	敷布地	中世	珠洲焼		130-212
171	26	藤田三ヶ塚山古墳群	はらたにきつみやま		藤田	古墳	伝承未～古墳群・古墳後期		3基群。円墳4基・方墳2基。八支群の方墳2基は消滅。	117-126-212-225
172	17	イヨドノヤマ古墳群	いよだのやま	ITYD	上山・新保	古墳	A墳中期	須甲・鉄片・鉄器・須恵器(杯・環・鏢)・土師器(3号墳出土遺物)	旧保新保村山古墳群。円墳4基・方墳6基・段ノ墓2基。3号墳は築山跡とみられる。須甲・鉄片・鉄器・須恵器(杯・環・鏢)等を確認。3号墳は調査後消滅。方墳・段ノ墓は消滅(213)に遡るとする中世の築山跡の可能性有り。	126-163-179-212-213-216-225-295-297-351

登録番号	地図番号	遺跡名	ふりがな	略号	所在地	種別	時代	主要出土・採集遺物	備考	主要文献
173	17	小久米日古墳群	おくめびー		小久米	古墳	古墳中～後期		円墳8基	95-126-212-213-225
174	17	田行古墳群	たえ		田江	古墳 埴輪	古墳・中世		円墳4基。戦国内に城郭遺構遺跡(空堀)有り。	95-126-212-213-225
175	17	日名田古墳群	ひなた		日名田	古墳	古墳期		前方後円墳1基、円墳1基	95-126-187-188-212-213-225-296
176	20	櫻懸城ヶ峯遺跡 (一の黒成跡・岩瀬遺跡・櫻懸城跡・城ヶ峯遺跡)	たながけししょうがみねじょう(いちのしまじょう・いわがせじょう・うたがけじょう・うたがけみねじょう)		新藤・石川原金道志本町町。所司屋	城跡	南北朝・戦国		城跡遺構に塚2基が所定。宗義関連の遺構か。	50-130-132-203-212-283
177	14	中村磯穴群	なかむら		中村	磯穴	飛鳥白鳳		3基の開口を確認。	174-212-213-271-304-311
178	26	黒田東谷内遺跡	ほりたひがしやち		黒田	不明			詳細不明	212
179	26	黒田ガス山遺跡	ほりたがすやま		黒田	不明			詳細不明	212
180	20-21	久比野谷古墳群	くひのたに		久比	古墳	弥生末・古墳前期		円墳12基・長円墳1基・方墳1基	126-130-212-213-225
181	15	阿尾島尾A遺跡	あおしまおー	AOSO-A	阿尾字島尾	集落	縄文・古墳・古代	縄文土器・石器・須恵器・土師器・土師器・土師器・土師器	古代は有力農民層の集落集落。中世は阿尾島の東下町の一角と推測される。	131-135-130-153-161-162-183-190-191-212-215-288
182	15	阿尾島尾B遺跡	あおしまおびー	AOSO-B	阿尾字島尾	散佈地	縄文・古代・中世	縄文土器・須恵器・土師器・土師器・土師器		131-212
183	15	阿尾島尾C谷内遺跡	あおせとがやち		阿尾	散佈地	縄文・弥生・古墳・古代	縄文土器・須恵器	二次的散佈地か。	131-135-212
184	30	神代テラヤシキ遺跡	こうじろてらやしき		神代	寺院	中世	珠洲焼	平屋向・築石高2基・磯穴有り。付帯は「テラヤシキ(イアンジ)」とよばれる。	153-157-212
185	26	黒田モリノ田塚	ほりたのもりのたかづ		黒田	塚	中世	珠洲焼	塚より珠洲焼出土。消滅。	212
186	21	高松城跡	たかまつじょう		高松・上田・早普	城跡	戦国			50-132-154-203-212-283
187	18	中尾山出遺跡	なかおやまだ		中尾字谷内	散佈地	古代	須恵器	築地遺構遺跡有り。	165-212
188	18	東A遺跡	いづみえー		泉	散佈地	縄文・古代	石器・須恵器・土師器		212
189	18	泉B遺跡	いづみびー		泉	散佈地	古墳・古代・中世	須恵器・珠洲焼		212
190	18	飯川諏訪社遺跡	くらかわすわしや		飯川	散佈地	中世・近世	珠洲焼・近世陶磁器		212
191	14	物谷大口遺跡	かきなかおぐち		物谷	散佈地	中世	珠洲焼		165-212
192	18	定綱ノミキ遺跡	あんだらそみぎ		上・町尾尾	中世集	中世	遺跡地遺跡・古銅器四耳甕・石造物	解れた木田の川から火葬骨が認められた庭3つが出土。	131-212-268
193	17	早瀬ヤサケ遺跡	はやせやしき		早瀬	散佈地	中世	土師器		212
194	18	酒納打遺跡	かのうきうち		酒納	散佈地	古代	土師器・須恵器		212
195	26	神代ハツタテ遺跡	こうじろはたて		神代字刺蓮	散佈地	中世	土師器		212
196	20	石瀬香榎遺跡	いわがせせんばたけ		石瀬字香榎	散佈地	縄文・弥生	石器	縄文時代の石製農具遺構か。	130-153-212
197	20	岩瀬谷内ノ南遺跡	いわがせやちのまへ		岩瀬	不明	縄文		かつて縄文土器が採集されたというが、詳細不明。平成20年度発掘の試掘調査でも遺構・遺物は確認できず。	130-212
198	20	老谷砦の上遺跡	おいだにたみのうえ		老谷	散佈地	縄文中期	縄文土器		130-212
199	20	老谷遺跡	おいだに		老谷	田畠地	中世		武家屋敷の伝承地。平屋向・土上状況遺構有り。	130-212
200	24	土倉ゴマジマナ遺跡	つちくらごまじまな		赤毛(上倉)	散佈地	縄文	石器		130-133-212-245-288
201	30	見内モリヤサ遺跡	みうちもりやさ		見内	不明	縄文		詳細不明	130-212
202	21	久比野谷遺跡	くひのたに		久比	散佈地	中世	珠洲焼		130-212
203	21	久比木津遺跡	くひのきはら		久比	散佈地	古代・中世	須恵器・珠洲焼		130-212
204	21	久比大坪遺跡	くひのおおひら	KJMO	久比	散佈地	近世	越中瀬戸		130-212
205	21	久比大町遺跡	くひのおおまち		久比	散佈地	古代・中世	須恵器・珠洲焼		130-212
206	21	久比ノクナナ遺跡	くひのくんな		久比	散佈地	古墳・古代	須恵器		130-212
207	21	久比奈の木遺跡	くひのきのき		久比	散佈地	古代・中世	須恵器・珠洲焼		130-212
208	21	久比ノ瀬谷内遺跡	くひのせやち		久比	散佈地	中世	珠洲焼		130-212
209	14	赤川吉心遺跡	よかわぜん心		赤川	散佈地	古代・中世	須恵器・珠洲焼		129-183-212
210	19	明日橋跡遺跡	あすきはしづめ		明日橋	中世墓	中世	石造物	懸干石の石造物・五輪形出土。石造の中世墓地か。	106-212
211	18	大野沢遺跡	おおのさわ		大野(8)	散佈地	縄文・古代	石器・土師器・須恵器		53-165-212
212	17	上田南谷遺跡	うわたなんが	UDN	上田	散佈地	縄文・古墳・古代・中世	縄文土器・須恵器・土師器・土師器・土師器	6世紀前半と9世紀が主体。	53-212-213
213	17	福尾山遺跡	たきおざん		早普	寺院	中世	土師器・珠洲焼・石造物・銅製・古銭・木刀	四十八の寺地があったという寺院伝承地。石造物・銅製・古銭・木刀などが出土。	53-54-113-174-212-266-311
214	17	上田A遺跡	うわたえー		上田	散佈地	古代	須恵器		212
215	17	上田B遺跡	うわたびー		上田	散佈地	中世	土師器・磯穴		212

道跡番号	地図番号	道跡名	ふりがな	略号	所在地	種別	時代	主な所上・採集遺物	備考	主要文献
216	14	柿谷十音山内城跡	かきやちやつやま		柿谷	古墳	古墳中～後期	直刀・鉄剣・土器	奈良2文書、7世紀末、方墳1基。明治40年に最盛期の200mの丸山を崩した際に遺物が出土したと伝える。	53-126-212-213-225-311
217	7	下野宮中世墓群	とつみや		戸津宮	中世墓	中世	石造器・珠洲焼		96-212-244
218	7	長坂行人塚	ながさかぎょうりつか		長坂	塚	中世	石造物・珠洲焼	石動山開港の行人塚遺物が残る。	96-97-201-212-340
219	18	朝日山城跡	あさひやまじょう	ASYJ	甲府	城跡	中世	珠洲焼・近世陶磁	旧朝日山跡。最初以外周の礎石遺構はない。ほぼ焼燬。	132-184-203-212-215-283-310
220	10	懸代ホウシハラ遺跡	かけふだほうしはら	KKFTI	懸代	散布地	縄文中期・古代	縄文土器・石器・須恵器		212-288
221	17	上田C遺跡	うわだえー	LDIC	上田	散布地	古墳後期	須恵器・土師器		212-213
222	17	上田D遺跡	うわだえー		上田	不明	古墳		詳細不明	212
223	17	上田E遺跡	うわだえー		上田	散布地	古代・中世	須恵器・土師器		212-213
224	18	藤川C遺跡	くらかわえー		藤川	散布地	中世	土師器		212
225	19	坂島遺跡	からしま		中次町	散布地	中世・近世	土師器	坂島は群馬県実地記念館。境内に「火ともし地蔵」とよばれる磨崖仏有り。	212-317
226	22-23	大前保赤遺跡	おおうらふかさ	OUJ	大前	散布地	古代・近世	須恵器・土師器		212
227	24	坪池白飯遺跡	つばいけしらかま	TRIS	坪池	散布地	縄文早～中期	縄文土器・石器		138-153-212-245
228	26	飯久保ナガモン遺跡	いけながもん		飯久保	散布地	古代	須恵器・土師器		156-212
229	26	榎田長尾遺跡	ほりたながお		榎田	塚	中世		マウンド有り。中世意か。	212
230	26	藤田八遺跡	かわたえー		藤田・榎田	城跡	中世		中世の磨崖か。詳細不明。	212
231	26	榎田老長山遺跡(榎田河山遺跡)	やないだのめおやま(やないだのむかやま)		榎田・榎田・大前	散布地	縄文～近世	縄文土器・石器・中世土器・須恵器・珠洲焼・近世陶磁		160-212
232	26	藤田D遺跡	かわたえー		藤田	散布地	中世	土師器		212
233	10-11	芝神遺跡	しばとけじょう		余川・朝・古岡	城跡	南北朝・戦国		『藤田文書』『大野文書』にみえる城跡。	72-146-203-212-283-288
234	23	宮シムラ遺跡	くはしら	KBS	宮	散布地	縄文～近世	縄文土器・土師器・須恵器・珠洲焼・近世陶磁器	遺跡・古例に「飯坂(榎田)遺跡」が所在(すでに消滅)。	160-212-322
235	26	正保寺遺跡	しょうほうじ	SBZ	飯久保・榎田	散布地	縄文～弥生・古代・中世・近世	縄文土器・石器・土師器・珠洲焼・石造物・木製品	中世寺院「正保寺」伝承。調査では縄文時代の河土釜等と見られる中世後期の土器状遺物を確認。	212-220-291
236	19	望北遺跡	くはきた	KBK	宮	散布地	弥生・弥生・古代・中世・近世	弥生土器・須恵器・土師器・珠洲焼・近世陶磁器		160-212
237	19-23	松田江北遺跡	まつだえきた	MDEK	榎・榎田	散布地	縄文・弥生・古代・中世	縄文土器・弥生土器・須恵器・土師器・珠洲焼・近世陶磁器		160-212
238	23	榎田茨木遺跡	やないだいらぎ		榎田	散布地	弥生・中世	弥生土器・珠洲焼		160-212
239	23	榎田南遺跡	やないだのみな	YDM	榎田	散布地	弥生・古代・近世	弥生土器・須恵器・土師器・近世陶磁器		160-212
240	23	島尾北遺跡	しまおきた	SMOK	島尾	散布地	中世	珠洲焼・土師器		160-212
241	23	島尾遺跡	しまお		島尾	散布地	中世・近世	土師器・青磁・埴中瓦		160-212
242	18	十二町野津遺跡	じゅうにちやうつし		十二町	散布地	古代・中世	須恵器・珠洲焼		160-212
243	18	上泉西遺跡	かみいづみにし		上泉	散布地	古代	須恵器・土師器		212
244	22	榎田サカイ遺跡	ほりたさい		榎田	散布地	弥生・古代・中世・近世	弥生土器・須恵器・土師器・珠洲焼		156-160-212
245	22-26	榎田竹瀬遺跡	ほりたたけはな		榎田	散布地	弥生後・古代・中世・近世	弥生土器・須恵器・土師器・珠洲焼		140-156-160-212-288
246	18	十二町ガメ山古墳群	じゅうにちやうがめやま		十二町	古墳か	古墳か		詳細不明	
247	22	飯津B遺跡	いづみB		十二町	散布地	弥生・古墳	弥生土器・土師器		212
248	22	十町島崎遺跡	じゅうにちやうしまざき		十町	散布地	弥生・古墳	弥生土器・土師器		212
249	22	島崎遺跡	しまざきじょう		十町	城跡	戦国		尾根先端に土塁と堀をもつ守城跡有り。	159-203-212-268-283
250	18	藤川D遺跡	くらかわえー	KRKT	藤川	集落	古代・中世	須恵器・珠洲焼・土師器・木製品	舟戸堀に掘られた平安末期の丸舟が注目。	165-212-270-289-290-296-354-367
251	18	藤川横溝中世遺跡	くらかわよこほ		藤川	散布地	弥生後～古墳前期	弥生土器・土師器		165-212
252	18	沖中C遺跡	おきめのしー		藤川沖中	散布地	古代・中世	須恵器・土師器・珠洲焼		165-212
253	18	榎原南遺跡	ぬかづかのみみ		中尾・榎川	散布地	縄文・古代・中世	縄文土器・須恵器・珠洲焼・土師器		165-212
254	18	(欠番)	榎川尾田遺跡(なかつた)		中尾新保内南遺跡(49)に統合。					160-212-208
255	18	大野南遺跡	おののみみ		大野	散布地	古代・中世	土師器・須恵器・珠洲焼		163-212
256	18	京C遺跡	いづみしー		京	散布地	古代	須恵器		165-212-266
257	18	京浜山遺跡	いづみよこやま		京	散布地	古代	須恵器		165-212
258	17	下四丁遺跡	うわだえふ		上野池尻	散布地	古代	須恵器		165-212
259	14	七分一日遺跡	しちぶんいちび		七分一	散布地	古代・中世	須恵器・珠洲焼		165-212

遺跡番号	地域番号	遺跡名	ふりがな	略号	所在地	種別	時代	主な出土・採集遺物	備考	主要文献
260	15	緑竹川1遺跡	いなづみかわくち	INKG	橋積	散布地	古銅・古代・中世	深田遺・土師器・埴 土鏡	平成20年度、氷見北ICア ツセカ道に際連して試掘調査 を実施、西側に朝日橋大。	165-212
261	12	脇方内田中世集	わきのがやちで		脇方	中世集	中世	板石彫文・五輪塔・ 宝篋印塔・石造 尊仏・中世十層塔	新編を振り込んで作られた 宝篋印塔・尊仏として 遺物が転写される。	54-96-104-200- 201-207-212-352
262	25	蟹宮城跡	くらほねじょうが みねじょう		蟹宮	城跡	戦国			212-283
263	26	登壇コッパラ城跡(登壇山古墳群)	そうりょうこつ らじょう(そうりょう のみなみとりで)		登壇	城跡	戦国			154-203-212-283
264	25-26	寺中竹尾城跡(寺中城跡)	じちゅうたけの はなじょう(じちゅう ちゅうじょう)		仏生寺	城跡	戦国			154-212-283
265	22	深原前田遺跡	ふかわらまた	HUKM	深原	散布地	古代・中世・近世	須恵器・灰泥灰		168-212
266	22-26	飯久保山古墳群(寺敷久保古墳群)	いくほしりやま (てらいくほ)		飯久保	古墳	古墳中～後期		東白2支群、円墳6基。	212-225
267	22-26	飯久保後山遺跡	いくほしりやま		飯久保	散布地	縄文・弥生・近世	石器・弥生土器・埴 土鏡・石	遺跡内に近世の塚有り。	212
268	26	矢田那カク遺跡	やたな		矢田那	散布地	中世	十層塔		212
269	22	矢田那六反坪遺跡	やたなむくんつ ぼ		矢田那	散布地	中世	十層塔		212
270	4	脇塚塚	わきさかいつか		脇	塚	近世中		円墳塚のみ。	212
271	4	中渡天神の森遺跡	なかなみてんじん のもり		中渡	墳墓	中世	埴土・板石(実用 真言の梵字を刻 字)・石造物	経巻・実用中世或石鏡 の供養塚のみ。	96-301-212
272	12	栗塚	かみづか		小塚	塚	中世	立石「バク。(或 新3年銘)・石造物	山前定史跡(昭和11)。立 石が立つ塚状の平地遺と大 小の平地遺。堂子が残るのみ。	31-54-98-96-96- 257-104-212-288- 305-307
273	24	坪池シャンドン遺跡	つばいけしやんと ん		坪池	塚	中世	宝篋印塔	「シャンドンのカーハーン」 とは石の塚上に立つ四角 切の宝篋印塔・宝篋印塔は 市指定1品品。	54-301-207-212- 293
274	22	中谷内遺跡	なかやち		中谷内	集落	古墳中～後・古 代・中世・近世	土師器・馬形土 器・板石器・埴土 器・石口・石造物・ 鏡	古墳中～後期の聖火住跡。 古代の川原。中世の孤立社 遺物と区画溝等を導出。	158-212-220-228- 238-243-247-258- 259-261-263-267- 272-278-279-352
275	22	万尾日遺跡	まおび		万尾	散布地	弥生～近世	弥生土器・十層塔・ 須恵器・埴土鏡・埴 土鏡・石		168-212
276	22	下久津谷遺跡	しもくづら	SKZ	下久津谷	散布地	中世	土師器		212
277	22	栗原A遺跡	あわれえー	AWA	栗原	集落	古代・中世・近世	須恵器・土師器・板 石器・石造物・埴 土鏡	朝日町・鶴岡市「東人」等 田。	168-212-220-292
278	22	栗原B遺跡	あわれびー		栗原	散布地	不明	時期不明土師器		168-212
279	22	深原打越遺跡	ふかわらうちし		深原	散布地	古代	須恵器・十層塔		168-212
280	21	矢田那カワベ遺跡	やたなかわべ		矢田那	散布地	中世	石造物		212
281	26	飯久保山ノ遺跡	いくほやました		飯久保	散布地	古代・中世	須恵器・十層塔・埴 土鏡		168-212
282	25-26	蟹宮キヤノキチ遺跡	くらほねおやの きち		蟹宮	散布地	古代・中世末～ 近世初	須恵器・埴土 鏡		168-212
283	25	寺中内遺跡	じちゅうのうかい		仏生寺	散布地	中世	埴土鏡		168-212
284	26	登壇コッパラ古墳群	そうりょうこつ ら		登壇・板倉	古墳	古墳中期		円墳2基	212-225
285	22	万尾古墳	まお		万尾	古墳	古墳前期		遺物が少ないが前方方墳 の可能性有り(1基)。	212-225
286	26	登壇六ノ遺跡	そうりょうふると		登壇・矢田那	城跡	中世		近隣の平田遺と帯塚状遺 跡。詳細不明。	212
287	13	熊無遺跡(上原 真中世集)	くまなし(かみくま なし)		熊無	中世集	中世	埴土鏡・石造物	石造物や板石を伴うマウンド がやや尾端に1基築かれる。	174-176-201-212
288	17	日谷古墳群	ひつひのふくら		日谷	古墳地	古墳前・平安	須恵器・板石器		176-212
289	17	上田古墳群	うわだじー		上田山野谷内	散布地	中世	埴土鏡・石造物		176-212
290	12	小杉谷内遺跡	こすぎやち		小杉	散布地	古墳	土師器・板石土器		197-212
291	22	寄籠岩内遺跡 (寄籠岩古墳群)	よせがわ(よせがわ のいわ)	HUSY	布施字若宮	散布地	古墳	須恵器・十層塔		212
292	18	朝日寺山古墳群	あさひてらやま		朝日本町	古墳	古墳中期		円墳2基・方墳1基	212-225-288
293	16	論田跡	ろんでんきょうづ か		論田スナダマ	塚	古代末～中世初	瓦葺	昭和10年頃、マウンドを整 した際に瓦葺出土。調査。	174-212-226
294	21	栗原ミナト遺跡	あわらみなと		栗原	散布地	古墳	土師器		212
295	23	藤田市尾山古墳	ふじのたけのおや ま	YNK	藤田市尾山	古墳	古墳	弥生土器・土師器	国指定史跡(平11.29)。前 方後方墳・円墳5基。1号 墳は全長107.5m、日本海 域最大の前方後方墳。	188-192-198- 198-203-207-212- 225-267-268-288- 294-297
296	15	阿尾向田遺跡	あおむかひだ		阿尾	散布地	弥生・古代・中世	弥生土器・土師器		190-212
297	15	指崎向田遺跡	ささきむかひだ やま	SSMY	指崎	散布地	古代・中世・近世	須恵器・埴土鏡・十 層塔		190-212
298	27	上田了遺跡	かみたこ		上田子	城跡	中世	土師器	弥生遺構。「多胡城」に比定 する見方有り。	182-212
299	27	上田了古墳群	かみたこ		上田子	古墳	古墳前期		方墳2基	212-225

道庁 番号	道庁 番号	道 郡 名	ふりがな	略号	所在地	種別	時代	主な出土 ・発見遺物	備 考	主要文献	
300	22	大湊三藏古墳群	おおつらさんそう		大湊	古墳	古墳	須恵器・土師器・珠 洲焼・灰陶器	門塚2基	212-225	
301	17	新保南遺跡	しんほみなみ	SBM	新保字伊尾田	集落	古代・中世		発掘調査で中世の溝・道路・ 柱穴を把握。	174-206-212-223- 246-256-337	
302	15	阿尾島岡古墳群 ・土器群	あおしまだ	AOSD	阿尾	古墳 縄文	古墳・中世	鉄釘・灰陶・灰鏡・ 須恵器・土師器・ 鉄製ヤス・ガラス 小刀・石製管玉等 (A1号墳出土品)	2号墳・前方後円墳1基・方 墳1基・円墳1基・A1号墳 (前方後円墳)の発掘調査 で木棺と銅製品を確認。上 述群は戦国期の遺構か。	204-211-212-214- 225-227-241-260- 267-282-284-286- 288-348	
303	15	稲俣オオヤチ古 墳群	いなづまおおや ち		稲俣	古墳	古墳	鉄刀・鉄製鏡・鉄 製刀子・鉄製・鉄製 銅製鏡・磁玉・青玉 ・鉄製・土師器	2号墳・横立形古墳1基・ 前方後円墳1基・前方後方 墳2基・円墳4基・方墳12基。B4 号墳(前方後円墳)の発掘 調査で後円部に2基、前方 部に1基の埋葬施設を確認。	204-212-225-341- 349-361	
304	15	稲俣ウシロ古墳	いなづまうしろ		稲俣	古墳	古墳		円墳1基、前方9基(内1基 は前方後方墳か)	204-212-225	
305	15	稲俣城・絆古墳 群	いなづまじょうが みね		稲俣	古墳 城跡	古墳・中世	銅製品(堀切内出土)	円墳2基、平成19年度の試掘 調査で堀切・竪堀を確認。	204-212-225-365	
306	12	宇波コウクラウ 遺跡	うなみこうくらう		宇波	敷布地	古代・中世		須恵器・珠洲焼	197-212	
307	12	宇波シロダ遺跡	うなみしろだ		宇波	敷布地	古墳・中世	土師器		197-212	
308	18	藤川中ノ遺跡	うらかわなかえ	KRKN -A	藤川字中ノ大野 新	敷布地	古代・中世・近世		須恵器・珠洲焼・土 師器	旧称KB-1遺跡の北西部分。 中世の流通を確認。	264-296
309	18	KB-2遺跡	けーごー2	KB-2	大野新・大野	敷布地	古代	須恵器	遺跡の大部分は埋没地跡。	212	
310	18	KB-3遺跡	けーごー3	KB-3	大野	敷布地	古代	須恵器・土師器・珠 洲焼	遺跡の大部分は埋没地跡。	212	
311	26	惣領野原遺跡	そうりょうのざわ		惣領	集落	古墳前・中世	土師器・珠洲焼・曲 輪・青磁人形像	旧称NTJ-15遺跡。独立柱礎 群・井戸・穴蔵跡などが検出 された13-14世紀の集落跡。	220-228-239-252- 259	
312	26	惣領田之前遺跡	そうりょうのまえ		惣領	集落	縄文・弥生後・古 墳・古代・中世	弥生土器・木製品 (赤漆塗器・須恵器・ 銅製物)	旧称NEJ-16遺跡。弥生後期 の赤漆塗器等の木製品出土。	220-229-231- 233-236-238-239- 250-252-259-352	
313	22-26	NEJ-17遺跡	えぬいーじー17		久津部	敷布地	縄文・弥生・古墳 ・古代・中近世	縄文土器・土師器・ 珠洲焼	試掘調査では遺構未確認。	220	
314	22	NTJ-18遺跡	えぬいーじー18		上久津呂	敷布地	縄文・古代・中世	縄文土器・土師器・ 須恵器・珠洲焼	試掘調査では遺構未確認。	220	
315	22	上久津呂中世遺 跡	かみくつろなかや		上久津呂	集落	縄文・弥生後・古 墳・古代・中世	縄文土器・石器・鉄 器・木製品・弥生土 器・須恵器内帛	旧称NTJ-19遺跡。縄文時代 の石土器・石釘・灰骨・木 製品が大量に出土。縄文時 代早期末-前期初頭の埋葬。 弥生時代後期の存在。中世 の獨立柱礎跡等も検出。	237-238-251-254- 258-259-278-279- 281-301-325	
316	18	中尾茅野遺跡	なかおやど		中尾	集落	弥生・古墳・古代	土師器・須恵器・珠 洲焼	旧称NTJ-20遺跡	33-208-220-221- 228	
317	18	大野川南遺跡	おおのえのぼ		中尾・龍川・大 野新・大野	集落	弥生・古墳・古代 ・中近世	弥生土器・木製品・ 土師器・須恵器	旧称NTJ-21遺跡。中世期の 遺構状況を確認。	208-228-263	
318	12	宇波南遺跡	うなみにし		宇波・川内	敷布地	弥生・古墳・古代 ・中世・近世	弥生土器・土師器・ 須恵器・珠洲焼	旧称NEJ-27遺跡(307)を統合。 7号墳跡-9号墳跡(中世)の集落 跡。	212-257-341-368	
319	12	脇方西古墳群	わきがたにし		脇方	古墳	古墳中期		円墳3基	304-212-225	
320	12	宇波城跡 (安河寺城跡)	うなみじょう (あんがじょう)		宇波	城跡	中世		『吾田文治』にみえる城跡。	50-303-212-283	
321	12	宇波安河寺古墳 群	うなみあんがじ ょう		宇波	古墳	古墳中期		円墳3基	304-212-225	
322	15	新崎北古墳群 ・新崎城跡(新崎 城跡)	しんさききた ・しんさきじょう		新崎	古墳 城跡	古墳・中世		方墳5基・長方墳4基・円墳1基	201-212-225	
323	14-15	余川金谷古墳群	よかわかなや		余川	古墳	古墳		3号墳・方墳11基(内1基は 石函突出型墳丘墓か)、円 墳5基	204-212-225-286- 304	
324	14	余川川地古墳群	よかわがち		余川	古墳	古墳		円墳5基	204-212-225	
325	14	加納新古墳群	かのうしんがけ		加納	古墳	古墳		前方後円墳1基・方墳1基か。	212-213-223	
326	14-18	加納南古墳群 (加納中世古墳 群)・加納城跡 (加納城跡)	かのうみなみか のうなかほじ かのうじょう		加納	古墳 城跡	古墳・中世	土刀・土甲・銅製・ 須恵器(銅製器台 木)・木製品(銅製 管玉・土輪)	円墳10基(南遺跡)。古墳の一部 は山城として中世に改造。 能登部遺跡の調査では4基 で埋没地跡を確認。	212-213-225-342- 343-351	
327	14	七分一古墳・古 墓	しちぶんいち		七分	古墳 中世墓	古墳・中世	石造物	方墳1基・方形塚2基	212-223	
328	18	泉住島古墳群	いずみゆきやま		泉	古墳 城跡	古墳・中世		前方後円墳1基・前方後方 墳1基・円墳2基・方墳1基。山 頂は城郭として造成され4 号墳の一部は城郭跡と推定 の可能性有り。	136-212-213-225	
329	17-18	上田古墳群	うわだ		上田	古墳	弥生末-古墳 前・古墳中期		円墳2基・方墳4基	212-213-226	
330	25	観音岩尾遺跡	くわんおんいわ		観音	集落	中世	石造物(如來形石 仏3・片足形石 仏1)・不明(石 製品1)	山腹斜面を盛り込んだ石 仏1基の墓を穿ち、4号の 石仏が安置される。直前に 崩壊ないし然焼有り。	88-212	
331	17	小島城跡	おこまじょう		小島・川内	城跡	戦国			212-283	

遺跡番号	地図番号	遺跡名	ふりがな	略号	所在地	種別	時代	主な出土・採集遺物	備考	主要文献
333	17	田代北青地(田代川)古墳群	たえきたたえはくさんしゃ		田代	古墳	古墳後・後期		前方後方墳1基・円墳2基	212-213・225
334	17-21	久貝城跡	くめじよか		久貝	城跡	戦国			212-283
335	20	熊坂古墳群	くまざか		熊坂	古墳	古墳		円墳3基・前方墳2基。群中に久貝群(609)を採集か。	213-219・225
336	17	新保西城跡	しんぱにしじょう		新保	城跡	中世		城址掘削遺構か。	212-283
337	17	新保古墳群	しんぱ		新保	古墳	古墳前期			212-213・225
338	13	渡嶋城跡	とびたきじょう		谷限	城跡	戦国			50-174・203・212-283
339	22	万尾城跡	まおじょう		万尾	城跡	戦国			212-283・288
340	11	水谷城跡	みずたにじょう		余川・上余川・柳谷	城跡	南北朝・戦国			50-72・146-212-283・288
341	18	泉谷内山古墳群	いずみやちくち		泉	古墳	古墳後期		円墳3基	212-213・225
342	18	中尾高塚古墳群	なかおかしら		中尾	古墳	弥生末～古墳初		方墳2基と砂浜の段上テラス。縄文期遺構の可能性有り。	212-213・225
343	18	中尾岡崎古墳群	なかおすみさき		中尾	古墳	古墳後期		円墳1基・方墳1基	212-213・225
344	18	中尾茅戸古墳群・中世系	なかおかやど		中尾	古墳	弥生末～古墳初・古墳後・中世	土師器・珠洲産(産物採集)・石造物	円墳2基と砂浜の段上テラス。弥生末～内陸部の遺構を採集。丘陵先端部斜面から縄文層が見られる埴輪出土。	212-213・225・266・296
345	18	中尾神子谷内古墳群	なかおかみこや		中尾	古墳	古墳後期		円墳1基	212-213・225
346	22	下久津内古墳	しもくづら		下久津内	古墳	弥生末～内陸部		方墳1基	212-225
347	14	谷限南古墳群	たにやうらで		谷限丸山	古墳	古墳後期		円墳2基。隣接する谷限北遺跡(501)は古墳群に付く別遺跡か。	212-213・225
348	13	谷限新堂古墳群	たにやしんどうで		谷限	古墳	古墳		円墳1基	212-213・225
349	7-8	粟城跡	すがたじょう(すがたのしろ)		安城ヶ峯	城跡	戦国			50-303・212-283・288
350	29	山川城跡	やまかきやうづか		弘川寺・高岡市山川	城跡	平安時代末期	刀・漆調漆・土師器	白川神社霊山の頂上にある築石より遺物出土。	212-226・293
351	15	北八代古墳	きたやしろ		北八代	古墳	古墳		前方後円墳1基。北側に前方後方墳2基あり。	212-225
352	18	中尾高塚古墳群	なかおたかつか		中尾	古墳	古墳後期		円墳2基	212-213・225
353	14	柳谷石戸谷内古墳群	かきやいしとや		柳谷	古墳	古墳中～後期		円墳1基	212-213・225
354	18	鞍川中川遺跡	くらかわなかびー	KRKN-B	鞍川中川	集落	弥生・古代・中世・近世	弥生土器・石器・須恵器・珠洲産(産物採集)・土師器・土製品	円形K5-1遺跡の南東地区。弥生中～古代中期の河川跡。中世の遺構状況を確認。	264-290・296
355	20	熊取浦水古墳群	くまざかみず		熊取	古墳	古墳前期～中期		前方後円墳1基・円墳3基	212-213・225
356	22	大沼三雲寺遺跡	おおのらぎらじょうじ		大沼	散石地	縄文	石器		212-245
357	22	糸池内山古墳	いとせまるやま		糸池	古墳	古墳		円墳1基	212-225
358	22	深草古墳群	ふかわら		深草	古墳	古墳中～後期		円墳8基・方墳1基	212-225
359	18-22	西村木古墳群	にしほのおき		西村木	古墳	古墳中～後期		円墳2基	212-225
360	15	北八代中山古墳	きたやしらのなかやま		北八代	古墳	古墳		方墳1基	212-225
361	18	鞍口大山遺跡	あさひおおやま	ASOY	鞍口	集落	弥生	弥生土器・石器	弥生土器・石器	212
362	22	大溝城跡	おおうらじょう		園・中島	城跡	中世			212
363	27	上田子溝遺跡	かみたごすわ		上田子	散石地	中世	土師器・古銭・石造物		212
364	27	大塚ヶ高遺跡	だいしがだけ		小竹・高岡市西田・太田	散石地	不明	時期不明土師器		212
365	16-17	小久米栄ノ内遺跡	おぐめのやち		小久米・日名田	散石地	古代・中世・近世	須恵器・土師器・珠洲産		212
366	15	稲津おおよや南遺跡	いなづみおおよやちみなみ		稲津	集落	古代・中世	弥生土器・漆器	旧NEJ-23遺跡。古代から中世の連続と見て丹戸・溝草を確立。	277-342-343
367	12	(欠番)	旧NEJ-27遺跡。宇宮内遺跡(318)に統合。							257
368	18	神明北遺跡	しんめいきた		中尾	集落	古代・中世	土師器・須恵器(弥生土器含む)・珠洲産	旧NEJ-21遺跡の東側地区	208-221・234
369	17	上田西古墳	うわだし		上田	古墳	古墳中～後期		円墳1基	213-225
370	17	新保野郎遺跡	しんぱのらじょう	SDN	新保	散石地	古代・中世	短冊・土師器・珠洲産・木柱・礎石	豊産された須恵器が出土。	246-269-293
371	18	大野中遺跡	おおのなか		人野	集落	古代	須恵器・土師器	旧NEJ-22遺跡。古代の集落跡。竪立柱建物・貯穴(住居・井戸等)を確認。	257-277-278-279-287-342-343
372	18	七分・栄ノ内遺跡	しちぶん・えのちのくち		七分一	集落	中世	弥生土器・土師器・須恵器・珠洲産・白磁・越前瀬戸・石器	旧NEJ-23遺跡。中世の竪立柱建物のほか、弥生末～古墳初。古代の連続を確認。	257-278-279
373	14-15	加納谷内遺跡	かのうやち		加納	集落	縄文・古代・中世・近世	縄文土器・弥生土器・土師器・珠洲産・須恵器・越前瀬戸・土製品・石製品・木製品	旧NEJ-24遺跡。中世から近世の集落跡。竪立柱建物・貯穴・土器・井戸・石造遺構を確認。	257-278-279-341-342-343-350
374	15	稲津又東遺跡	いなづみあまたか		稲津字又東	集落	弥生・古代・中世・近世	弥生土器・珠洲産・白磁・肥前陶器・漆器・木・石・磁石	旧NEJ-25遺跡。弥生・古代中世の連続。竪立柱建物・溝・井戸・池等を確認。	257-277-342-343-350

道路 番号	地図 番号	道路名	ふりがな	略号	所在地	性別	時代	主な出土・ 採集遺物	備考	主要文献
375	15	福清天取北邊路	いなづみあまさか きた	INASK	福清	崖墓	古代・中世・近世	須恵器・埴土器 [兼]埴土・土師器 珠洲焼・製造土器	旧NRC(20)調査。古代の集 落跡、竈・柱礎跡、井戸等 を確認。	277-342-343
376	7-12	NKJ29道跡	えぬいーじゅー29		宇波	散葬地	古代	須恵器	試掘調査では遺構未確認。	257
377	4-8	NKJ30道跡	えぬいーじゅー30		中波	散葬地	中世	瓦洲焼		
378	7	千人塚	せんにんづか		戸津宮	塚	中世・近世	瓦石「キリーク」 ・石造物	石籠山大塚遺跡に関する碑と 立石。石籠山古製に関する 伝承が残る。周辺には中 世墓・近世墓・竈跡伝承地 が存在する。	96-104-201・204・ 206
379	3	平沢一里塚道跡	ひらさわいちりづか		平沢	経塚	中世・近世	立石・一字・石籠	立石とマウンドを有する礎石 経塚。石籠山平沢園に因す。	244-273-298
380	7	長坂落合中世墓	ながさかおちあ い		長坂	中世墓	中世(13世紀後)	珠洲焼・石造物	マウンドと象石遺構・石造 物を確認。	244-340
381	22	西村木フルケチ 道跡	にしほおのきふる やち		西村木	埋納鏡	中世(15世紀頃)	唐・宋銭等1,470枚	発見当時、古銭は約200枚ご と6本程の塊になっていた。 別に5,000枚程の古銭も出土 したが、保存数は1,470枚。	244-248-268-288
382	22	西村木ドウガヤ 子道跡	にしほおのきどう がやち		西村木	中世墓	中世(13後～14 世紀)	珠洲焼・磁管	成人男性1体分の發骨を納 めた塚洲焼塚が出土。	244-249-268
383	18-22	西村木ジョウコ ウジ道跡	にしほおのきじょ うこうじ		西村木	散葬地	古代・中世・近世	須恵器・珠洲焼・緒 中瀬戸		244
384	14	余川片瀬橋穴跡	よかわたばたけ		余川片瀬	橋穴	飛鳥白鳳		1基の開口を確認。さらに4 ～5基存在か。	233-271
385	18	十二町矢崎橋穴 跡	じゅうにちようや ざき		十二町矢崎	橋穴	飛鳥白鳳		開口している1基を含め、9 基の痕跡を確認。	266-271
386	12	大塚エンニヤマ 下洞窟道跡	おおざかいよん にやましたどうく つ	OZFD	大塚	洞窟	縄文中期・弥生 器・土器・銅器・貝 器・石碑	縄文土器・弥生土 器・土師器・古銭	縄文土器・弥生土 器・土師器・古銭 を有する。本洞窟発掘後、急傾斜 対策工事実施により閉鎖。	3-17-23-303-352・ 353
387	17	中村大塚道跡	なかむらおほはし	NEUMH	中村	散葬地	古代・中世	須恵器・珠洲焼		
388	17	天塚山南道跡	てんばやまみなみ	TBYM	中村・谷津	散葬地	古代・近世	土師器・古銭		
389	17	谷津ノ江道跡	たにやかみのえ	TSYKE	谷津	散葬地	古代	須恵器・土師器		
390	24	上養安安寺塚	つちくらようあん じづか		赤毛(十倉)	塚	不明		南北に並ぶ3基の塚。いずれ も方形で、1基の塚上に2箇 所の墓石有り。小豆のもの。	293
391	22	大浦高山古墳群	おおうらたかやま		大浦宇高山	古墳 伝承地	古墳・中世		前方後方墳らしい前方後円 墳1基・方墳5基、[古]の墓 とよばれる横野伝承地で、古 墳群の北面には古墳ないし 寺域跡とみられる平壇墓も 確認存在する。十三塚伝承も 残る。	364

■水見市遺跡地図文献目録

- 1 富山県水見郡役所 1915 「古墳二箇所調査」(行政史料)
- 2 上田三平 1918 「越中水見郡大塚遺跡内の弥生遺跡」『歴史地理』32巻1号
- 3 柴田常憲 1918 「越中水見郡宇波村大塚の白土社創設」『人類学雑誌』33-7
- 4 松村 慶 1918 「越中大塚遺跡内発見の人物」『人類学雑誌』33-7
- 5 松村 慶 1918 「新発見の河内道跡」『教育叢報』7-1
- 6 阿部余四郎 1919 「越中水見郡の歌音の一部」『人類学雑誌』34-10
- 7 小倉貞典 1919 「日本石器時代の遺物を並形する風習について」『人類学雑誌』34-11~12
- 8 小倉貞典 1920 「日本石器時代の赤土層について」『人類学雑誌』35-11~12
- 9 佐藤山藏 1920 「地理学上より見たる越中水見の概観」『地理雑誌』32-177
- 10 大村正之 1921 「石器時代及び古墳時代遺跡」『富山県史蹟名勝天然記念物調査報告書』第2号
- 11 大村正之 1922 「大塚遺跡附住居址」『富山県史蹟名勝天然記念物調査報告書』第3号
- 12 大村正之 1923 「水見郡加納村加納橋穴穴」『富山県史蹟名勝天然記念物調査報告書』第4号
- 13 大村正之・林喜太郎 1924 「朝日貝塚発掘調査報告」『富山県史蹟名勝天然記念物調査報告書』第6号
- 14 岡本規矩男・大井敏雄・井一長 1927 「越中水見朝日貝塚人類骨発掘手帳」『人類学雑誌』42-3
- 15 後藤守一 1927 「大塚遺跡」『日本考古学』16
- 16 柴田常憲 1927 「石器時代住居址概観」『石器時代の住居址』
- 17 長谷津清人 1927 「大塚遺跡の遺跡に就て」『史学』研究
- 18 林喜太郎 1927 「朝日先住民遺跡」『富山県史蹟名勝天然記念物調査報告書』第8号
- 19 林喜太郎 1930 「阿尾無村穴穴」『富山県史蹟名勝天然記念物調査報告書』第10号
- 20 林喜太郎 1930 「阿尾無村附近史蹟」『富山県史蹟名勝天然記念物調査報告書』第10号
- 21 大村正之 1932 「朝日貝塚東方須賀前新築の発掘物」『富山県史蹟名勝天然記念物調査報告書』第12号
- 22 大正憲 1932 「阿尾無村」『富山県史蹟名勝天然記念物調査報告書』第12号
- 23 大塚城雄 1934 「本邦上代の湖穴遺跡」『史前学雑誌』第6巻 第2號
- 24 津 益 1935 「越中における新石器文化」『考古学』第6巻 第2號 東京考古学会
- 25 嶋尾正一 1937 「越中史書 → 朝日貝塚の史記概観」
- 26 早川耕作 1937 「越中大塚遺跡発見の概観」『中部考古学会會報』4月号
- 27 津 益 1937 「越中水見町石上発見の石工」『中部考古学会會報』3月号
- 28 片上逸郎 1938 「朝日貝塚上段の人類解剖学的研究」『金沢医科大学解剖学雑誌』第31巻
- 29 嶋尾正一 1940 「阿尾無村」『富山県史蹟名勝天然記念物調査報告書』第14号
- 30 早川耕作 1940 「越中における新石器文化の遺物について」『富山県史蹟名勝天然記念物調査報告書』第14号
- 31 市村成人 1943 「宗貞親王御遺跡の研究」八木書店
- 32 嶋尾正一 1950 「阿尾無村の指輪石環 一その発掘について」水見郷土学会
- 33 富山県史蹟名勝天然記念物協会・富山考古学会 1950 「史蹟朝日貝塚第3回発掘報告」
- 34 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1950 「富山県水見地方穴穴古墳調査報告書」
- 35 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1951 「昭和25年度研究調査報告書」
- 36 林 大門 1951 「朝日貝塚の自然遺物」『大塚』第1号
- 37 津 益 1951 「朝日貝塚遺跡内の泥炭地包含層」『大塚』第1号
- 38 嶋尾正一 1952 「大塚の調査遺跡」『富山教育』45-48号
- 39 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1952 「朝日貝塚発掘調査報告書」
- 40 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1952 「水見郡郷土史高野」
- 41 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1953 「名勝水見」富山県立水見高等学校
- 42 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1955 「加納橋穴穴発掘報告」『市神道遺跡発掘報告』[水見高校歴史クラブ報告書No.5]
- 43 鶴本芳雄 1955 「小塚原寺の心礎と瓦葺屋」『越中史蹟』第5号
- 44 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1956 「昭和30年度調査報告書」
- 45 水見市文化財保存会 1957 「大塚河内道遺跡と朝日貝塚」
- 46 柳原隆定 1957 「火葬塚高何仰と北陸地方土器遺物調査考」『越中史蹟』第12号
- 47 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1958 「彌田遺跡調査報告書」
- 48 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1958 「名勝水見」改訂再版 水見市役所
- 49 清水一舟 1960 「彌田遺跡」
- 50 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1961 「故郷の城址」
- 51 児島清文 1962 「水見市地名考」
- 52 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1962 「名勝水見 再訂三版 水見市役所
- 53 上庄村史編纂委員会 1963 「上庄村史」
- 54 水見市史編纂委員会 1963 「水見市史」
- 55 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1964 「富山県水見地方考古学遺跡と遺物」
- 56 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1964 「名勝水見」再訂四版 水見市役所
- 57 富山県立水見高等学校歴史クラブ 1966 「朝日貝塚地誌調査報告書」[加納河内道22・23号穴穴古墳発掘報告] [水見高校歴史クラブ調査報告書No.12]
- 58 津 益 1966 「水見海岸の人文景観と文化財」『水見海岸二上山学術調査書』
- 59 和島誠一編 1966 『日本の考古学 Ⅱ 弥生時代』
- 60 嶋尾正一 1969 「水見の風土記」水見市役所・水見観光協会
- 61 津 益 1969 「水見市上久津川遺跡」『富山考古学会連絡報』33
- 62 加納史蹟編纂委員会 1970 「加納史蹟」
- 63 斎藤道雄 1970 「富山県水見市加納第22・23号橋穴」『日本考古学年報』18
- 64 津 益 1970 「四ノ塚遺跡緊急発掘調査と歴史文化財の破壊」(パンフレット)
- 65 西井龍蔵 1971 「水見市谷屋発見の手持勾玉」『考古学ジャーナル』No.51
- 66 富山県 1972 「富山県史」考古編
- 67 水見市教育委員会 1972 「大塚の調査遺跡 一その保護」
- 68 水見市教育委員会 1973 「富山県水見市朝日貝塚内墳調査報告書」
- 69 嶋尾正一 1975 「水見の風土記」水見市役所・水見観光協会
- 70 水見市教育委員会 1975 「富山県水見市丸籠遺跡遺跡調査報告書」
- 71 水見市池田小学校 1975 「水見 一池田小学校と校下の歴史一」
- 72 余川のおゆみ編纂委員会 1976 「余川のおゆみ」
- 73 児島清文 1977 「湯山城私考」『富山史蹟』第66号
- 74 福徳教育百年史編纂委員会 1978 「福徳教育百年 一教育と歴史一」
- 75 「水見の文化財」編纂委員会 1978 「水見の文化財」水見市教育委員会 郷土誌本第3集
- 76 堀川真樹 1978 「加納橋穴穴の諸問題」『学芸』5 高野第一号園
- 77 富山県教育委員会 1979 「昭和33年度富山県歴史文化財調査一覽」
- 78 児島清文 1980 「阿尾無村」『水見春秋』創刊号
- 79 齊藤 忠 1980 「早雲でみる 日本発掘・発見史」①奈良時代~大正 日本放送出版協会
- 80 中澤博文 1980 「水見地名の研究」
- 81 水見市教育委員会 1980 「富山県水見市堀田久前遺跡発掘調査報告書」
- 82 水見市教育委員会 1980 「富山県水見市取川谷包含地。一の窟古墳調査報告書」
- 83 細川真樹 1980 「朝日橋穴穴」『水見春秋』創刊号

- 84 渡 豊 1980 「最古の日本人骨か 一幻の洞窟六十五年の顛末」『水見春秋』創刊号
- 85 渡 豊 1980 「澁川変遷調査」『水見春秋』第2号
- 86 富山県教育委員会 1981 「富山県歴史の遺跡報告書 一水見・蓮堂選一」
- 87 松島 洋 1981 「水見十二町域の歴史の断面調査」『富山教育』709号
- 88 橋本芳雄 1982 「松竹の結実」『水見春秋』第5号
- 89 水見市教育委員会 1982 「富山県水見市長夏賀船造跡試掘調査報告」
- 90 岸田真澄 1982 「化石分析から見た富山湾沿いの縄文前期の遺跡」『小泉遺跡』大門町教育委員会
- 91 岡本敏雄 1983 「富山県における土器製法の成り立ちと展開」『北陸の考古学』石川考古学研究会
- 92 水見市教育委員会・水見市立博物館 1983 「水見市遺跡地図 縄文文化財発掘地所在地地図」水見市文化財所在地地図 No.1
- 93 添 敏・見島高次 1983 「中尾古銭塚遺跡」『水見春秋』第7号
- 94 岡本恭一 1984 「加納横穴群」『水見市立博物館年報』第2号
- 95 水見市教育委員会 1984 「富山県水見市小久米古墳群・小久米A遺跡試掘調査報告書」
- 96 水見市教育委員会 1984 「富山県石動山信仰関連遺跡調査報告書」
- 97 水見市立博物館 1984 「石動山信仰文化展 一石動山と越中入り口一」
- 98 藤田富十 1984 「富山県」紅葉：最後の前方後円墳」『古代学研究』第105号
- 99 岸本敏雄 1985 「大塚遺跡の製土器」『大塚』第9号
- 100 小高俊彰 1985 「朝日貝塚の朝日下層式土器再見」『大塚』第9号
- 101 林 大野・酒口樸司 1985 「富山県朝日・小竹両貝塚出土の縄文時代人骨について」『国立科学博物館専報』18号
- 102 水見市教育委員会 1985 「富山県水見市小久米A遺跡発掘調査報告書」
- 103 水見市教育委員会・富山県砂防部 1985 「富山県水見市東山部中尾古銭塚調査報告書」
- 104 水見市立博物館 1985 「水見の石造美術 一石動山山腹集をとりと一」
- 105 松浦秀治 1985 「富山県水見市治沢穴から出土した人骨のファッセ会」『国立科学博物館専報』18号
- 106 岡本恭一 1986 「水見市朝日町出土の石造物」『水見市立博物館年報』第4号
- 107 佐倉 朝・藤口敏明 1986 「富山県水見市地蔵廻り土人骨について」『国立科学博物館専報』19号
- 108 水見市教育委員会・八代仙ダム建設計画に係る文化財調査団 1986 「八代仙ダム建設計画に係る文化財調査概報 一地形・地質・生物・歴史文化財」
- 109 平口哲夫 1986 「富山湾沿岸における縄文時代の一仏の踏査活動」『大塚』第10号
- 110 金子浩昌 1987 「富山・石川両下道跡の動物骨 一私の踏査史一」『大塚』第11号
- 111 西井茂藏 1987 「小俣丸遺跡」『北陸の古代寺院』桂芳房
- 112 西井茂藏 1987 「小俣丸寺」『北陸の古代寺院』桂芳房
- 113 越川村史編纂委員会 1987 「越川村史」
- 114 大野 究 1988 「稲尾川ヶ谷内遺跡出土遺物」『水見市立博物館年報』第6号
- 115 高岡 敏 1988 「稲尾城について 一両地区域史研究」『創刊号』
- 116 西井茂藏・林孝敏州・大野 究 1988 「水見市岡カンナ遺跡」『大塚』第12号
- 117 水見市教育委員会 1988 「富山県山田町三谷内遺跡試掘調査報告書」
- 118 山本正敏・大野 究 1988 「水見市十二町域毎地質調査報告書」『大塚』第12号
- 119 宇野隆夫 1989 「越中における古代手工業生産の展開 一北陸の古代手工業生産」
- 120 小片 保・加藤重昭・丸山昌高 1989 「富山県水見市治沢穴から出土した人骨の形質について」『人類学雑誌』97-3
- 121 北 秀・小嶋幸由 1989 「発見された藤原期の市上仏」『水見春秋』第20号
- 122 小島福朗 1989 「北陸における瓦生産 一北陸の古代手工業生産」
- 123 小嶋芳孝・宇野隆夫 1989 「北陸における磁器生産 一北陸の古代手工業生産」
- 124 岡 清 1989 「北陸における鉄生産 一北陸の古代手工業生産」
- 125 石動山山腹調査団・水見市教育委員会 1989 「四指定史跡石動山山腹文化財調査報告書 一八代仙ダム建設計画関連一」
- 126 水見市教育委員会 1989 「藤川横穴群 一般調査160号遺跡トンネル掘削工事に先立つ縄文文化財発掘調査」『水見市縄文文化財調査報告書第10冊』
- 127 水見市教育委員会 1989 「特別展 一考古資料による一 古代の越中」
- 128 北陸古代下工業生産史研究会 1989 「北陸の古代下工業生産」
- 129 大野 究 1990 「金川川流域の遺跡資料」『水見市立博物館年報』第8号
- 130 大野 究 1990 「八日村の考古資料」『八日村史』
- 131 水見市教育委員会 1990 「一般調査160号水見バイパス縄文文化財試掘調査報告書Ⅰ」水見市縄文文化財調査報告書第11冊
- 132 森岡 敏 1990 「水見市南部地域における中世城址とその性格」『富山市「日本海文化研究所紀要」第4号』
- 133 宇野隆夫 1991 「隼今社会の考古学的研究 北陸を舞台として」『越中』
- 134 大野 究 1991 「大塚遺跡発掘調査報告書の周辺」『水見市立博物館年報』第9号
- 135 水見市教育委員会 1991 「一般調査160号水見バイパス縄文文化財試掘調査報告書Ⅱ」水見市縄文文化財調査報告書第12冊
- 136 西井茂藏 1991 「越中における在来地帯の出現」『北陸古代史研究』創刊号
- 137 水見市教育委員会 1992 「水見バイパス開通遺跡調査報告書Ⅰ 山崎城址 阿尾沼マコ谷内横穴群」水見市縄文文化財調査報告書第13冊
- 138 大野 究 1992 「坪池坂遺跡の資料」『水見市立博物館年報』第10号
- 139 大野 究 1992 「紅が島遺跡の考古資料」『水見市立博物館年報』第10号
- 140 大野 究 1992 「稲田採集の考古資料」『水見市立博物館年報』第10号
- 141 大野 究 1992 「下久米城址発掘調査概要」『水見市立博物館年報』第10号
- 142 林孝敏州 1992 「守山城郭跡とその採集遺物」『大塚』第14号
- 143 林孝敏州 1992 「小竹山城について」『水見春秋』第25号
- 144 佐竹哲也 1992 「水見市中部の城郭について」『水見春秋』第26号
- 145 大野 究 1993 「朝日山古墳の地形について」『水見市立博物館年報』第11号
- 146 奥村秀雄 1993 「石石の参入」
- 147 佐竹哲也 1993 「水見市内の城郭(1) 葦草城址」『水見春秋』第28号
- 148 高瀬保嗣 1993 「阿波 富山県の歴史」河川書房新社
- 149 水見市教育委員会 1993 「水見市遺跡地図(第2版)」水見市縄文文化財調査報告書第14冊
- 150 水見市教育委員会 1993 「水見バイパス開通遺跡調査報告書Ⅰ 阿尾沼地A遺跡」水見市縄文文化財調査報告書第15冊
- 151 水見市教育委員会 1993 「四指定史跡阿尾沼城址文化財調査中間報告書」
- 152 水見市教育委員会 1993 「水見の指定文化財ハンドブック」『水見春秋』第30号
- 153 水見市立博物館 1993 「特別展 身近に遺跡がー」
- 154 堀 宗夫 1993 「越中の中世城郭の謎調査」『越中の中世城郭』
- 155 斎藤義郎編 1994 『日本土器製造研究』
- 156 大野 究 1994 「奈良時代の十二町遺跡」『水見春秋』第30号
- 157 大野 究 1994 「神代テラヤシキ土器について」『越中三上山と四国寺』桂芳房
- 158 斎藤保彦編 1994 『越中』中・上山と四国寺』桂芳房
- 159 林孝敏州 1994 「島崎城」『水見春秋』第30号
- 160 水見市教育委員会・富山大学考古学研究室 1994 「水見市縄文文化財分布調査報告書Ⅰ」水見市縄文文化財調査報告書第16冊
- 161 水見市教育委員会 1994 「水見バイパス開通遺跡調査報告書Ⅱ 阿尾沼地A遺跡」水見市縄文文化財調査報告書第18冊
- 162 水見市立博物館 1994 「特別展 遺書の水見町と住民の暮らし」水見市近世史料集第15冊
- 163 水見市立博物館 1994 「特別展 古墳時代の須恵器」
- 164 吉岡康樹 1994 「中尾須恵器の研究」吉川弘文館
- 165 水見市教育委員会・富山大学考古学研究室 1995 「水見市縄文文化財分布調査報告書Ⅱ」水見市縄文文化財調査報告書第17冊
- 166 水見市教育委員会 1995 「朝日貝塚 一一般調査160号試掘調査概要(1)一」水見市縄文文化財調査報告書第19冊
- 167 佐竹哲也 1995 「水見市内の城郭(2) 荒山城址」『水見春秋』第31号
- 168 水見市教育委員会・富山大学考古学研究室 1996 「水見市縄文文化財分布調査報告書Ⅲ」水見市縄文文化財調査報告書第20冊
- 169 水見市教育委員会 1996 「朝日貝塚Ⅱ 一特別調査試掘調査概要(2)一」水見市縄文文化財調査報告書第21冊

- 170 水見市教育委員会 1996 『水見ハイパス探検調査報告書』 阿尾島山遺跡 阿尾島山遺跡 阿尾島山遺跡 水見市埋蔵文化財調査報告書第22冊
- 171 佐伯哲也 1996 『水見市内の城郭(3)石場山城址』 『水見春秋』 第31号
- 172 水見市立博物館 1996 『特別展 縄文の折り』
- 173 大浦城一 1997 『小竹の摩訶山』 『水見春秋』 第35号
- 174 熊無川史行委員会 1997 『熊無川史』
- 175 藤本正春 1997 『富山県の考古学』 文叢と年表
- 176 水見市教育委員会 富山大学考古学研究室 1997 『水見市埋蔵文化財分布調査報告書Ⅳ』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第23冊』
- 177 水見市教育委員会 1997 『朝日貝塚Ⅲ—一編制確認調査概要(3)—』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第24冊』
- 178 北陸中世十部研究会 1997 『中・五世の北陸—考古学が語る歴史—』
- 179 大野 究 1998 『イオノヤマ3号墳』 『水見市立博物館年報』 第16号
- 180 大野 究 1998 『上田寺行田山古墳の資料』 『大塚』 第19号
- 181 橋本卓彦 1998 『水見市大塚遺跡・朝日貝塚の調査記録写真からわかること』 『埋文とやま』 第61号 富山県埋蔵文化財センター所報
- 182 林寺隆雄 1998 『上田寺3号墳』 『水見春秋』 第38号
- 183 水見市教育委員会 富山大学考古学研究室 1998 『水見市埋蔵文化財分布調査報告書Ⅴ』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第25冊』
- 184 水見市教育委員会 2000 『朝日貝塚—一七軒町地区魚群集積地遺跡防止工事に先立つ発掘調査—』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第26冊』
- 185 水見市立博物館 1998 『特別展 おおによし・しなごさる 一平城京から越中へ—』
- 186 大野 究 1999 『惣領遺跡の出土遺物』 『水見市立博物館年報』 第17号
- 187 大野 究 1999 『調査概要報告 日名川1号墳』 『水見市立博物館年報』 第17号
- 188 富山考古学会 1999 『富山平野の出現期古墳』 富山考古学会創立50周年記念シンポジウム発表要旨・資料集
- 189 水見市 1999 『水見市史』 9 資料編七 自然環境
- 190 水見市教育委員会・富山大学考古学研究室 1999 『水見市埋蔵文化財分布調査報告書Ⅵ』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第27冊』
- 191 水見市立博物館 1999 『特別展 戦国・水見—一人たちの足跡—』
- 192 大野 究 2000 『前期前子の大塚前方後方墳—一富山県南尾山古墳—』 『季刊 考古学』 第70号
- 193 唐川明史 2000 『柳田布尾山古墳埋蔵品整理記』 『大塚』 第20・21号 創立50周年記念合併号
- 194 久々忠実 2000 『柳田布尾山古墳について思うこと』 『大塚』 第20・21号 創立50周年記念合併号
- 195 多賀全孝 2000 『柳田布尾山古墳の調査調査に参加して』 『大塚』 第20・21号 創立50周年記念合併号
- 196 西野眞樹 2000 『柳田布尾山古墳の発見と調査』 『大塚』 第20・21号 創立50周年記念合併号
- 197 水見市教育委員会・富山大学考古学研究室 2000 『水見市埋蔵文化財分布調査報告書Ⅶ』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第28冊』
- 198 水見市教育委員会 2000 『柳田布尾山古墳 報告2』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第29冊』
- 199 水見市教育委員会 2000 『森宮塚跡—一武部遺跡の調査—』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第30冊』
- 200 水見市教育委員会 2000 『藤方谷内谷中世墓Ⅰ』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第31冊』
- 201 北陸中世考古学研究会 2000 『中北陸の石塔・石仏』
- 202 藤本 肇 2001 『日本における胸穴遺跡研究』 『兼大大学・愛知学院大学講義録』 発行者誌談話会
- 203 水見市教育委員会 2001 『水見の山城』 郷土課本第14集
- 204 水見市教育委員会 2001 『水見市埋蔵文化財分布調査報告書(丘陵地区)Ⅰ』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第32冊』
- 205 水見市教育委員会 2001 『柳田布尾山古墳 第3次調査の成果』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第33冊』
- 206 水見市教育委員会 2001 『新保南遺跡—中山間地域総合整備事業に伴う試掘調査成果—』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第34冊』
- 207 深井英三・米原 寛監修 2001 『富山新保開国35年記念出版—ふるさと歴史展—』 富山新聞社
- 208 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所 2002 『能越自動車道埋蔵文化財包蔵地調査報告書Ⅵ—NEJ-13・NEJ-14・NEJ-20・NEJ-21・中尾坊前遺跡、中尾新保内田土の鉄鏡形土器—』 『富山県文化振興財団埋蔵文化財包蔵地調査報告書第16集』
- 209 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所 2002 『埋蔵文化財調査概要—平成14年度—』
- 210 富山県教育委員会 2002 『フォーラム 古代中国の仏教と瓦生土』 第3号 『奈良時代の富山を語る』 フォーラム資料
- 211 富山大学人文科学部考古学専攻 2002 『阿尾島山1号墳—一第一次・第二次発掘調査報告書—』
- 212 水見市 2002 『水見市史』 7 資料編五 考古学
- 213 水見市教育委員会 2002 『水見市埋蔵文化財分布調査報告書(丘陵地区)Ⅱ』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第35冊』
- 214 水見市教育委員会 2002 『水見市埋蔵文化財分布調査報告書(丘陵地区)Ⅲ 別冊・阿尾島山1号墳』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第35冊』
- 215 水見市教育委員会 2002 『朝日山遺跡 都市計画公開朝日公開整備事業に伴う試掘調査概要』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第36冊』
- 216 水見市立博物館 2002 『特別展 コシの扉開—古墳時代の武器・武具—』
- 217 水見市立博物館 2002 『特別展 大塚遺跡をさぐる』
- 218 廣瀬山崎 2002 『水見の宝篋印輪相輪杯石塔史』 『水見市立博物館年報』 第20号
- 219 大正正之・林寺隆雄 2003 『柳田布尾山遺跡土器採取品調査報告書—水見市立博物館年報—』 第21号
- 220 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所 2003 『能越自動車道埋蔵文化財包蔵地調査報告書—NEJ-15(惣領野原遺跡)、NEJ-16(惣領遺跡之前遺跡)、NEJ-17・NEJ-18・正保寺遺跡・栗原A遺跡、中谷内遺跡、中尾塚穴墓群、中尾茅刀遺跡—』 『富山県文化振興財団埋蔵文化財包蔵地調査報告書第20集』
- 221 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所 2003 『埋蔵文化財調査概要—平成14年度—』
- 222 水見市教育委員会 2003 『別冊 水見の歴史・民俗』 第十版本第15集
- 223 水見市教育委員会 2003 『新保南遺跡—中山間地域総合整備事業に伴う発掘調査報告書—』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第37冊』
- 224 水見市教育委員会 2003 『能久岡遺跡』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第38冊』
- 225 水見市教育委員会 2003 『埋蔵文化財調査報告書(丘陵地区)Ⅳ』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第39冊』
- 226 戸部隆雄・藤本卓彦 2003 『富山県の経緯』 富山大学考古学研究室論叢 筑紫稿 一秋山道平先生古墳記念—』
- 227 富山大学人文科学部考古学専攻 2003 『阿尾島山1号墳—第一次発掘調査報告書—』
- 228 菅山 晃 2004 『古墳時代中期末—後期の土器群について—一水見市中谷内遺跡出土の土師器、須恵器についての資料紹介—』 『富山考古学研究』 紀要 第7号
- 229 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所 2004 『能越自動車道埋蔵文化財包蔵地調査報告書—NEJ-19(久津川中尾遺跡)、飯塚谷内谷中墳群、飯塚谷内谷中墳群—』 『富山県文化振興財団埋蔵文化財包蔵地調査報告書第23集』
- 230 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所 2004 『埋蔵文化財調査概要—平成15年度—』
- 231 杉山大吉 2004 『北陸の中尾銅鉄製品について—越中の鉄鏡を中心に—』 『富山考古学研究』 紀要 第7号 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所
- 232 鈴木卓彦 2004 『縄玉製人珠(ヒスイ人珠)』 『季刊 考古学』 第89号
- 233 高橋浩二・黒崎武 2004 『水見市阿尾島山1号墳の調査と能越地方の古墳』 『日本考古学協会第70回総会研究発表要旨』
- 234 富山市教育委員会 2004 『フォーラム 奈良時代の富山を語る』 『フォーラム』 第3号
- 235 中野由紀子 2004 『中谷内遺跡出土の緑色炭灰片について—C3地区出土資料の紹介—』 『富山考古学研究』 紀要 第7号 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所
- 244 水見市教育委員会 2004 『水見市埋蔵文化財分布調査報告書(丘陵地区)Ⅴ』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第40冊』

- 245 水見市立博物館 2004 『特別展 とる・たべる・いのち 一縄文人の生活誌一』
- 246 京都直野 2004 『新採野路遺跡調査報告書』【水見市立博物館】第23号
- 247 細川真直 2004 『中谷内遺跡出土の炭灰炭灰』【富山考古学研究所】紀要 第7号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 248 宮田直一 2004 『水見市西谷本フルヤチ遺跡出土の一人居屋出土鏡』【水見市縄文文化財調査報告書】(丘陵地区)Ⅳ 水見市縄文文化財調査報告書第3号
- 249 藤原佐哉 2004 『西谷本フルヤチ遺跡の検骨について』【水見市縄文文化財分審調査報告書(丘陵地区)Ⅳ】
- 250 森田利雄 2004 『惣瀬浦之遺跡跡出土の出土文字資料』【富山考古学研究所】紀要 第7号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 251 石川ゆづり 2005 『「久津川中谷遺跡出土の炭灰炭灰本製鏡」』【富山考古学研究所】紀要 第8号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 252 石川ゆづり 2005 『弥生時代中期～古墳時代前期におけるの木製容器 一小型容器 一 割物桶を中心に』【富山考古学研究所】紀要 第8号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 253 泉 美穂 2005 『中尾新採野路遺跡出土の土皿について』【富山考古学研究所】紀要 第8号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 254 内田孝紀 2005 『上久津田中尾遺跡出土の縄文時代遺物』【富山考古学研究所】紀要 第8号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 255 大野 亨 2005 『布勢水海をめぐる古時代』【海・湖・川をめぐる日本文化Ⅱ】日本海文化研究所公開講座平成16年度記録集 富山県日本海文化研究所
- 256 小島俊彰 2005 『バスケット型土器と三ツ山製陶機状把手』【大地】第25号 淡 辰生造印
- 257 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所 2005 『能越自動車道周辺縄文文化財包蔵地調査報告書 一中尾新採野路文化財包蔵地』N-EJ-22 (大野中尾跡)・N-EJ-23 (七分・室口遺跡)・N-EJ-24 (加納谷内遺跡)・N-EJ-25 (橋樑天塚遺跡)・N-EJ-27 (穴渡遺跡) 富山県文化財調査事務所
- 258 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所 2005 『縄文文化財調査概要 一平成16年度一』
- 259 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所 2005 『大尾谷発掘調査の進展Ⅱ 古代のかみ刀りび』
- 260 富山県考古学研究所 2005 『阿尾島A2号墳 一第1次発掘調査報告書一』
- 261 富山大学 2005 『古墳時代後期の炭灰炭灰について』【富山考古学研究所】紀要 第8号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 262 林 正寿 2005 『大地製造技術 朝日貝について』【大地】第25号 淡 辰生造印
- 263 根本明孝 2005 『北陸地方出土の青濁石製品』【富山考古学研究所】紀要 第8号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 264 水見市教育委員会 2005 『龍川中谷遺跡 報用バイパス遺跡発掘調査報告Ⅱ』水見市縄文文化財調査報告書第11号
- 265 水見市教育委員会 2005 『千久見城跡』水見市縄文文化財調査報告書第42号
- 266 水見市教育委員会 2005 『水見市縄文文化財分審調査報告(丘陵地区)Ⅴ』水見市縄文文化財調査報告書第43号
- 267 水見市教育委員会 2005 『水見市縄文文化財分審調査報告(丘陵地区)Ⅵ』水見市縄文文化財調査報告書第44号
- 268 水見市立博物館 2005 『特別展 水辺の人びと 一布勢水海の歴史をさぐる一』
- 269 藤原直樹 2005 『新採野路遺跡出土遺物の紹介』【水見市立博物館年報】第23号
- 270 藤原直樹 2005 『龍川D遺跡の丸木舟 一出土丸木舟に残る加工痕・使用痕への試論一』船をつくる、つたえる 和船建造技術を後世に伝える会調査報告書
- 271 福野町教育委員会・富山考古学会 2005 『ふくおか遺跡文化フォーラム「ふくおかの縄文時代を考える」資料集』
- 272 宮田直一 2005 『中谷内遺跡出土の弥生時代石製品Ⅱ』【富山考古学研究所】紀要 第8号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 273 岡田進一 2005 『高岡市史発掘の強行』【上田研究】第2号
- 274 湯川城岡町史学委員会 2005 『地域づくりのふるさと活性化イベント 湯川城岡町物語2005』
- 275 小谷 越 2006 『仏生寺地区の歴史』【仏生寺】仏生寺小学校130周年記念誌
- 276 小谷 越 2006 『水見市仏生寺地区の歴史』【水見市博物館年報】第24号
- 277 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所 2006 『能越自動車道周辺縄文文化財包蔵地調査報告書 一大野中尾跡・橋樑天塚遺跡・N-EJ-26 (橋樑オヤナ遺跡)・N-EJ-28 (橋樑天塚遺跡)一』富山県文化振興財団縄文文化財包蔵地調査報告書第32集
- 278 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所 2006 『平成17年度 縄文文化財年報』
- 279 水見市立博物館 2006 『縄文文化財調査報告書』【平成17年度 発掘調査報告一】
- 280 佐伯哲也 2006 『森守城跡の構造と読み取る改修年代について』【水見春秋】第53号
- 281 新宅 西 2006 『上久津田中尾遺跡の井戸掘削報告』【富山考古学研究所】紀要 第9号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 282 杉山大吾 2006 『北陸の弥生後期～古墳中期の原野、ヤリ類の分布』【富山考古学研究所】紀要 第9号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 283 富山県縄文文化センター 2006 『富山県中尾城跡発掘調査報告書』
- 284 富山大学文学部考古学研究室 2006 『阿尾島A2号墳 一第2次発掘調査報告書一』
- 285 富山大学文学部 2006 『立山と越中の山岳信仰を考古学する』富山大学地域連携プロジェクト 富山大学文学部日本海総合研究プロジェクト平成17年度公開研究報告
- 286 富山大学文学部 2006 『平成17年度 富山大学文学部公開研究会 北陸の古墳編年の再検討』
- 287 中村亮仁 2006 『大野中尾跡A地区における古代の上層構造について』【富山考古学研究所】紀要 第9号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 288 水見市 2006 『水見市史』Ⅰ 通史編・古代・中世・近世
- 289 水見市教育委員会 2006 『龍川D遺跡 報用バイパス遺跡発掘調査報告Ⅱ』水見市縄文文化財調査報告書第44号
- 290 水見市教育委員会 2006 『龍川B遺跡 報用バイパス遺跡発掘調査報告Ⅱ』水見市縄文文化財調査報告書第45号
- 291 水見市教育委員会 2006 『正保寺遺跡 能越自動車道建設に伴う発掘調査報告Ⅱ』水見市縄文文化財調査報告書第46号
- 292 水見市教育委員会 2006 『聖原A遺跡 能越自動車道建設に伴う発掘調査報告Ⅱ』水見市縄文文化財調査報告書第47号
- 293 水見市教育委員会 2006 『水見市縄文文化財分審調査報告(丘陵地区)Ⅵ』水見市縄文文化財調査報告書第48号
- 294 水見市立博物館 2006 『史跡柳田布石山遺跡発掘調査報告書』
- 295 水見市立博物館 2006 『特別展 口へ移住先 一能越平高付堰を模倣する街道一』
- 296 水見市立博物館 2006 『特別展 竹置山の謎にさぐる 一山城・寺院・板橋氏一』
- 297 広瀬和雄 2006 『水見市歴史センターの紹介』【水見市立博物館年報】第24号
- 298 藤原直樹 2006 『水見市町史の石造物』水見市立博物館年報 第24号
- 299 藤原直樹 2006 『大野中尾跡A地区における古代の上層構造について』【富山考古学研究所】紀要 第9号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 300 町田賢一 2006 『下老子里川遺跡の「大地式土器」』『歴史と文化』vol.95 富山県縄文文化センター
- 301 町田賢一・杉山大吾 2006 『北陸地方における貝塚のあり方』【富山考古学研究所】紀要 第9号 財団法人富山県文化振興財団 縄文文化財調査事務所
- 302 水見市 2007 『水見市史』Ⅱ 資料編Ⅷ 文化遺産
- 303 水見市教育委員会 2007 『大塚エニヤマ下遺跡遺跡 大塚地区急傾斜地崩壊対策事業調査報告書』水見市縄文文化財調査報告書第49号
- 304 水見市教育委員会 2007 『水見市遺跡地図【第3版】』水見市縄文文化財調査報告書第50号

(平成19年1月31日現在)

■水見市遺跡地図文献目録補遺

前頁までの「水見市遺跡地図文献目録」には、「水見市遺跡地図 [第3版] (初版) を編集していた平成19年1月31日までの情報を記載している。そのため、本頁では「水見市遺跡地図文献目録」の補遺として、平成19年2月以降、平成20年6月30日までに発表・刊行された文献および、程度で記載が漏れていた文献のリストを掲載した。なお記載は年代順とし、文献Noは「水見市遺跡地図文献目録」のNoに続くものとする。

- 305 富山県水見郡役所 1909 『水見郡志』
 306 富山県農会 1921 『富山縣水見郡 女良村是調査書』
 307 嶋尾正一 1936 『郷土史料』
 308 富山県水見郡布勢尋常高等小学校編 1936 『富山縣水見郡 布勢村史』
 309 富山県水見郡阿尾尋常小学校 1937 『阿尾郷土讀本』
 310 兒島尚文 1951 『水見三郷志』
 311 橋本芳雄 1954 『上 関根区域の地誌 第1章 上川谷農村史の大要』 『歴史学上川谷沿岸水補給事業 事業誌』 富山県農地部地誌課
 312 越中史話会 1956 『越中史話』
 313 水見市文化財保存会 1956 『水見の文化財』
 314 児島尚文 1958 『余川村史特集』
 315 櫻村琢磨審判委員会 1959 『櫻村のあゆみ』
 316 水見市文化財保存会 1960 『阿尾の城跡』
 317 水見市文化財保存会 1961 『青島』
 318 嶋尾正一 1963 『濁池入道 その城と館、ありそのめぐり同好会』
 319 富山県教育委員会 1966 『富山県の文化財 財指附編』
 320 富山県教育委員会 1967 『富山県の文化財 財指附編 追加票指定編』
 321 橋本芳雄 1970 『十二町海跡誌』 『歴史学十二町沿岸水補給事業 事業誌』 富山県農地部地誌課
 322 次木武藏 1977 『稲田百町史』
 323 水見市企画調整部企画課 1978 『水見のいまむかし』 水見市役所
 324 鶴本芳雄 1982 『新石村ゆ史』 『かみよかわ 上余川小学校創立百周年統合十五周年記念誌編集委員会編 水見市立上余川小学校 阿尾地区高念寺生かきかき活動推進協議会』 1983 『阿尾伝承誌』 水見農林改良普及所
 325 久日村史編纂委員会 1990 『久日村史』
 326 山崎存松 1991 『春斗城雄鑑』
 328 十三中学校生徒指導連絡協議会 1992 『郷土を知らう』
 329 水見郡校長会編 1992 『水見郡郷土誌』 復刊版 水見市教育研究所
 330 埼玉県立博物館 1993 『隠る光影 関東の出土金銅仏』
 331 十三地区郷土文化再発見活動実行委員会 1993 『十三地区の地名』 水見市十三公民館
 332 宮田史編さん委員会 1995 『宮田村史』 宮田校自治会連絡協議会
 333 十三地区郷土文化再発見活動実行委員会 1997 『十三地区の石造物』 水見市十三公民館
 334 坂下 富 1998 『古太刀も出でし城ヶ崎の遙かいわれにはぐまれ』 小久米小学校歌碑建設委員会
 335 藤田七夫 1998 『朝日長古墳の墳丘規模について』 『富山県考古資料情報』 No.33
 336 十三地区郷土文化再発見活動実行委員会 1999 『十三地区の伝承』 水見市十三公民館
 337 水見市立明和小学校 2002 『上川川中流地域の歴史と文化遺産』
 338 久保尚文 2003 『小林家文書館の久保保城跡跡由新考』 『水見春秋』 第47号
 339 西井高徳 2003 『女の遺跡』 『水見春秋』 第47号
 340 寺岡 浩 2003 『長坂岡の戦い』 『水見春秋』 第47号
 341 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所 2007 『能越自動車道関越埋蔵文化財包蔵地調査報告書 加納谷内遺跡跡地、福新オオヤチ古墳群、宇波古墳群』 富山県文化振興財団埋蔵文化財発掘調査報告書第36集
 342 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所 2007 『平成18年度 埋蔵文化財年報』
 343 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所 2007 『よやま発掘より一 平成18年度 発掘調査速報一』
 344 佐伯哲也 2007 『福新から読み取る海老蔵城の歴史について』 『水見春秋』 第55号
 345 第1回全国山城等石垣整備調査研究会実行委員会事務局 2007 『第4回全国山城等石垣整備調査研究会資料集』
 346 第1回全国山城等石垣整備調査研究会大会実行委員会事務局 2007 『第1回全国山城等石垣整備調査研究会資料集』
 347 高橋浩二 2007 『富山の古墳 一水見、雨晴の首長と日本海一』 日本海学研究会叢書 富山県、日本海学推進機構
 348 富山大学人文学部考古学研究室 2007 『阿尾高田古墳群の研究 一日本海中部沿岸域における古墳出現過程の新研究一』
 349 富山大学人文学部考古学研究室 2007 『福新オオヤチ古墳群 一第1次調査報告書一』
 350 中村亮二 2007 『加納谷内遺跡から出土した権定遺体』 『富山考古学』 紀要 第10号 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所
 351 西川麻洋 2007 『甲賀講義古墳の出現背景 一加納南9号墳の扉石に向けて一』 『富山考古学』 紀要 第10号 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所
 352 水見市立博物館 2007 『特別展 地蔵・地すべり・火事・洪水 一災害にまなぶ水見一』
 353 廣瀬高徳 2007 『大塚エニヤマ下洞窟跡出土のへら状貝製土』 『水見市立博物館年報』 第25号
 354 廣瀬高徳 2007 『加納D遺跡出土の赤木角に関する意見書』 『水見市立博物館年報』 第25号
 355 野田賢一 2007 『種・北陸地方における貝塚のあり方 一青角群について一』 『富山考古学』 紀要 第10号 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所
 356 若手県立博物館 2008 『若手県立博物館収蔵資料目録』 第20版 考古館 小田島コレクション2次 その1 考古資料編 財団法人若手県文化振興事業団
 357 大野 究 2008 『中世水見について』 『水見市立博物館年報』 第26号
 358 佐伯哲也 2008 『縄張りから読み取る中川城の歴史について』 『水見春秋』 第57号
 359 全国史跡整備市町村協議会事務局 2008 『全国史跡整備市町村協議会年報 (平成19年度版)』
 360 富山近代史研究会歴史散歩部会 2008 『富山県の歴史散歩』 歴史散歩16 山川出版社
 361 富山大学人文学部考古学研究室 2008 『福新オオヤチ古墳群 一第2次調査報告書一』
 362 橋本正春 2008 『富山県経歴関係考古資料』 『若々の考古』 和田晴吾先生追悼記念論集刊行会
 363 水見市教育委員会 2008 『四指定史跡 大塚洞窟住居跡 保全整備事業報告書』
 364 水見市教育委員会 2008 『水見市遺跡地図 [第3版] [改訂版]』 『水見市埋蔵文化財調査報告書第31冊』
 365 廣瀬高徳 2008 『福新城ヶ崎古墳群調査調査書 試掘調査について 一1号墳の調査調査の成果と堀切遺構の検出一』 『水見市立博物館年報』 第26号
 366 三注利一 2008 『第9章 自然化学分析 (4) 埋蔵品の元素X線分析』 『坂谷谷内B・C古墳群・雲雀遺跡発掘調査報告書 一能越自動車道建設に伴う埋蔵文化財発掘報告書一』 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所
 367 船舶建造技術を後継に伝える会 2008 『水見の船舶 船舶建造技術を後継に伝える会調査報告書』
 368 財団法人富山県文化振興財団 埋蔵文化財調査事務所 2008 『平成19年度 埋蔵文化財年報』

■水見市教育委員会刊行文化財関連報告書・刊行物一覧

水見市埋蔵文化財調査報告

No	書名	発行年月	備考	文献No
1	『富山県水見市朝日長山古墳調査報告書』	1973.3		68
2	『富山県水見市九殿製塩遺跡調査報告書』	1975.3		70
3	『富山県水見市堀田大久前遺跡発掘調査概報』	1980.3		81
4	『富山県水見市鞍川金谷包含地、一の森包含地調査概報』	1980.10		82
5	『富山県水見市長坂坂貫遺跡発掘調査報告』	1982.3		89
6	『富山県水見市小久米古墳群・小久米A遺跡発掘調査報告書』	1984.3		95
7	『富山県水見市小久米A遺跡発掘調査報告書』	1985.3		102
8	『富山県水見市飯田薬師中世墓発掘調査報告書』	1985.3	発行は富山県砂防課と連名	103
9	『富山県堀田西谷内遺跡発掘調査報告書』	1988.3		117
10	『協方橋六群 一般国道160号瀬前トンネル拡張工事に先立つ埋蔵文化財発掘調査』	1989.6		126
11	『一般国道160号水見バイパス埋蔵文化財発掘調査報告Ⅰ』	1990.3		131
12	『一般国道160号水見バイパス埋蔵文化財発掘調査報告Ⅱ』	1991.3		135
13	『水見バイパス関連遺跡調査報告Ⅰ 山崎城跡 阿尾瀨戸ヶ谷内横穴群』	1992.3		137
14	『水見市遺跡地図 [第2版]』	1993.3		149
15	『水見バイパス関連遺跡調査報告Ⅱ 阿尾島尾A遺跡概報』	1993.3		150
16	『水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅰ』	1994.3	富山大学考古学研究室と共編	160
17	『水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅱ』	1995.3	富山大学考古学研究室と共編	161
18	『水見バイパス関連遺跡調査報告Ⅲ 阿尾島尾A遺跡』	1994.3		165
19	『朝日貝塚Ⅰ 一総阿尾島尾発掘調査概要(1)』	1995.3		166
20	『水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅱ』	1996.3	富山大学考古学研究室と共編	168
21	『朝日貝塚Ⅱ 一総阿尾島尾発掘調査概要(2)』	1996.3		169
22	『水見バイパス関連遺跡調査報告Ⅳ 阿尾島尾A遺跡 阿尾島尾山背跡Ⅰ』	1996.3		170
23	『水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅳ』	1997.3	富山大学考古学研究室と共編	176
24	『朝日貝塚Ⅲ 一総阿尾島尾発掘調査概要(3)』	1997.3		177
25	『水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅴ』	1998.3	富山大学考古学研究室と共編	183
26	『朝日山城跡 一七軒町地区急傾斜地崩壊防止工事に先立つ発掘調査』	1998.3		184
27	『水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅵ』	1999.3	富山大学考古学研究室と共編	190
28	『水見市埋蔵文化財分布調査報告Ⅶ』	2000.3	富山大学考古学研究室と共編	197
29	『堀田布尾山古墳 第1次・第2次発掘調査の成果』	2000.3		198
30	『森守城跡 一試掘調査の概要』	2000.3		199
31	『協方谷内出中世墓』	2000.5		200
32	『水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区Ⅰ)』	2001.3		204
33	『堀田布尾山古墳 第3次調査の成果』	2001.3		205
34	『新保南遺跡 中山間地域総合整備事業に伴う試掘調査概報』	2001.3		206
35	『水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区Ⅱ)』 [別冊・阿尾島尾A1号墳]	2002.3		213 214
36	『朝日大山遺跡 都市計画公園朝日山公園整備事業に伴う試掘調査概要』	2002.3		215
37	『新保南遺跡 中山間地域総合整備事業に伴う発掘調査報告書』	2003.2		223
38	『飯久保城跡』	2003.3		224
39	『水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区Ⅲ)』	2003.3		225
40	『水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区Ⅳ)』	2004.3		244
41	『鞍川中A遺跡 鞍川バイパス遺跡群発掘調査報告Ⅰ』	2005.2		264
42	『千久思城跡』	2005.3		265
43	『水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区Ⅴ)』	2005.3		266
44	『鞍川D遺跡 鞍川バイパス遺跡群発掘調査報告Ⅱ』	2006.3		289
45	『鞍川中B遺跡 鞍川バイパス遺跡群発掘調査報告Ⅲ』	2006.3		290
46	『正保寺遺跡 能越自動車道建設に伴う発掘調査報告Ⅰ』	2006.3		291
47	『乗原A遺跡 能越自動車道建設に伴う発掘調査報告Ⅱ』	2006.3		292
48	『水見市埋蔵文化財分布調査報告(丘陵地区Ⅵ)』	2006.3		293
49	『大境エンニヤマ下洞窟遺跡 大境地区急傾斜地崩壊対策事業関連発掘調査報告』	2007.3		303
50	『水見市遺跡地図 [第3版]』	2007.3		304
51	『水見市遺跡地図 [第3版]【改訂版】』	2008.7	本書	364

その他、埋蔵文化財関連報告書・刊行物

番	書名	発行年月	備考	文献No
1	『水見市遺跡地図 埋蔵文化財包蔵地所在地図』	1983.3	水見市立博物館と共編	92
2	『富山県石動山背仰遺跡発掘調査報告書』	1984.3		96
3	『八代仙ダム建設計画に係る文化財調査概報 一地形地質・生物・埋蔵文化財』	1986.12	八代仙ダム建設計画に係る文化財調査団と共編	108
4	『国指定史跡石動山文化財調査報告書 一八代仙ダム建設計画関連』	1989.3		125
5	『国指定史跡阿尾城跡文化財調査中間報告』	1993.3		151
6	『史跡堀田布尾山古墳群発掘調査報告書』	2006.3		294
7	『国指定史跡 大境洞窟住居跡 保全整備事業報告書』	2008.3		363

郷土読本

No	書名	発行年月	備考	文献No
1	「水見の自然と歴史」	1974.1		
2	「水見の先賢 第一集」	1976.1	第二集以降は未刊	
3	「水見の文化財」	1978.1		75
4	「水見の民話」	1980.1		
5	「水見の伝説」	1982.1		
6	「水見の祭り」と獅子舞 「水見市内獅子舞調査一覧表 一水見の祭り」と獅子舞別冊一」	1984.1	別冊として「水見市内獅子舞調査一覧表」を併行	
7	「水見の語り」	1986.1	「水見の伝説」の姉妹編	
8	「水見の万葉と郷土文学」	1988.3		
9	「水見の民俗」	1991.1		
10	「水見の指定文化財ハンドブック」	1993.1		152
11	「水見のうた」	1995.1		
12	「水見のきかな」	1997.1		
13	「水見の巨樹名木」	1999.1		
14	「水見の山城」	2001.1		203
15	「国説 水見の歴史・民俗」	2003.1		222
16	「水見のことば」	2005.1		

文化財関連報告書・刊行物

書名	発行年月	備考	文献No
「水見の文化財」	1966.2	水見市文化財保存会編	313
「大塚河原遺跡と朝日貝塚」	1957.3	水見市文化財保存会編	45
「鮎が淵の生物」	1958.6	水見市文化財保存会編	
「阿尾の城跡」	1960.3	水見市文化財保存会編	316
「水見万葉風土記」	1960.5	水見市文化財保存会編	
「唐島」	1961.3	水見市文化財保存会編	317
「大塚の銅貨遺跡 一その保護」	1972.3		67
「水見の文化財図録」	1972.3	市制 20 周年記念事業	
「十二町割のオニバス」	1972.12	田中誠一著	
「十二町割オニバス発生地緊急調査中間報告（昭和 47 年度）」	1973.3		
「十二町割オニバス発生地緊急調査報告（昭和 48 年度）」	1974.3		
「十二町割オニバス発生地調査中間報告書」	1983.3		
「十二町割オニバス発生地調査報告書」	1989.3		
「平成三、四年度 水見市神社調査報告書 浄土真宗本願寺派の部」	1993.3	水見市神社所蔵文化財調査委員会編	
「齋藤弥九郎関係資料調査目録」	1993.6		
「細島秋園紙資料調査目録」	1993.6		
「平成五、六年度 水見市神社調査報告書 真宗大谷派の部」	1995.3	水見市神社所蔵文化財調査委員会編	
「国指定天然記念物 イタセンプラ保護増進事業実績報告書」	1995.3		
「平成六、七年度 水見市神社調査報告書 臨濟宗国泰寺派・浄土宗・日蓮宗・高野山真言宗・曹洞宗の部」	1996.3	水見市神社所蔵文化財調査委員会編	
「仏生寺川におけるイタセンプラの生息状況に関する緊急調査報告書」	2000.3		
「龍崎自動車道建設事業に先立つ種代川イタセンプラ生息環境調査報告書」	2001.3		
「平成八～十二年度 水見市神社調査報告書」	2002.3		
「斎藤家書簡資料目録」	2003.3		
「水見のイタセンプラ 平成 12～14 年度 仏生寺川イタセンプラ生息環境調査報告書」	2003.3		
「イタセンプラ天然記念物再生事業報告書Ⅰ」	2005.3		
「イタセンプラ天然記念物再生事業報告書Ⅱ」	2006.3		
「イタセンプラ天然記念物再生事業報告書Ⅲ」	2008.3		

■水見市関連自治体史一覧

書名	発行年月	備考	文献No
「水見郡志」	1909.9	富山県水見郡役所刊	305
「水見市史」	1963.4	水見市史編修委員会編	54
「水見教育百年史」	1972.3	水見教育百年史編集委員会編	
「水見百年史」	1972.8	水見百年史編修委員会編	
「水見のいまむかし」	1978.2	水見市企画調整部企画課編	323
「水見社会教育のあゆみ」	1994.3	水見市教育委員会編	
「水見市史」1 通史編一 古代・中世・近世	2006.3	水見市史編さん委員会編	
「水見市史」2 通史編二 近・現代	2006.3	水見市史編さん委員会編	
「水見市史」3 資料編一 古代・中世・近世（一）	1998.1	水見市史編さん委員会編	288
「水見市史」4 資料編二 近世（二）	2003.3	水見市史編さん委員会編	
「水見市史」4 資料編二 近世（二） 別冊 聖令要略	2003.3	水見市史編さん委員会編	
「水見市史」5 資料編三 近・現代	2003.9	水見市史編さん委員会編	
「水見市史」6 資料編四 民俗・神社・寺院	2000.7	水見市史編さん委員会編	
「水見市史」7 資料編五 考古	2002.1	水見市史編さん委員会編	212
「水見市史」8 資料編六 絵図・地図	2004.7	水見市史編さん委員会編	
「水見市史」9 資料編七 自然環境	1999.3	水見市史編さん委員会編	189
「水見市史」10 資料編八 文化遺産	2007.1	水見市史編さん委員会編	302
「水見市史」別巻 統計	2007.3	水見市史編さん委員会編	
「水見市史研究」創刊号	2003.3	水見市史編さん室編	
「水見市史研究」第2号	2003.11	水見市史編さん室編	

※新版「水見市史」は刊行順ではなく、巻次順に記載した。

■氷見市内指定文化財等一覧

国指定 (8件)

番号	種別	名称	所在地	指定年月日	
1	考古資料	徳生製大珠	こぎきよせたいしゆ	個人蔵	昭和48年6月16日
2	史跡	朝日貝塚	あさひがひつが	朝日丘公園25号(復設寺)	大正11年3月18日
3	史跡	大黒屋住居跡	おびきかづら	大黒屋跡 外	大正11年3月18日
4	史跡	柳田布屋山古墳	やないだぬのおやまこふん	柳田字山古墳34番 外	平成13年1月29日
5	天然記念物	十二町御オニバス発見地	じゅうにちようおたおたばすはつせいち	十二町字御4322番地 外	平成12年3月29日
6	天然記念物	上寺のイチョウ	じょうにちじのいちよう	朝日本町1番6号(上寺等)	大正15年10月20日
7	天然記念物	飯久保の黒楓	いっけのひょうたんしんし	飯久保字野 外	昭和16年1月27日
8	天然記念物	イクセンバ	いたせんばら	地蔵を定めて (万尾川水系・仏生寺川水系)	昭和49年6月25日

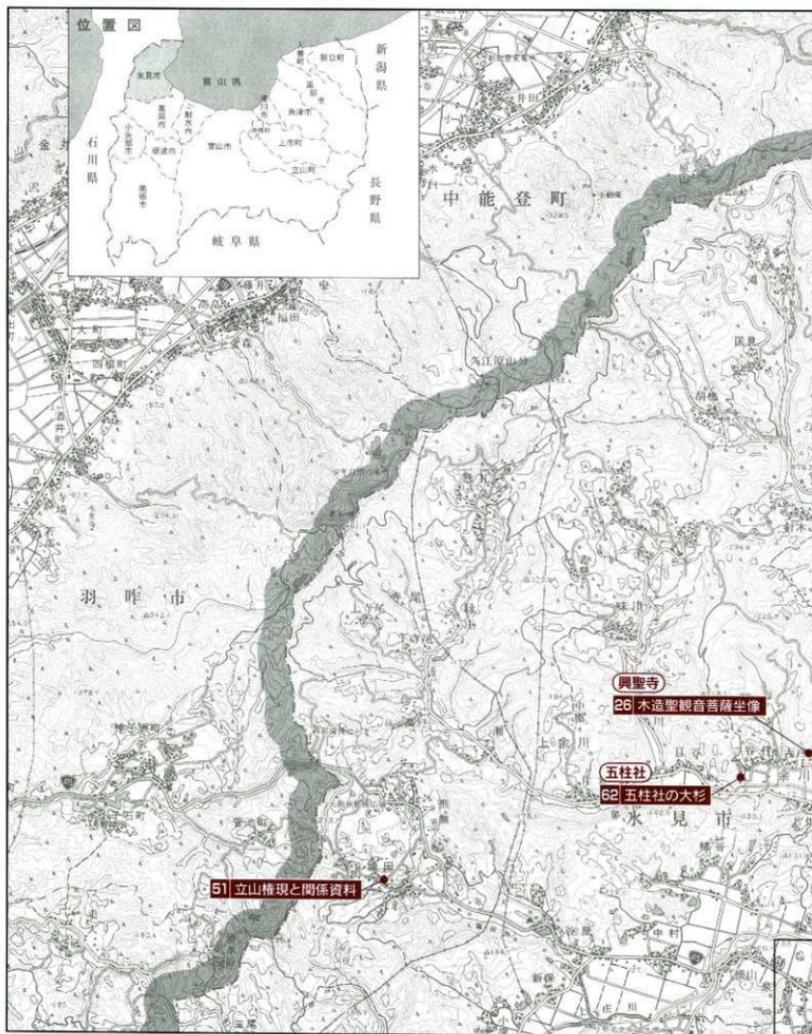
県指定 (12件)

番号	種別	名称	所在地	指定年月日	
9	建造物	道神社打殿 附棟札2枚	みちじんじやはいでん つけたりむなふだにまい	中田1499番地(道神社)	平成5年8月18日
10	彫刻	木造下千原世音菩薩立像	もくぞうせんじゆかんのせおんぼさつじりゅうぞう	幸町13番4号(千手寺)	昭和45年12月19日
11	工芸品	太刀 銘「宇国光	たち めい うのくにみつ	個人蔵	昭和42年3月25日
12	史跡	阿尾城跡	あおじょうせき	阿尾字島尾302番地	昭和40年1月1日
13	名勝	瓦久寺の墓苑	こうきゅうじのきざい	飯久保2807番地(瓦久寺)	昭和40年1月1日
14	天然記念物	長谷の大いぬす	ながさきのおおいぬす	飯久保字南田588番地	昭和40年1月1日
15	天然記念物	朝日山	あさひやま	小坂字南田11番地(朝日神社)	昭和40年1月1日
16	天然記念物	長谷不動のつばき	ながさか不動のおおつばき	長谷字南田379番地	昭和40年1月1日
17	天然記念物	谷谷のつばき	おいたにのおおつばき	長谷129番地	昭和40年1月1日
18	天然記念物	駒つなぎ坂	こまつなぎざくら	中央原字100番地	昭和40年10月1日
19	天然記念物	消島	からしま	中央町303番地	昭和42年3月25日
20	名勝・天然記念物	龍が滝とその周辺	あぶがしまとそのしゅうへん	宍子浜888番地	昭和40年1月1日

市指定 (49件)

番号	種別	名称	所在地	指定年月日	
21	絵画	紺木善色前田家画像	けんぼんさくまいまへだんがえ	丸の内番35号(北澤寺)	昭和43年4月1日
22	絵画	紺木善色 海白道行	けんぼんさくやくしよにがひやくどうぎ	朝日本町4番13号(北照寺)	昭和50年7月10日
23	絵画	紺木善色 上日寺伽藍図	しほんちやくしよにちじがらんず	朝日本町16番8号(上日寺)	昭和51年6月1日
24	絵画	紺木善色駒形文殊菩薩像	けんぼんさくしよきしもんじゆぼさつがぞう	朝日本町16番8号(上日寺)	平成24年3月27日
25	彫刻	木造薬師座像	もくぞうくあんぜんじぞう	久月145番地(龍光寺)	昭和33年1月1日
26	彫刻	木造聖観音菩薩立像	もくぞうしよかんのぼさつざぞう	中央1590番地(興聖寺)	昭和33年10月1日
27	彫刻	中尾百山神社木造大日如来坐像	なかおはきんじんじやもくぞうだいにちじりょうぞう	島3053番地(白山神社)	昭和50年3月1日
28	彫刻	彫子(大日如来)板石塔婆	ぼんじ(だいにちじりょう)いたしとうば	角田(加久麻社)	平成元年3月30日
29	彫刻	木造日蓮上人坐像	もくぞうにっせんじゆにんざぞう	朝日本町4番23号(東乘寺)	平成2年3月17日
30	彫刻	木造地藏菩薩立像	もくぞうじぞうぼさつじりょうぞう	丸の内番35号(北澤寺)	平成2年3月17日
31	彫刻	木造延命地蔵菩薩坐像(餅焼地蔵)	もくぞうえんめいじぞうぼさつざぞう(もちやくじぞう)	朝日本町16番8号(上日寺)	平成2年3月28日
32	彫刻	木造阿陀羅如来立像	もくぞうあみだにやうりゅうぞう	中央町2番42号(円照寺)	平成2年2月1日
33	彫刻	木造十一面観音菩薩立像	もくぞうじゅういちめんかんのぼさつじりょうぞう	小坂3番地(大栄寺)	平成8年2月1日
34	彫刻	木造四空仏	もくぞうしんくうぶつ	小坂57番地(宏実寺)	平成8年2月1日
35	工芸品	蓮葉子の焼物	れんじょうじのほんしやう	朝日本町4番23番(東乘寺)	昭和54年12月1日
36	工芸品	白川大佛の開口	しらがわびんざんしやうのわにぐち	白川(白川八幡社 日笠)	昭和55年10月25日
37	工芸品	坪塩の宮内図	つばひのほしやういんどう	坪塩字西蔵25番地 外	昭和60年3月1日
38	工芸品	長谷神社の輪子	ながさかじんじよのししうら	長谷339番地(長谷神社)	昭和60年3月1日
39	工芸品	九柱井の鉄鑊遺董	いつはしらじやのてつせいかたがてま	本町1番9号(氷見市立博物館)	昭和60年3月1日
40	工芸品	金剛座阿陀羅觀音仏	こんどうくわくぞうぼさつかけほし	角田(加久麻社)	平成元年3月30日
41	工芸品	金剛座阿陀羅如来坐像	こんどうほうかんあみだにやうりょうぞう	個人蔵	平成2年3月27日
42	古文書	大康神明文書	おおくしんめいぶんしやう	本町1番9号(氷見市立博物館)	昭和53年10月1日
43	古文書	西寺寺守寄書遺状	さいねんじりょうしよかんじしやう	森寺1960番地(森寺 西寺)	昭和53年10月25日
44	古文書	西寺寺制	さいねんじせいしきつ	森寺1010番地(森寺 西寺)	昭和53年10月25日
45	古文書	西寺寺志	さいねんじしし	飯久保2807番地(赤毛 西寺)	昭和57年10月27日
46	古文書	蓮如御書	こうきやうじごんじしやう	朝日本町4番13号(北照寺)	昭和12年3月22日
47	考古資料	朝日長山古墳出土品	あさひながやまこふんしゆつひん	本町1番9号(氷見市立博物館)	昭和44年6月1日
48	考古資料	伝小栗原寺焼土磁石	でんおぐりはじりょうしんそせき	小久米(小久米神社)	平成元年3月30日
49	有形民俗文化財	上日寺の梵唄	じょうにちじのぼんしやう	朝日本町16番8号(上日寺)	昭和43年4月1日
50	有形民俗文化財	聖徳太子信仰関係資料	しやうたくだいしんこうかんけいしりょう	飯久保2807番地(光久寺)	平成元年3月30日
51	有形民俗文化財	立山権現と関係資料	たてやまごんげんとかんけいしりょう	滝田	平成元年3月30日
52	有形民俗文化財	馬の句碑	うまのくひ	朝日本町16番8号(上日寺)	平成3年3月28日
53	有形民俗文化財	長谷風前童謡の石仏群	ながさかわちくぜんさしんのせきぶつぐん	朝日本町16番8号(上日寺)	平成44年7月1日
54	史跡	養寺福跡	もうでじりょうせき	小坂862番地	昭和43年4月1日
55	史跡	加納横穴群	かのうこうあなぐん	森寺字山2179番地 外	昭和48年1月30日
56	史跡	竹里山の西石堂	ちくりん山のさいしやうだう	加納字竹里寺の地 外	昭和48年3月1日
57	史跡	有磯塚	ありそづか	幸町24番49号(富蔵寺)	平成12年3月22日
58	名勝	白が峰	うすがみね	栗川1番地 外	昭和44年6月1日
59	名勝	滝渡神社表	たになみじんじやしやう	下田子(滝渡神社)	昭和54年12月1日
60	名勝	布勢の川山	ふせのまゐやま	布屋1826番地	昭和55年10月25日
61	天然記念物	五柱社の天杉	いつはしらじやのおおすぎ	朝日番地255(五柱社)	昭和43年4月1日
62	天然記念物	磯部神社表	いそべじんじやしやう	磯部字中平1045番地(磯部神社)	昭和47年4月15日
63	天然記念物	余川古寺のくさく	よかわ古寺のくさく	余川字川2386番地	昭和50年7月10日
64	天然記念物	上田子諏訪の大杉	かみだごすぢのおおすぎ	上田子字諏訪24番地 外	昭和60年3月1日
65	天然記念物	今蔵神社のヌズギ林	いまくらじんじよのすぢいりん	脇方461番地(今蔵神社)	昭和63年3月30日
66	天然記念物	上久津呂のツバキ・キク ヌツク	いまくづらつばき・きくざくら	上久津字古宮1621番地	平成6年6月1日
67	天然記念物	大蔵のツバキ	やぎきのおおふじ	十二町字竹ヶ塚3314番地	平成10年2月27日
68	天然記念物	龍田のツバキ	かわたのおおつばき	龍田字宮内918番	平成18年4月1日

■氷見市文化財地図(市内全図)



【氷見市文化財地図凡例】

- ・縮尺は、市街図が25,000分の1、市内全図が50,000分の1である。
- ・市内全図は、市域を四等分して掲載した。
- ・指定文化財の番号は、「氷見市内指定文化財等一覧」の番号に対応している。なお、指定文化財のうち、個人蔵のものについては記入していない。
- ・■-□の万葉歌碑番号は、「万葉歌碑等一覧」の歌碑番号に対応している。
- ・本地図記載の内容は、平成20年6月30日現在のものである。



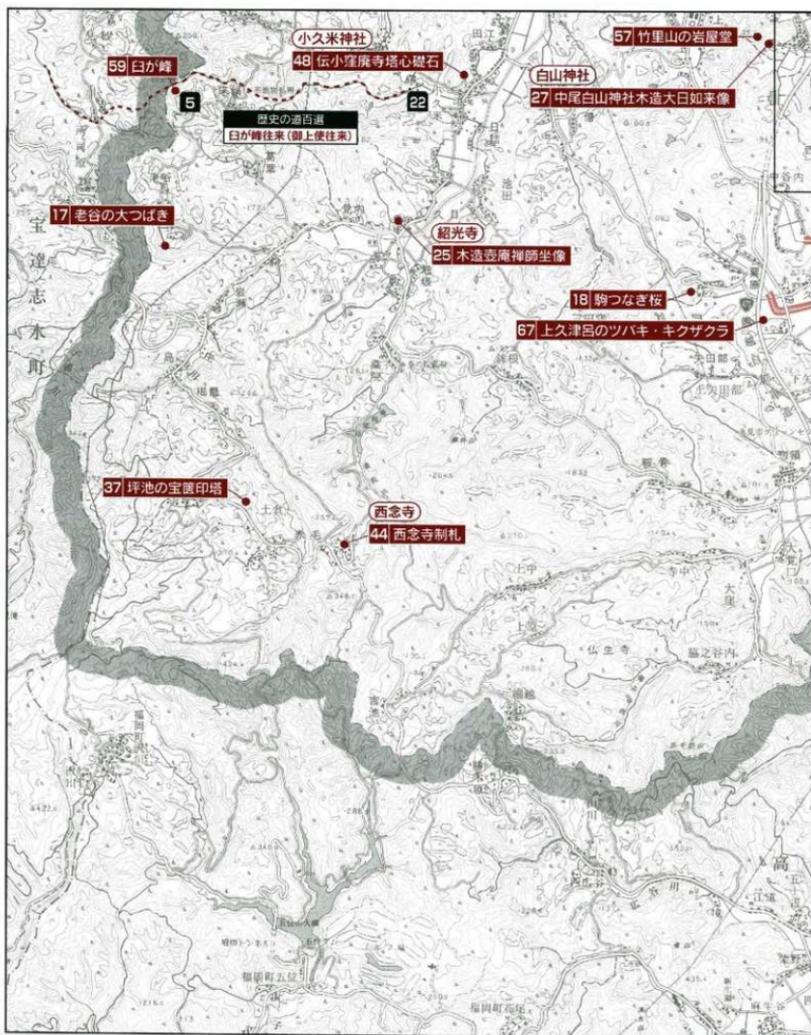
歴史の道百選

『石動山道(大塚道)』

永見市の北側、石川県鹿島郡中能登町にそびえる石動山(標高565m)には、古代に発し、中世、近世を通して山岳信仰の一大拠点であった石動山天平寺(石動寺)が所在していた。盛時には、院坊が360余、衆徒の教およそ3,000人を擁したと伝えられる。

石動山への主な登山道は石動山七口といわれ、特に中世において越中側からの主参道となつたのが大塚道である。富山湾に面した阿尾城下を起点とし、石敷の道、道標、板石塔婆など多数の石造物、寺坊跡などの伝承地が残る。

(参考文献: 永見市教育委員会 1984『富山県石動山信仰遺跡遺物調査報告書』ほか)



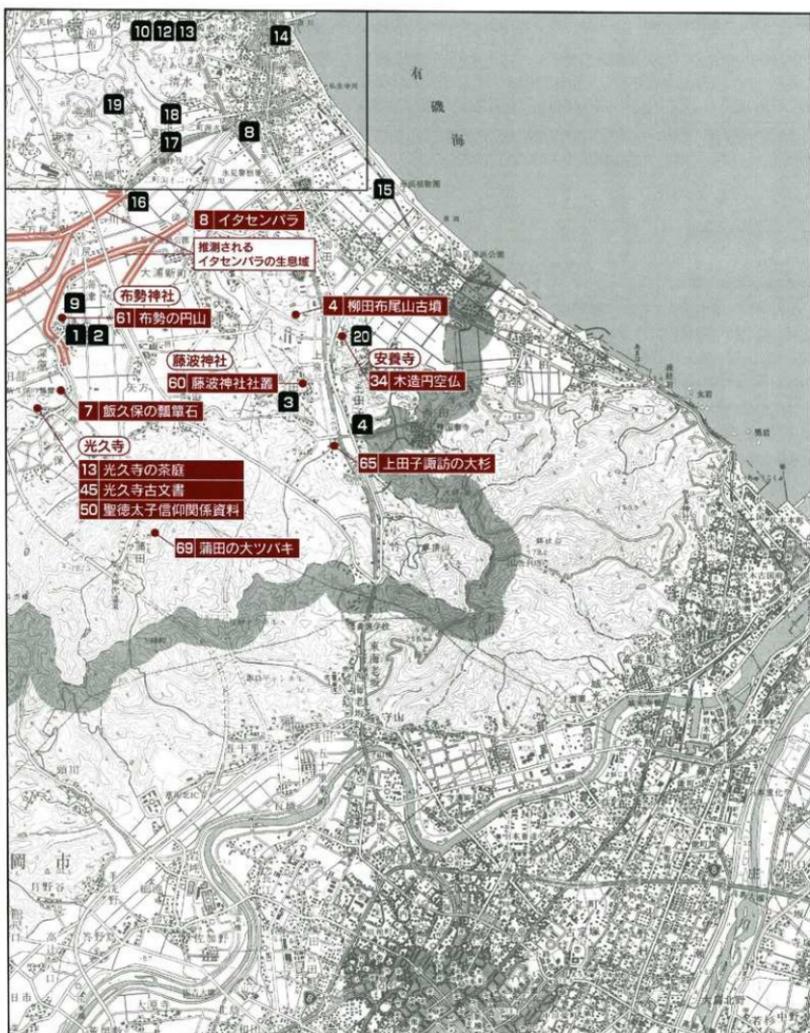
歴史の道百選

「白が峰往來(御上使往來)」

「白が峰往來」は、江戸時代には「御上使往來」と呼ばれ、將軍の代替りの際などに諸國を巡察するため派遣される巡見使が通る道だった。能登子浦から白が峰を越え、岡谷出(日名田)へ下った巡見使一行は、田江の御上使宿本陣の安達家で昼食をとり、上庄川沿いに米見町に達した。道沿いには、道標(「石見砂道 左子浦往來」)や、茶屋場跡などが残る。

また、奈良時代に越中国守大伴家持が諸郡を巡行する際に通った「之乎路(しおじ)」は、この「白が峰往來」であるとする説が有力である。

(参考文献: 米見市立博物館 2006『特別展 白々峰往來 一能登半島付け根を横切る街道一』(ほか))



国指定天然記念物イタセンバラについて

イタセンバラは、天然記念物として国の指定を受けているほか、環境省の定める「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」(種の保存法)により、国内希少野生動植物種に指定されている。そのため、許可なくイタセンバラを捕獲することは、「文化財保護法」や「絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律」により禁止されており、違反すると処罰の対象となる。

また、許可なくブラックバスやブルーギルを富山県内で放流することは、「富山県内水面漁業調整規則」により禁止されており、違反すると処罰の対象となる。

詳細については水見市教育委員会生涯学習課までお問い合わせください。

(〒935-0016 富山県水見市本町4番9号 TEL 0766-74-8215)

■【改訂版】における改訂内容について

平成19年3月に刊行した「水見市遺跡地図【第3版】」初版の刊行から1年余りが経過した。平成19年度には水見市教育委員会が実施する大規模な発掘調査こそなかったものの、能越自動車道建設に先立つ富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所の発掘調査や、富山大学人文学部考古学研究室による測量調査が実施され、また水見市内の遺跡を題材とした論考・出版物も数多く発表された。

このたびの【改訂版】の編集にあたっては、平成20年現在の情報を盛り込むべく、再度、内容を精査し、新規のデータの追加と修正を行った。文献目録についても、補遺として平成19年から20年にかけて発表されたものや、初版では記載が漏れていたものの追加を行った。

改訂内容は多岐に渡るため、本稿で初版から改訂版への変更点をまとめておきたい。なお「水見市遺跡一覧表」では、追加・修正を施した項目については、ゴシック体で表記してあるので、参考にしていただきたい。

1. 追加した遺跡

大浦高山古墳群 (391)

平成20年3月から4月に実施した経営体育成基盤整備事業に先立つ大浦地区の分布調査（後述）に際して、地元の方より丘陵上の城郭伝承地と塚に関する情報を得た。伝承によると、大浦の裏側背後の丘陵にはかつて「タチの城」と呼ばれる城があり、現在は塚の跡だけが残り、という。また同じ丘陵に13基の塚があり、あるときお告げによって発掘したが、1基だけは掘らずに残してある、という。これはいわゆる十三塚伝承に通ずるものであろう。

この情報に基づいて、平成20年3月と6月、計4回にわたり丘陵部一帯の踏査を実施したところ、丘陵南側で6基の古墳を確認した。古墳は、丘陵最高所に位置する1号墳から南側の6号墳まで、尾根沿いに一列に並ぶ。5号墳は前方後方墳ないし前方後円墳、5号墳以外の5基は方墳とみられる。十三塚伝承の基となったのはこれらの古墳群と推測されるが、伝承と異なり壘掘跡の可能性のある塚みがあるのは4号墳のみである。

1号墳の北側には複数の平坦面が連なり、遠景寺背後の墓地に至る。橋林に伴う造成などによって改変されている可能性もあるが、これらの平坦面が「タチの城」として伝承されているものと推測される。ただし防衛遺構等は確認できず、また麓から登ってくる参道状の登り道が存在することから、館跡ないし寺院跡と考えられる。なお、丘陵の東側の麓には「館の下」という小字がある。この地名の由来について、「水見市地名考」（文献No51）では、耳浦庄の地頭、耳浦又五郎入道の館跡だったのであろう、としている。耳浦は大浦の旧称であり、耳浦庄はかつての布勢水海海岸一帯と推測される。耳浦又五郎入道は、享徳2年（1385）の「足利義満御判書書案」（「肥後文書」）に名前がみえ、耳浦庄を本貫とした在地武士と考えられている（水見市1998「水見市史」3資料編一）。

また、同じ丘陵の北側、日宮神社の背後に堀切があるとの情報も得たため踏査を行ったが、堀切状の遺構は存在するものの周辺に城郭遺構とみられる遺構は存在せず、堀切状遺構も遺跡の可能性が高いと判断した。

古墳群が存在する丘陵の小字「高山」より、遺跡名は「大浦高山古墳群」とし、包蔵地の範囲には、古墳群北側の城郭伝承地を含めた。日宮神社背後の堀切状遺構は包蔵地の範囲外とした。

なお、この丘陵の北端部に所在する大浦諏訪遺跡（166）では、かねてから詳細不明の塚状遺構が確認されている。当地における十三塚伝承は、大浦高山古墳群と大浦諏訪遺跡の塚状遺構を含めて考えるべきかもしれない。

2. 範囲等を変更した遺跡

中村城跡 (033)

平成20年5月に発表された佐伯哲也氏の論考「縄張りから読み取る中村山城跡の歴史について」（文献No.358）で、主郭の西側に位置する郭と堀切の存在が明らかとされたため、現地で確認のうえ、城跡の範囲を西側に拡大した。佐伯氏によると、この郭と堀切は本体の縄張りとは違った性格の縄張りと考えられ、中村城初期の縄張りの可能性がある、という。

稲積川口遺跡 (260)

平成20年5月、能越自動車道水見北ICのアクセス道路である一般県道西水見線の道路改良に伴う試掘調査を実施した。その結果、古代を主体とする遺物の散布と遺構（土坑・溝等）を確認した。遺構面は隣接する稲積天坂北遺跡（375）近くまで広がっているため、遺跡の範囲を西側に拡大した。また遺跡一覧表についても試掘調査結果に基づく追記を行った。なお稲積川口遺跡では、平成20年秋に本調査を実施し、平成20年度末に報告書を刊行する予定である。

稲積オヤチ古墳群 (303)

平成19年、富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所によって能越自動車道建設に先立つB支群の発掘調査が実施された。また富山大学人文学部考古学研究室によって、2か年目となるA支群の測量調査が実施された。それらの調査の結果、A支群、B支群ともに新規の発見や墳形の変更等、新たな知見が加えられた。本書では、平成20年3月刊行の「稲積オヤチ古墳群 第一第二次調査報告書」（文献No.361）

に基づき、墳丘の追加や墳形の修正を行い、遺跡一覧表の記述も訂正した。

稲積ウシロ古墳群 (304)

これまで方墳9基（前方後方墳の可能性のある1基を含む）、長方墳1基からなる古墳群と考えられていたが、平成20年6月に水見市建設課が市道稲積一初線道路改良事業に先立って実施した稲積ウシロ古墳群の詳細測量の結果、方墳とされていた1号墳は円墳、長方墳とされていた2号墳は方墳の可能性が高まった。本書では、この成果を反映し、墳形の修正と遺跡一覧表の記述の訂正を行った。

加納南古墳群 (327)

平成18年、富山県文化振興財団埋蔵文化財調査事務所によって能越自動車道建設に先立つ発掘調査が実施された。初版では現地説明会資料に基づいて墳丘の概略を同化していたが、本書では、平成19年6月刊行の『平成18年度 埋蔵文化財年報』（文獻No.342）で発表された調査概要に合わせて、新規に発見された墳丘を追加・修正を行った。また、同じく初版では現地説明会資料に基づいていた遺跡一覧表の記述も、同書に合わせて訂正した。

3. 名称を変更した遺跡

榎懸城ヶ峯城跡 (176)

これまで、報告書・刊行物によって「の島城跡・榎懸城跡・岩瀬城跡・城ヶ峯城跡」と複数の名称が現在していた。特に、所在地ではない岩瀬の地名が冠された名称など、混乱を招いていたことは否めない。そこで本書の刊行にあたり、所在地の字名と俗称地名をとって「榎懸城ヶ峯城跡」と改めることにした。

4. 遺跡一覧表を追記・修正した遺跡

上記1～3にあげた7遺跡以外の遺跡においても、平成19年度以降の調査等により変更点が生じたもの、および初版の時点で内容が不十分だったものについては、遺跡一覧表の「略号」「種別」「時代」「おもな出土・採集遺物」「備考」等各欄の追記・修正を行った。追記・修正した遺跡は以下のとおり。

一夜城跡(002)・阿尾城跡(025)・加納中程経塚(031)・小久米A遺跡(043)・上口寺中世墓群(053)・余川谷村遺跡(123)・飯坂広瀬遺跡(148)・久日安楽寺遺跡(157)・大浦諏訪遺跡(166)・岩瀬谷内ノ前遺跡(197)・久日大坪遺跡(204)・窪シムラ遺跡(234)・森北遺跡(236)・松田江北遺跡(237)・指崎山遺跡(297)・稲積城ヶ峯古墳群(305)・宇波西遺跡(318)・稲積オオヤチ南遺跡(366)・新保野際遺跡(370)・大野中遺跡(371)・七分堂1遺跡(372)・加納谷内遺跡(373)・稲積天坂遺跡(374)・稲積大坂北遺跡(375)・千人塚(378)

そのほか各遺跡の主要文献欄についても、「水見市遺跡地図文献目録補遺」で追加した文献を中心に、適宜、追記を行った。

5. その他の変更点

- ・分布調査参加者名簿「市内遺跡詳細分布調査事業 調査員・調査補助員・調査協力者」および付録「平成18年度分布調査事業・測量調査の成果」を割愛した。
- ・「水見市遺跡地図文献目録補遺」を追加した。
- ・「水見市教育委員会刊行埋蔵文化財関連報告書・刊行物一覧」を「水見市教育委員会刊行文化財関連報告書・刊行物一覧」に改め、郷土読本および文化財関連報告書・刊行物の目録を追加したほか、本書と平成20年刊行の『国指定史跡 大境洞窟住居跡 保全整備事業報告書』を追記するなどの修正を施した。また、新たに「水見市関連自治体史一覧」として、水見市史ほか、関連出版物の日録を掲載した。
- ・本書が水見市の文化財地図としての役割も果たせるよう、「水見市内指定文化財等一覧」・「万葉歌碑等一覧」・「水見市文化財地図」を追加した。

なお、今回の改訂で反映していないものとして、経営体育成基盤整備事業に先立つ大浦地区分布調査の成果がある。大浦地区では、平成20年3月から4月にかけて、同事業によるは場整備の対象地内を踏査し、遺物の散布状況の確認を行った。その結果、周知の埋蔵文化財包蔵地である大浦遺跡(080)・掘田サカイ遺跡(244)を中心に、広い範囲で遺物の散布を確認した。採集した遺物は古代から中世を主体とし、摩滅が著しいものが多い。かなり広範囲に散布しているものの密度は希薄であるため、分布調査の成果を基に新たな埋蔵文化財包蔵地とすること、あるいは既知の遺跡の範囲を拡大することは見送った。この大浦地区の遺物散布地については、平成20年秋に実施予定の土器調査で埋蔵文化財包蔵地とすかどうかを判断したいと考えている。

表紙挿図出典

- 表：イヨタノヤマ3号墳出土短甲（文献No.212より）
高山縣水見郡宇波村大境白山神社割置地層縦断面箇所位置図（文献No.131付図より）
飯川D遺跡出土丸木舟転用井戸側材（文献No.289より）
柳田布尾山古墳平面図（文献No.198より）
表：上日寺中世墓群出土珠洲焼壺（文献No.212より）

平成20年7月25日 印刷
平成20年7月31日 発行

氷見市遺跡地図〔第3版〕
【改訂版】

氷見市埋蔵文化財調査報告第51冊

編集・発行 氷見市教育委員会
〒935-0016
富山県氷見市本町4番9号
☎0766(74)8215
印刷 能登印刷株式会社



水見市遺跡地図